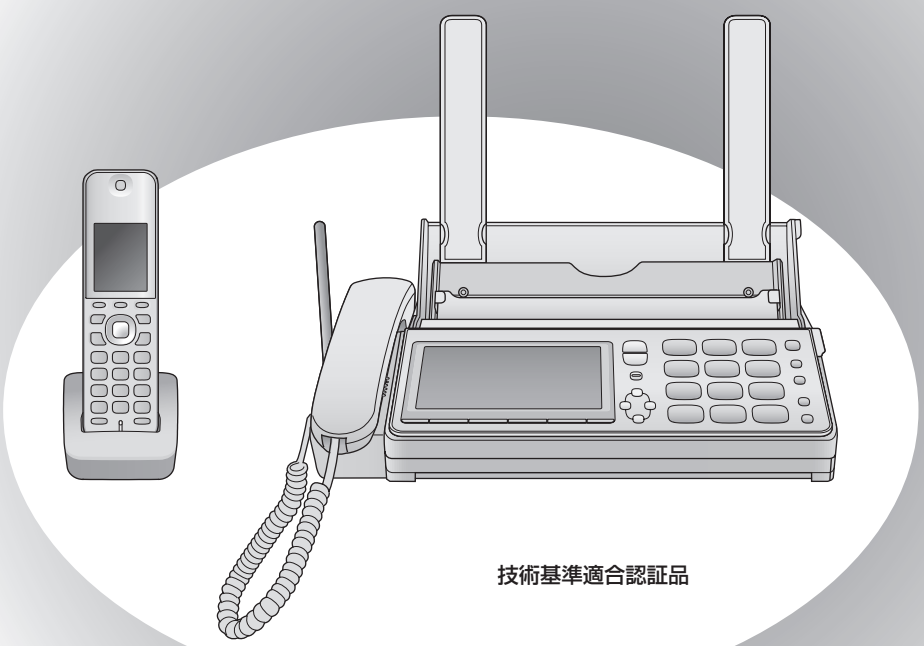
NTT

取扱説明書

ホームファクス

P-723PDw/ P-723PD

ナンバー・ディスプレイ対応
キャッチホン・ディスプレイ



技術基準適合認証品

NTT 東日本エリア	NTT 西日本エリア
北海道、東北、関東、甲信越地区	東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区

このたびはホームファクス　P-723PDw/ P-723PD をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、P-723PDw(子機２台付き）と P-723PD（子機 1 台付き）の 2 機種共用です。機種によって使える機能や操作が一部異なります。ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

もくじ

確認

安全上のご注意 4
使用上のお願い 6
本体と付属品／添付品 8
各部のなまえとはたらき（親機） 9
各部のなまえとはたらき（子機） 12

準備

親機の電池パックを入れる・交換する 14
インクフィルムを取り付ける・交換する 15
親機の接続・設定 16
いろいろな接続 18
光回線（ひかり電話）やADSLに接続するとき 18
ISDN回線に接続するとき 19
子機の電池パックを入れる・交換する・10時間充電する 20
「携帯通話設定」を使う 22

すぐ使う／文字入力

ファクスの送りかた／電話のかけかた・受けかた 28
文字入力のしかた 30

電話

親機で電話をかける 32
同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル） 32
電話帳でかける 32
短縮ダイヤルでかける 32
受話器を取らずにかける 32
構内交換機に接続しているとき 32
ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき 32
子機にかける（内線電話） 32
子機で電話をかける 33
同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル） 33
電話帳でかける 33
ワンタッチダイヤルでかける 33
机の上などに置いたままかける 33
構内交換機に接続しているとき 33
ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき 33
親機・別の子機にかける（内線電話） 34
通話中にできること 34
相手に待ってもらう（保留） 34
キャッチホンを受ける（当社との契約が必要） 34
相手の声の音質を変える（受話音質） 34
自分の声を低く変える（ボイスチェンジ） 34
自分の声が相手に聞こえないようにする（ミュート） 35
通話を録音する（通話録音） 35
聞き逃した通話を録音する（前から録音） 35
外線通話をすべてSDカードに録音する（フル録音） 35
電話をまわす 36
迷惑な電話をお断りする（通話拒否） 36
電話に出る前に相手の声を確認する 37
相手の声を確認して電話に出る（あんしん応答） 37
自動的に電話に応答し、迷惑防止のメッセージを流す（迷惑防止） 37
出なかった電話を確認する（不在着信確認） 39

電話帳

電話帳について 39
親機で電話帳を使う 40
子機で電話帳を使う 42
電話帳を転送する 43
子機でワンタッチダイヤルを使う 43
親機で短縮ダイヤルを使う 44

ファクス／コピー

ファクスを送る 44
再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルで送る 44
海外へ送る 45
操作案内を聞かずに送る 45
構内交換機に接続しているとき 45
相手と話してから送る 45
「見てから印刷」について 45
ファクスを電話に出て受ける（お買い求め時） 46
ファクスを自動で受ける 46
電話に出られなくても自動で受ける（自動受信） 46
呼出音を鳴らさずに自動で受ける（無鳴動受信） 47
留守セットして自動で受ける 47
ファクスのみ受ける（ファクス専用） 47
ファクスを見る 47
ファクスを表示する 47
表示中にできること 47
ファクス一覧について 48
ファクスを一覧から選んで印刷する 48
ファクスを消去する 48
ファクスを転送する 48
ファクスをSDカードに保存する 49
コピーする 49

留守番電話

留守番電話について 49
留守セットする 50
留守セットを解除し、用件を再生する 50
親機で用件を再生・消去する 50
用件をSDカードに保存する 52
子機で用件を再生・消去する 52
外出先から留守番電話を再生する 53
外出先から家に電話をかけて用件を聞く 53
録音された用件を携帯電話などに転送する 53
外出先での操作 53
伝言メッセージを残す（残して伝言） 54

SDカード

SDカードを使う 54
本機で保存したデータをパソコンで使う 57

電話サービス

ナンバー・ディスプレイサービス 57
ナンバー・ディスプレイを利用するには（契約が必要です） 57
ナンバー・ディスプレイとは 58
着信読み上げについて 59
グループ読み上げについて 59
親機で着信履歴を使う（ナンバー・ディスプレイ契約時） 59
かかってきた相手（着信履歴）を確認する 59
着信履歴から電話をかける 60
着信履歴からファクスを送る 60
着信履歴に184や186を付けてかける 60
1件ずつ着信履歴を消去する 60
すべての着信履歴を消去する 60
着信履歴を印刷する 60
着信履歴から受けたくない電話を拒否する 60
着信履歴から電話帳に登録する 60
着信履歴について 60
子機で着信履歴を使う（ナンバー・ディスプレイ契約時） 61
かかってきた相手（着信履歴）を確認する 61
着信履歴から電話をかける 61
1件ずつ着信履歴を消去する 61
すべての着信履歴を消去する 61
着信履歴から受けたくない電話を拒否する 61
着信履歴から電話帳に登録する 61
着信履歴について 61
迷惑ブロックサービス 62
迷惑ブロックを利用するには（契約が必要です） 62
迷惑ブロックを設定する 62
電話がかかってくると 63
迷惑ブロックの利用をやめるとき 63
モデムダイヤルインサービス 63

お好み設定

キーロックを使う 64
おやすみモードを使う 64
外からかかってきた電話の呼出音を変える 64
音量を変える 65
親機への名前・電話番号の登録 65
親機で日付・時刻を合わせるとき 66
親機の機能一覧 67
メッセージ一覧 74
子機の機能一覧 75

必要なとき

ドアホンを接続する 77
窓／ドアセンサーを接続する 80
中継アンテナを使用する 83
子機を増やす（増設・減設） 84
人感センサー付子機を使う 85
停電のとき電話をかける／受ける（簡易停電通話） 88
お手入れ 89
子機を壁（柱）に掛ける 89
仕様 90
商標について 91
別売品／消耗品について 92
ファクスの印刷・原稿・記録紙について 93
記録紙をセットする 95

困ったとき

白や黒の線などが入るとき 96
記録紙が詰まったとき 97
原稿が詰まったとき 98
困ったとき 99
こんな表示が出たら 105
さくいん 110
保守サービスのご案内 112

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

〈 電池パックについて 〉

液もれ・発熱・破裂を防ぐために

⃠ 禁止

- **■分解・改造しない**
- **■指定の電池パック以外は使用しない**
- **■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない**
- **■火の中に捨てたり加熱しない**
- **■端子を金属などに接触させない**
- **■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない**

❗

- **■専用の親機と子機用充電器を使用して指定の電池パックを充電する**

事故を防ぐために

⃠ 禁止

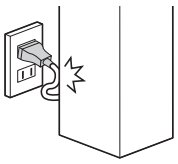
- **■液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない**
  （目に入ると、失明の原因）
  目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

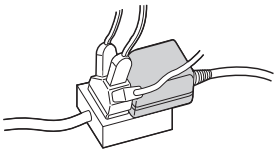
火災・感電などを防ぐために

⃠ 禁止

- **■分解・修理・改造しない**
  修理は販売店へご相談ください。
- **■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
- **■雷が鳴ったら、親機や子機用充電器・電源プラグ・電話機コードに触れない**
- **■機器内部に金属物を入れない**
  金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。
- **■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**
  傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）
  修理は販売店にご相談ください。



- **■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない**



（たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因）

- **■機器（子機用充電器や電源コードを含む）に水をかけたり、ぬらしたりしない**
  ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店へご相談ください。
- **■電話機コードのプラグに、洗剤などの液体をかけたり、ぬらしたりしない**
  ぬれた電話機コードは、すぐに壁側の電話コンセントから抜き、使用しないでください。
- **■本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない**

⚠ 警告

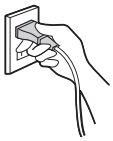
火災・感電などを防ぐために

■**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
（差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因）
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■**電源プラグのほこりなどは定期的にとる**
（プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因）
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■**煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く**
（そのまま使用すると、火災や感電の原因）
使用を中止し、販売店へご相談ください。

■**電源プラグを抜くときは、プラグ本体（金属でない部分）を持って抜く**
（コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因）



事故などを防ぐために

禁止

■**医療機器の近くでの設置や使用をしない※**
手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない

■**自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※**

（※本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）

■**SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**
（誤って飲み込むおそれ）
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

事故などを防ぐために

■**心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す**
（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります）

⚠ 注意

火災・感電などを防ぐために

禁止

■**湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない**

事故・けが・財産の損害などを防ぐために

禁止

■**水平でない場所や振動の激しい場所では使用しない**
（落下による、破損やけがの原因）

■**子機用充電器にコインや指輪などの金属物をのせない**
（金属物が熱くなり、やけどの原因）

■**子機用充電器に磁気に弱い物（キャッシュカード、通帳など）を近づけない**
（子機用充電器からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります）

■**受話器を無理に引っ張らない**
（落下により、けがの原因）

使用上のお願い

こんなところには設置しない

- **記録紙トレー・記録紙スタンドが壁にあたる。**（紙詰まりの原因）
- **ピアノなどの上。**（キズや、熱によるひびわれ、変色の原因）
- **じゅうたんなどの上。**（通風孔をふさぎ、発熱などでじゅうたん変色の原因）
- **火気・熱器具の近く。**（変形や故障の原因）
- **夏期の閉め切った車内・直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く。**（誤動作・変形・故障の原因）
- **原稿排出口に光が直接あたるところ。**（コピーや送信ファクスの画質劣化の原因）
- **温度変化が激しいところ。**（結露による誤動作の原因）
- **テレビ・ラジオ・パソコンなどのOA機器の近く。**（ノイズ発生の原因）
- **CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く。**（CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
  - 受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合（105ページ）

電源プラグを差し込む位置は…

電源プラグは、本機の近くの抜きやすい位置にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

充電器の置き場所は…

- AMラジオの近くに置かないでください。（AMラジオで雑音が聞こえる原因）
- 電磁波や磁力を出すもの（テレビ、スピーカーなど）の近くに置かないでください。（充電できないことがあります）

子機の置き場所は…

- 距離が離れていたり、次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、通話が途切れたり、子機に「圏外」と表示して使えないことがあります。
  - 金属製のドアや雨戸。
  - アルミはく入りの断熱材が入った壁。
  - コンクリートやトタン製の壁。
  - 親機と別の階や家屋で使うとき。
  - 壁を何枚もへだてたところ。
  - 複層ガラスの窓。
- 上記のような場合は、中継アンテナ（別売品）をお勧めします。（83ページ）

子機の使用可能距離は…

- 補聴器の種類によっては通話中に雑音が入る場合があります。（親機をお使いください）

重要な通話は親機で！

本機は子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

重要なものは印刷して保管

- メモリー受信したファクス（48ページ）
- 登録した電話帳（68ページ「電話帳印刷」）
- 短縮ダイヤル（68ページ「電話帳印刷」）
- 迷惑電話着信拒否リスト（71ページ）

お知らせ

- 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

電波について

- **本機は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。**
  本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す下記のマークが表示されています。（一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

  1.9ーD

- **J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。J-DECT のロゴはARIB STD-T101 に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。**

  J-DECT

- **本機の使用周波数に関わるご注意**
  本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店に修理をご依頼ください）
- 停電時は、簡易停電通話モードで使用することができます。簡易停電通話機能では親機の受話器や子機で電話をかけたり、受けたりすることができます。（88ページ「停電のとき電話をかける／受ける（簡易停電通話）」）
- 当社のレンタル電話機が不要になる場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」が不要となります。

- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
  VCCI-B

個人情報について

本機には、次のような個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

- **親機の内蔵メモリーやSDカード**
  - お客様自身で登録した電話番号や氏名などのデータ
  - ファクスや電話によって記録された履歴などのデータ（送受信履歴、メモリー受信されたファクスデータ、発着信履歴、録音された用件など）
- **子機（付属品／別売品）の内蔵メモリー**
  - お客様自身で登録した電話番号や氏名などのデータ
  - 電話によって記録された発信履歴などのデータ
- **使用済みのインクフィルム**
  - インクフィルムの印刷跡

＜免責事項＞

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

＜本機の修理を依頼するとき＞

- 本機に登録した電話帳などのデータは、修理依頼の前に、必要に応じてメモや印刷あるいはSDカードにコピーして保管してください。
- データの保管後、「■ 初期化するとき」（下記）で内蔵メモリー（記憶情報や設定内容）を消去してください。
  - 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店までご相談ください。
- SDカードとインクフィルムは親機から取り出してください。

＜本機を廃棄・譲渡・返却するとき＞

- ご使用のSDカードとインクフィルムは、親機から取り出してください。
  使用済みのインクフィルムには印刷跡が残っています。「■ 使用済みのインクフィルム（芯を含む）と白色軸を捨てるとき」（15ページ）に従って処分してください。
- 「■ 初期化するとき」（下記）で内蔵メモリー（記憶情報や設定内容）を消去してください。

■ 初期化するとき

親機や子機でそれぞれ、内蔵メモリー（記憶情報や設定内容）を消去し、お買い求め時の状態に戻します。

- SDカード内のデータは消去されません。
- 親機から電話機コードを外し、「出荷時へ戻す」の操作（親機は74ページ、子機は76ページ）を行ってください。

SDカードを廃棄・譲渡するとき

SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、SDカード内のデータは完全には消去されません。
譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
また廃棄の際は、SDカードを物理的に破壊するか、SDカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

本体と付属品／添付品

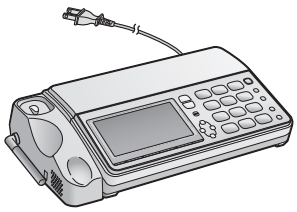
不備な点がございましたら、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

● SDカード（54ページ）は付属されていません。

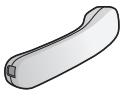
本体と付属品

□ **本体**.....1台

● 電源コード（長さ約1.6 m）



□ **受話器**.....1本



□ **電池パック**

P-723PD.....2個

P-723PDw.....3個

● 親機用・子機用とも同じものです。

□ **コードレス子機**

P-723PD.....1台

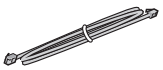
P-723PDw.....2台

□ **壁掛け用木ねじ・ワッシャー**

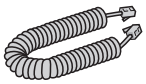
P-723PD.....各2個

P-723PDw.....各4個

□ **電話機コード**（長さ約1.8 m）.....1個

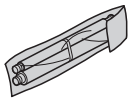


□ **受話器コード**.....1本



□ **お試し用インクフィルム**（約5 m）

.....1式

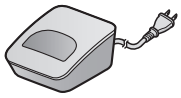


□ **子機用充電器**

P-723PD.....1台

P-723PDw.....2台

● 電源コード（長さ約1.6 m）

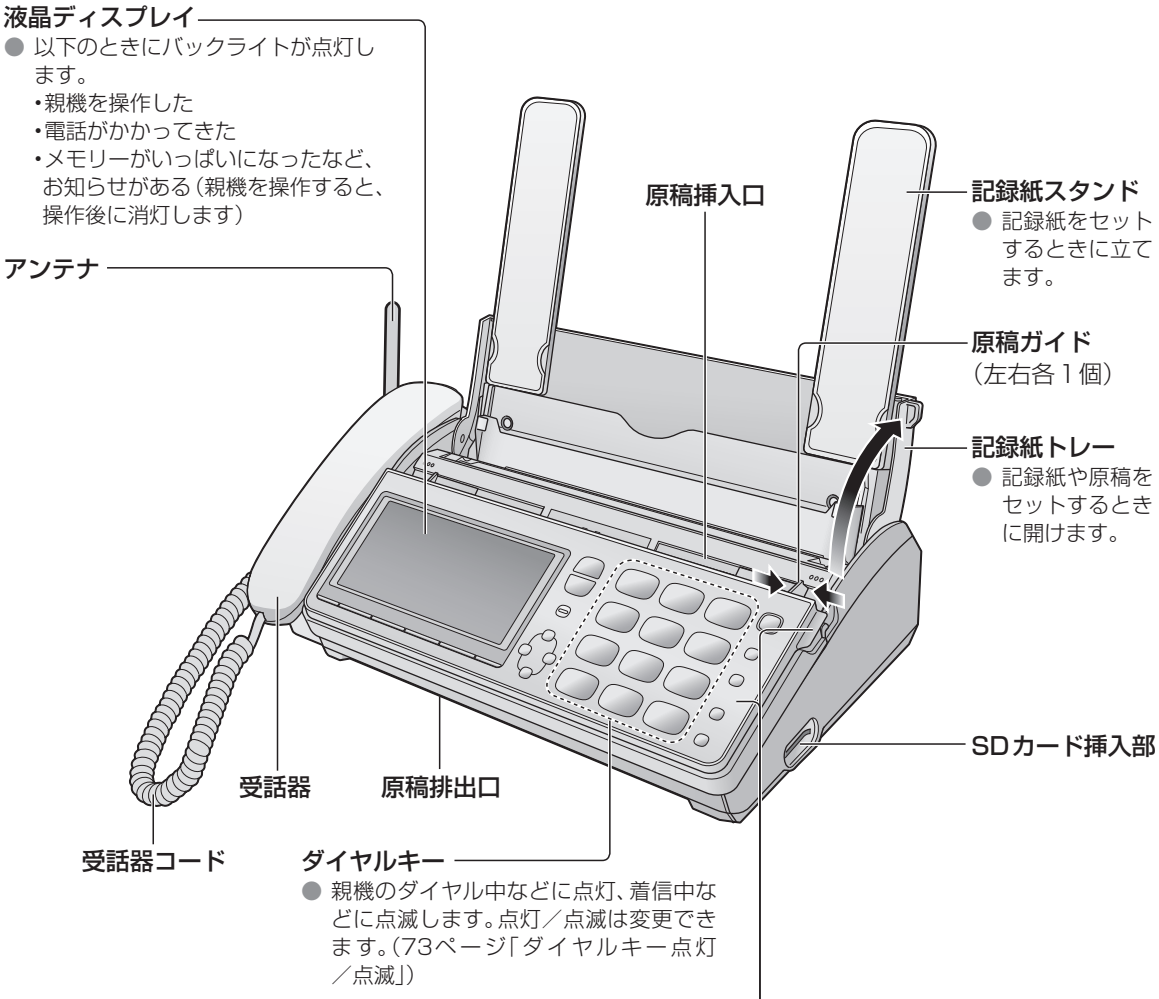


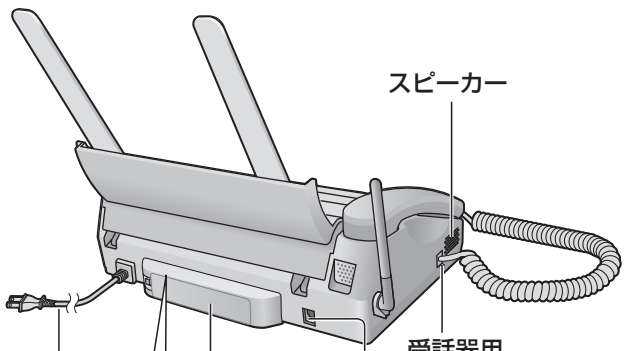
添付品

☑ **取扱説明書（本書）**.....1冊

□ **保証書**.....1式

各部のなまえとはたらき（親機）

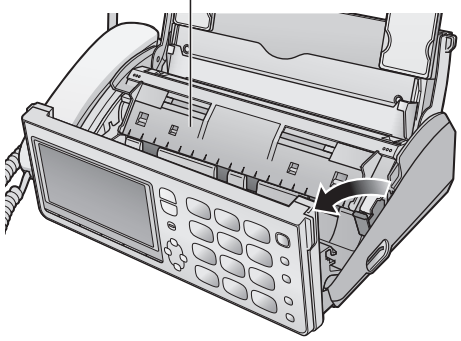




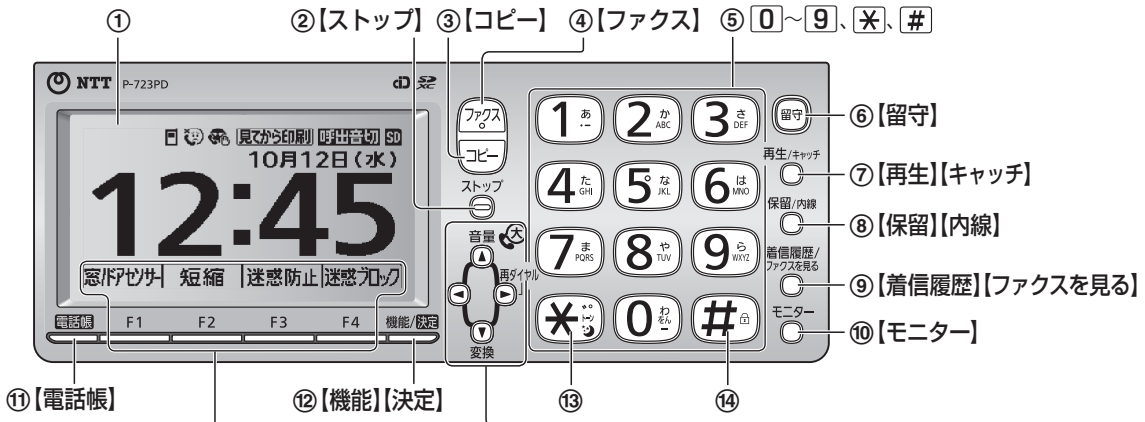
製造番号
背面に記載しています。

（操作パネルを開けた状態）

バックカバー
● インクフィルムを取り付けるときなどに開けます。

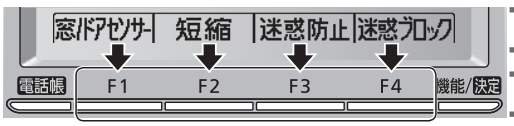


● 本書では、操作するボタンを「【機能】」などのように記載しています。

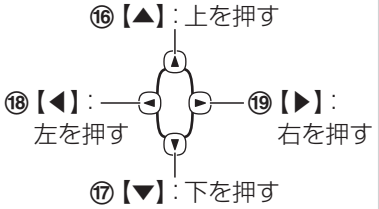


⑮【窓／ドアセンサー】、【短縮】、【迷惑防止】、【迷惑ブロック】など

● 本書では、液晶ディスプレイに「窓／ドアセンサー」「短縮」「迷惑防止」「迷惑ブロック」などが表示されているときは、上記のように記載しています。



マルチファンクションキー



（例）
下または上を押すときは「【▼】【▲】」と記載しています。

① 液晶ディスプレイ

- 待受時は日付・時刻を表示します。毎時0分になると、音声で時刻をお知らせするようにできます。（68ページ「時刻音声案内」）
- 液晶ディスプレイは、説明のためすべて表示しています。（実際の表示とは異なります）
- 本機を操作しないと、節電のため、約2分後に表示が消えます。（常時点灯させることはできません）
- 本体のファクスメモリーがいっぱいになったときなど、お知らせがあるときには表示は消えません。親機を操作すると、操作を終了して約2分後に消えます。
  バックライトが点灯しないようにできます。（73ページ「お知らせ時のバックライト」）

	：「携帯通話設定」を設定時に点灯／「携帯通話設定」を使って電話をかけるときに約5秒間点滅（25ページ）
	：「迷惑防止」を設定しているときに表示（38ページ）
	：「迷惑ブロック」を設定しているときに表示（62ページ）
見てから印刷	：ファクスをメモリー受信に設定しているときに表示（45ページ）
呼出音切	：呼出音を鳴らさない設定をしているときに表示（65ページ）
SD	：SDカードを入れると点灯（55ページ）／データの読み出し中や書き込み中は「SD」と交互に点滅

② 操作を途中でやめる／登録を終わる／液晶ディスプレイのバックライトが消灯しているときに点灯させる

③ コピーする（49ページ）

④ ファクスの送受信を開始する（44・46ページ）

⑤ ダイヤル中などに点灯、着信中などに点滅
● 点灯／点滅は変更できます。(73ページ「ダイヤルキー点灯／点滅」)

⑥ 留守セットする（50ページ）／構内交換機に接続時などに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を入れる
留守ランプ
留守セット中に点灯（新しい用件があるときは点滅）

⑦ 用件を再生する（51ページ）／キャッチホンを受ける（34ページ）

⑧ 通話中に待ってもらう（34ページ）／子機やドアホンを呼び出す（32・36・79ページ）

⑨ 着信履歴を見る（39・59ページ）／メモリー受信したファクスを表示（47ページ）
着信履歴/ファクスを見るランプ
電話に出なかったときやファクスをメモリーに受信したときに点灯（39・45・58ページ）

⑩ 受話器を取らずにかける（32ページ）

⑪ 電話帳を使う（32・40ページ）

⑫ 機能を登録する／機能登録で、内容を決定する

⑬ **スター**
ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（トーン）（32ページ）／おやすみモードを使う（64ページ）

⑭ **シャープ**
キーロックを使う（64ページ）

⑮ **機能キー**
「窓／ドアセンサー」「短縮」「迷惑防止」「迷惑ブロック」など、表示された機能を操作する

⑯ 音量を大きくする（65ページ）／漢字に変換する（30ページ）

⑰ 音量を小さくする（65ページ）／漢字に変換する（30ページ）

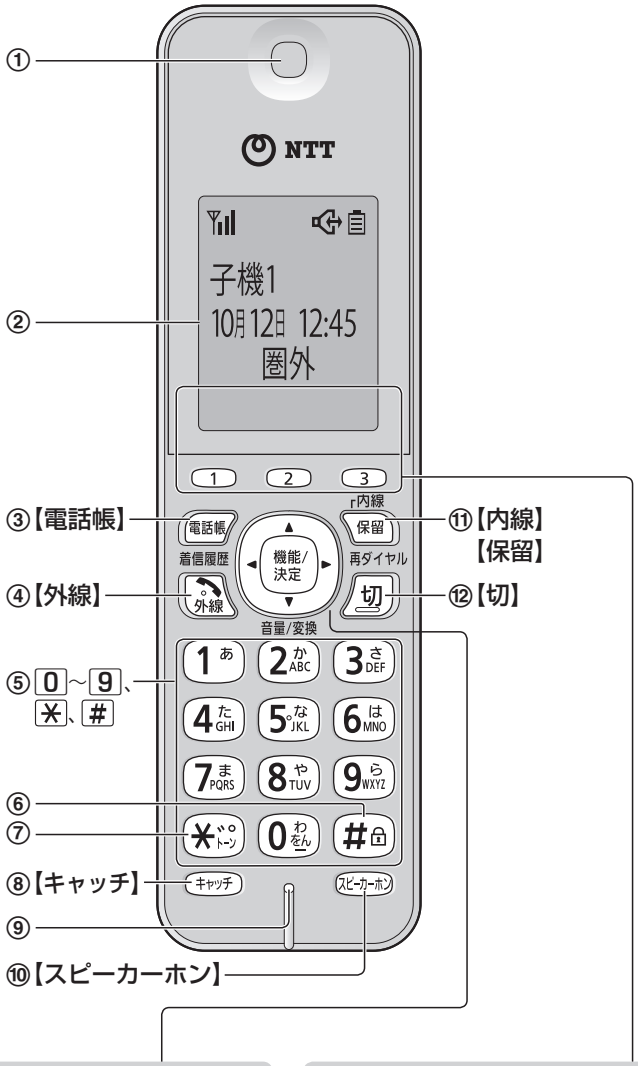
⑱ 前の用件を聞く（51ページ）

⑲ 再ダイヤルする（32ページ）／次の用件を聞く（51ページ）

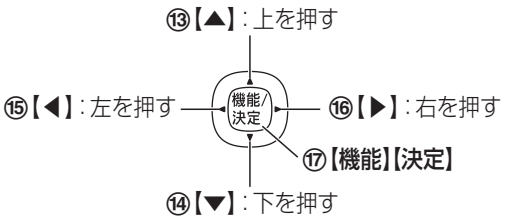
各部のなまえとはたらき（子機）

● 本書では、操作するボタンを「【機能】」などのように記載しています。

■ 正面



マルチファンクションキー

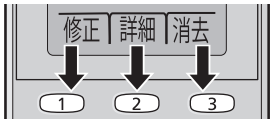


（例）下または上を押すときは「【▼】【▲】」と記載しています。

⑱ ワンタッチダイヤルのとき
【1】、【2】、【3】

機能キーのとき
【修正】、【詳細】、【消去】など

● 本書では、液晶ディスプレイに「修正」「詳細」「消去」などが表示されているときは、上記のように記載しています。

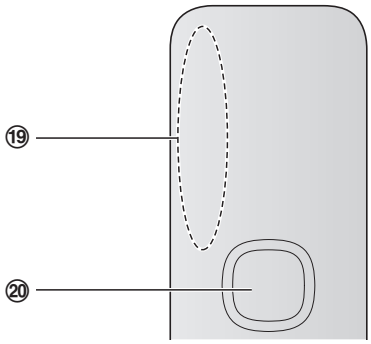


操作手順によって表示が変わる

表示を見て対応するボタンを押す※

※【2】の代わりに【決定】を押して操作することもできます。

■背面



① 受話口
- 通話中は、位置を耳に合わせる。(100ページ「通話」)

② 液晶ディスプレイ
- 操作時や外からの電話の呼出中に、バックライトが点灯します。(終了後、自動的に消灯します)
- 液晶ディスプレイは、説明のためすべて表示しています。(実際の表示とは異なります)

：**アンテナレベル**(子機が受けている電波の強さのめやす)
- 「圏外」表示中は親機からの電波が届いていません。親機に近づいてください。

圏外 電波(弱) 電波(強)
この範囲でご使用ください

：机の上などに置いたまま通話しているときに表示(33ページ)

：**電池残量**

(点滅)

すぐに充電が必要です。
- 通話中は4秒ごとに「ピピッ」と警告音が鳴り、待受時は「10時間充電してください」と表示されます。

■ 充電完了後の使用時間のめやす
(使用環境温度が20 ℃のとき)
- **連続通話時間：約10時間**
  - 電波状態が悪いところで使う場合、連続通話時間は短くなります。
- **待受時間：約150時間**
  - 充電器に置かずに一度も通話しないとき。
  - 「圏外」表示中は短くなります。

子機1：内線番号や、登録した名前を表示(75ページ)

10月12日 12:45：親機で設定した日付・時刻を表示(17・66ページ)
- 呼出音を鳴らさない設定をしているときは「呼出音切」と表示されます。(65ページ)

圏外：親機からの電波が届かず、呼出音が鳴らない、通話ができないときに表示

③ 電話帳を使う(33・42ページ)

④ 電話をかける・受ける

⑤ ダイヤル中に点灯、着信中などに点滅

⑥ シャープ
キーロックを使う(64ページ)

⑦ スター
ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う(トーン)(33ページ)

⑧ キャッチホンを受ける(34ページ)

⑨ 送話口
- 話すとき、手でふさがないでください。

⑩ 子機を机の上などに置いたまま通話する(33ページ)

⑪ 親機・別の子機・ドアホンを呼び出す(34・36・79ページ)／通話中に待ってもらう(34ページ)

⑫ 通話を終了する／操作を途中でやめる／登録を終わる

⑬ 音量を大きくする(65ページ)／漢字に変換する(30ページ)

⑭ 音量を小さくする(65ページ)／漢字に変換する(30ページ)

⑮ 着信履歴を見る(39・61ページ)／前の用件を聞く(52ページ)

⑯ 再ダイヤルする(33ページ)／次の用件を聞く(52ページ)／**【外線】**を押してから、ダイヤルするときに、ポーズ(ダイヤルの待ち時間)を入れる

⑰ 機能を登録する／機能登録で、内容を決定する

⑱ ワンタッチダイヤル
ワンタッチダイヤルを使う(33・43ページ)

機能キー
「修正」「詳細」「消去」など、表示された機能を操作する

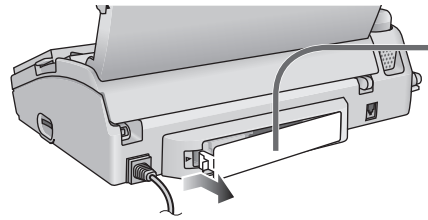
⑲ アンテナ部
- 話すとき、手で覆わないでください。

⑳ スピーカー

親機の電池パックを入れる・交換する

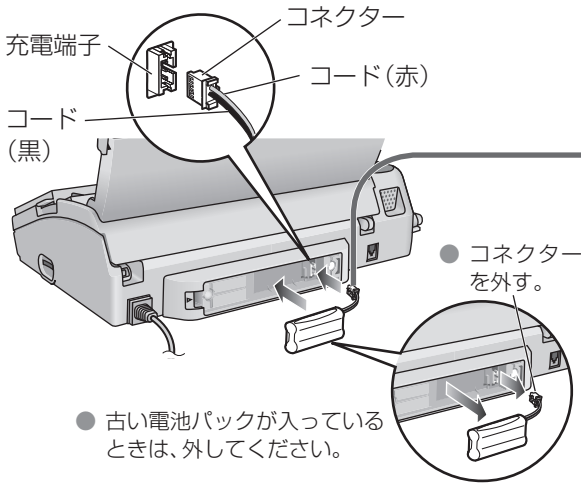
電池パックを使って、停電のときに親機の受話器で電話をかけたり、受けたりすることができます。
子機を使うときは設定が必要です。(88ページ「停電のとき電話をかける／受ける(簡易停電通話)」)

● 電池パックは消耗品です。2年をめやすに、新しいものと交換してください。



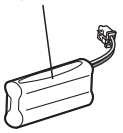
1 電池カバーを開ける

● レバーを矢印の方向に押さえながら手前に引く。



2 コネクターを差し込み、電池パックを入れる

● 外側のフィルムは、はがさない。



3 電池カバーを閉める

お願い

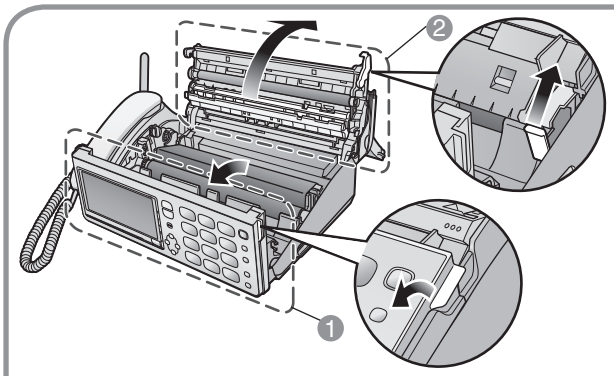
● 2日以上、電源コードをコンセントから抜くときは、電池パックを外してください。(電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため)

■ **交換するときは消耗品を使う**(92ページ)

● 仕様:ニッケル水素電池・DC2.4 V・630 mAh

■ **古い電池パックのリサイクルについて**(21ページ)

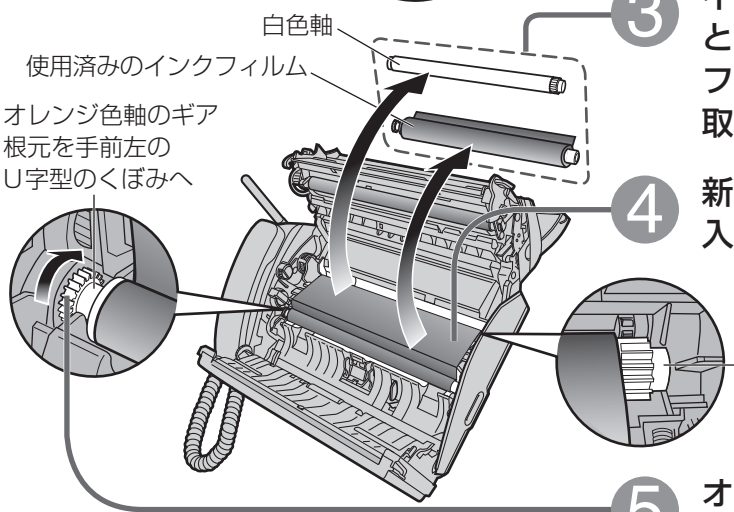
インクフィルムを取り付ける・交換する



1 操作パネルを開ける

2 緑色のレバーを上げ、バックカバーを開ける

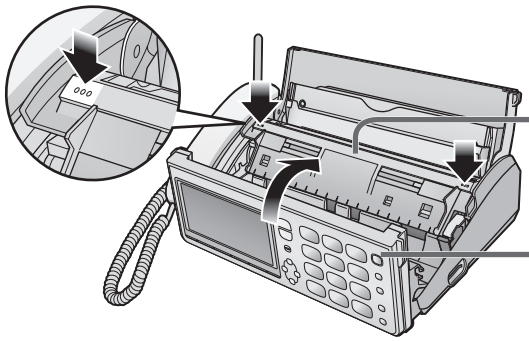
- 「インクフィルムの交換が必要です」と表示されているときは、操作案内が流れます。
  - 止めるときは【ストップ】を押す



3 インクフィルムを交換するときは、「使用済みのインクフィルム」と「白色軸」を取り出す

4 新しいインクフィルムを入れる

5 オレンジ色のギアを奥にまわしてインクフィルムのたるみを取る



6 「カチッ」と音がするまで両端の「○○○」の部分を押してバックカバーを閉める

7 操作パネルを閉める

インクフィルムについて

- 付属品のインクフィルムは、お試し用で長さ約5 mです。（A4サイズで約15枚分）
- インクフィルムは、数行の印刷でも、記録紙1枚につき約32 cm使用されます。

■ 交換するときは消耗品を使う（92ページ）

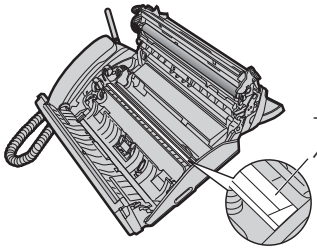
- 当社指定以外のインクフィルムを使用した場合の故障や不具合（インクフィルムの切断、本体内部への貼り付き・絡まりなど）については、当社は保証いたしません。

■ 使用済みのインクフィルム（芯を含む）と白色軸を捨てるとき

- 「プラスチック製品」として、地域条例に基づいて破棄してください。
- 情報の保護のため、はさみなどで切ってください。（印刷跡が残ります）

お願い

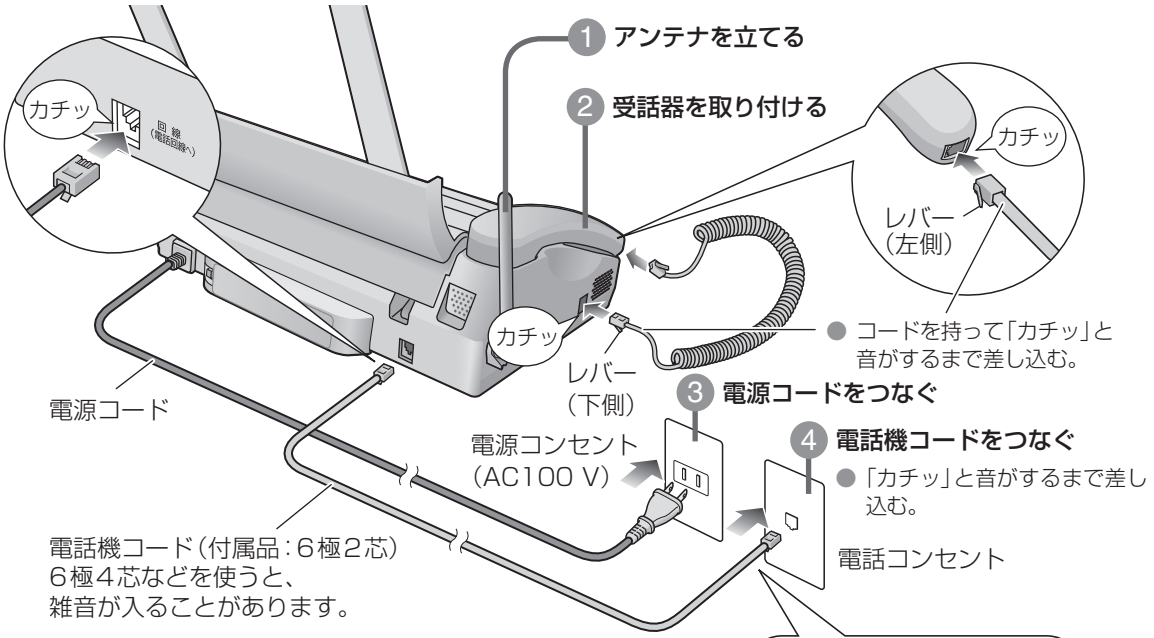
- サーマルヘッド部分は、触らないでください。（白や黒の線が出る原因）



親機の接続・設定

1 親機を接続する

■光回線（ひかり電話）、ADSL、ISDNに接続するときなどは（18・19ページ）



■電話機コードをつながずに放置すると

約20分後に次々と画面が切り替わります。または操作案内が流れ始めます。（デモモード）

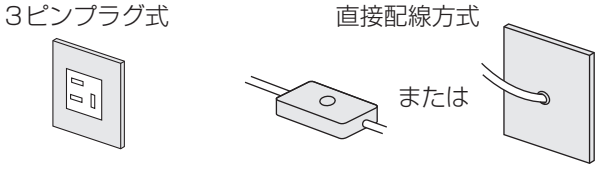
- 電話機コードをつなぐと、デモモードが解除され、電話の回線種別の自動設定が始まります。

お知らせ

- 正しく使うために
  - ・当社のピンク電話の回線には接続できません。
  - ・他の電話機を並列に接続しないでください。

電話コンセントが3ピンプラグ式、直接配線方式のとき

工事が必要です。
当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。



2 電話の回線種別の自動設定

回線種別ﾁｪｯｸ中
↓ 自動設定が終わると
日付・時刻を設定するには［機能］押す

- **回線種別チェック中は操作をしないでください。**
- 光回線（ひかり電話）やADSLなどに接続すると、正しく設定できないことがあります。手順 6（17ページ）で電話をかけ、正しく設定されていることを確認してください。

3 日付・時刻の設定

1 **【機能】を押す**

2 **ダイヤルキーで年・月・日・時刻を入力し、【決定】を押す**

- 時刻は24時間方式で入力。(深夜12時は「00：00」)
- 間違えたときは、**【◀】【▶】**でカーソルを合わせ、入力し直します。

■**あとから日付・時刻を設定し直したいときは**
(66ページ)

4 「読み上げダイヤル」の設定／解除

親機でダイヤルしたときや、文字を入力したときに、番号や文字を音声で読み上げるか選ぶ

ﾀﾞｲﾔﾙｷｰを押したとき
音声で読み上げる
設定にしますか?

- **【ストップ】**を押したり、約2分間操作しないと待機画面になり、**【はい】**(「読み上げダイヤル」が「あり」)に設定されます。

■ **読み上げるとき**
【はい】を押す

■ **読み上げないとき**
【いいえ】を押す

■ **あとから「読み上げダイヤル」を設定し直したいときは**(68ページ「読み上げダイヤル」)

5 「見てから印刷」の設定／解除

受信したファクスを画面で見るか記録紙に印刷するか選ぶ(45ページ)

ﾌｧｸｽを印刷せずに
画面で確認しますか?
↓
[はい]　=画面で確認
[いいえ]=紙に印刷

- **【ストップ】**を押したり、約2分間操作しないと待機画面になり、**【はい】**(見てから印刷)に設定されます。

■ **メモリーに受信して画面でファクスを見るとき**
(「見てから印刷」に設定するとき)
【はい】を押す
- 「見てから印刷」に設定されると、「**見てから印刷**」が表示されます。

■ **記録紙に印刷してファクスを見るとき**
【いいえ】を押す

■ **あとから「見てから印刷」を設定し直したいときは**
(45ページ)

6 天気予報「177」にかかることを確認する

受話器を取り、天気予報「177」にダイヤルする
(確認が終わったら、受話器を戻す)

- 通話料金がかかります。
- 光回線(ひかり電話)やADSLなどに接続すると、フリーダイヤルや「117」「177」「110」「119」などにかからない場合がありますので、必ず確認してください。

■**「回線種別が設定できなかったため電話ができません」が表示されているとき**
■**天気予報「177」にかからないとき**

➔ **下記で回線種別を設定してください。**

電話の回線種別を手動で設定するとき

電話の回線種別の自動設定ができなかったときや、天気予報「177」にかからないときに設定してください。

1 **【機能】を押し、[#][0][7][9]を押す**

2 **【▼】【▲】で回線種別を選び、【決定】を押す**

回線種別
20
10

- 自動：自動設定
(お買い求め時の設定)
プッシュ：プッシュ回線
20：ダイヤル回線(速度20 PPS)
10：ダイヤル回線(速度10 PPS)

3 **「プッシュ」「20」「10」のいずれかに設定したときは**
【ストップ】を押す

■**かからないときは**
「プッシュ」→「20」→「10」の順に設定を変えて試してください。(どの設定でもかからないときは、当社窓口「116」へ)

「携帯通話設定」を使うとき

自宅などの固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです。
サービスを利用するには、携帯電話番号の前に事業者識別番号「00XX」をダイヤルします。
「携帯通話設定」とは、携帯電話番号の前に「00XX」を自動的に付ける機能です。

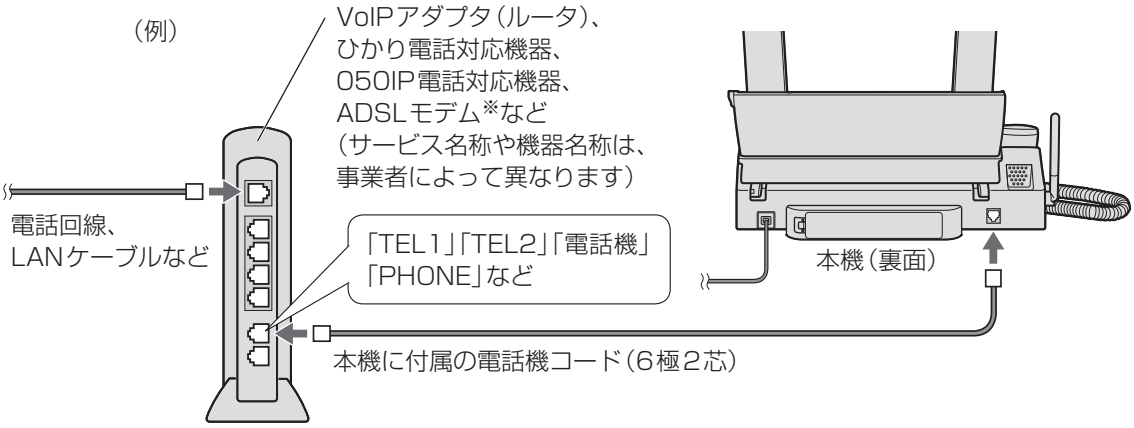
- ひかり電話サービスをご利用の場合、「携帯通話設定」はご利用できません。
- 下記を参照し設定してください。
  - 「固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する」(22ページ)
  - 「携帯通話設定について」(24ページ)、
  - 「携帯通話設定を利用する」(25ページ)
- 通話料金は、利用した固定電話事業者からの請求となります。

いろいろな接続

光回線（ひかり電話）やADSLに接続するとき

本機は、当社のアナログ回線規格に準拠しております。
光回線やIP電話回線でご利用の場合、接続環境や接続機器によっては、正しく動作しないこともあります。
その場合は、光回線やIP電話の事業者にお問い合わせください。

● 接続のしかたは、光回線やADSLの事業者にお問い合わせください。



※ ADSLは、スプリッタ（市販品）などが必要な場合があります。

■ **本機の「TA／スプリッタ接続」を「あり（1）」または「あり（2）」に設定する**（73ページ）

■ **ひかり電話の追加番号（マイナンバー）サービスを利用するときは**（63ページ）、**VoIPアダプタ（ルータ）などの取扱説明書も合わせてお読みください。**

■ **ADSLをご利用の場合、通話中に「ビー」や「シャー」などの音が聞こえるときは、接続方法についてADSLの事業者にお問い合わせください。**

■ **困ったときは**

● 電話をかけられない。
（フリーダイヤル・天気予報など）・・・・ ▶ **回線種別を手動で設定してください。**（17ページ）

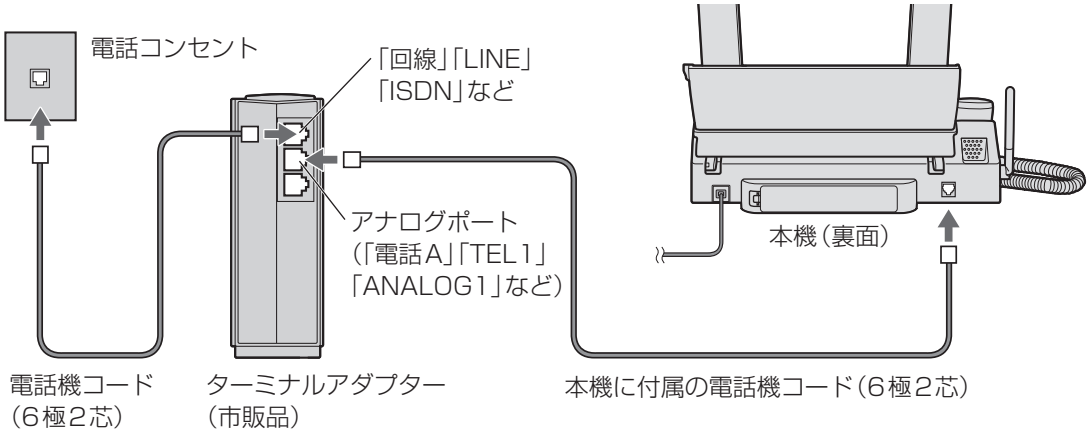
● 携帯電話にかけられない。・・・・・・・・ ▶ **ひかり電話では、「携帯通話設定」は使えません。解除してください。**（25ページ）

● 上記を行ってもかけられない。
● 音量が小さい、雑音が多い。
● ファクスを送受信できない。
● ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号が表示されない。
● 携帯電話に電話をかけると、相手に「非通知」と表示される。

▶ **<ADSLの場合>**
本機を電話コンセントに直接つないで確認してください。正常の場合は、ADSLの事業者に相談してください。

<光回線の場合>
光回線の事業者に相談してください。

ISDN回線に接続するとき



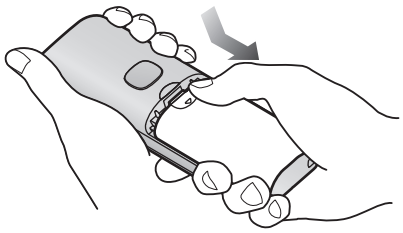
■ **本機の「TA／スプリッタ接続」を「あり(1)」または「あり(2)」に設定する**(73ページ)
■ **接続したら回線種別を「プッシュ」に設定する**(17ページ)
■ **次の場合は、ターミナルアダプターの取扱説明書をお読みください。**
- i・ナンバー、ダイヤルインを利用する。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンを利用する。
- 電話をかけられない・受けられない・相手が切っても呼出音が鳴り続ける。
  (リバース〈極性切替〉スイッチとDSUを切り離すスイッチを確認)

子機の電池パックを入れる・交換する・10時間充電する

電池パックは消耗品です。充電完了まで充電しても通話数分後に電池残量表示が点滅したら、新しいものと交換してください。(92ページ)

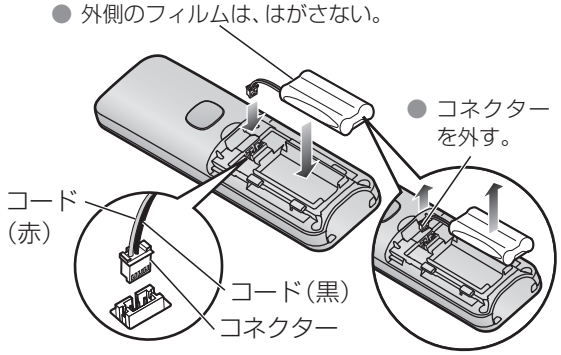
1 電池カバーを開ける

● を押し下げながら手前に引く。



2 コネクターを差し込み、電池パックを入れる

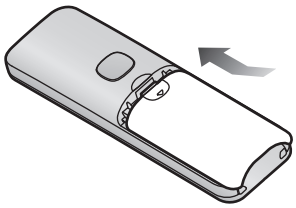
● 外側のフィルムは、はがさない。



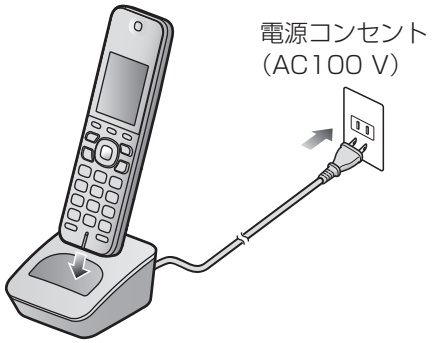
● 古い電池パックが入っているときは、外してください。

3 電池カバーを閉める

● 電池カバー裏のクッションは、外さない。



4 電源コードをつないで子機を充電器に置き、約10時間充電する



● 充電時間が長くなることがあります。(100ページ)
● 子機は、充電器に置いたままでも、過充電しません。

お願い

● 1週間以上、子機を充電器から外したり、電源コードをコンセントから抜くときは、電池パックを外してください。(電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため)次に使うときは充電してください。

■ 交換するときは消耗品を使う (92ページ)

● 仕様:ニッケル水素電池・DC2.4 V・630 mAh

古い電池パックはリサイクルに…

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙・発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
  - 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
  - 一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

  一般社団法人JBRCのホームページ
  http://www.jbrc.com
- リサイクル時のお願い
  - 電池パックはショートしないようにしてください。(火災・感電の原因)
  - フィルム(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
  - 電池パックを分解しないでください。

「携帯通話設定」を使う

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

携帯電話への通話サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の先頭に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです。（お申し込み手続きは不要です。）

（例）NTT東日本のサービスを利用するには

0036（事業者識別番号） ＋ 090-XXXX-XXXX（携帯電話番号）

NTT西日本のサービスを利用するには

0039（事業者識別番号） ＋ 090-XXXX-XXXX（携帯電話番号）

お知らせ

- 通話先、通話時間や通信事業者の料金プランなどによっては、料金が異なります。各固定電話事業者へお問い合わせください。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用できない場合があります。
- ひかり電話サービスをご利用の場合、本サービスはご利用できません。

携帯通話設定を設定すると

本機の「携帯通話設定」（25ページ）を設定すると、本機から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。

固定電話（かける側）

相手の携帯電話番号をダイヤルする
事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。

呼び出す

携帯電話（受ける側）

呼出音が鳴り、相手の電話番号が表示される

（NTT 東日本に設定されているときの例）
「0036090XXXXXXXX」のようにダイヤルされます。

（NTT 西日本に設定されているときの例）
「0039090XXXXXXXX」のようにダイヤルされます。

「0312345678」

- 親機の液晶ディスプレイの「📱」が約 5 秒間点滅します。

お知らせ

- 次の場合もご利用できます。
  - 「184」「186」などを付加しているとき（「184」などの非通知設定で電話をかけた場合、携帯電話に電話番号は表示されません）
  - 再ダイヤルからかけ直すとき
  - 電話帳、ワンタッチダイヤルからかけるとき
  - 用件転送先を呼び出すとき（用件転送ご利用時）
  - 着信履歴からかけ直すとき（ナンバー・ディスプレイご利用時）
  - 外出先でドアホンを受けるとき（ドアホンワープ）
  - 外出先で窓／ドアが開いた通知を受けるとき（窓／ドアセンサー通知）
  - 外出先で人感センサー付子機のセンサー反応の通知を受けるとき（あんしんセンサー通知、みまもりセンサー通知）
- ホームテレホンや構内交換機に接続した場合や、ひかり電話サービスをご利用される場合は、携帯通話設定を解除してください。（25ページ）

携帯電話へのダイヤル方法について

固定電話から携帯電話へ電話をかける場合は、「IP電話解除」の設定によりダイヤル方法が異なります。

■ 050IP 電話サービスをご利用しないお客様

（26 ページの手順「IP 電話解除」で「なし」を選択した場合）

用　途	利用方法	
携帯通話設定を利用して発信する場合	090-XXXX-XXXX └「090」「080」「070」から始まる番号	携帯電話番号をダイヤルする
一時的に携帯通話設定を解除して発信する場合	0000-090-XXXX-XXXX └「090」「080」「070」から始まる番号 └携帯通話設定解除番号	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）をつけてダイヤルする

■ 050IP 電話サービスをご利用のお客様

（26 ページの手順「IP 電話解除」で「あり（解除番号設定）」を選択した場合）

用　途	利用方法	
携帯通話設定を利用して発信する場合	090-XXXX-XXXX └「090」「080」「070」から始まる番号	携帯電話番号をダイヤルする
一時的に携帯通話設定を解除して050IP 電話網経由で発信する場合	0000-090-XXXX-XXXX └「090」「080」「070」から始まる番号 └携帯通話設定解除番号	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）をつけてダイヤルする※1
一時的に携帯通話設定を解除して加入電話網経由で発信する場合	0000-0000-090-XXXX-XXXX └「090」「080」「070」から始まる番号 └IP電話解除番号※2 └携帯通話設定解除番号	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）とIP電話解除番号※2（「0000」）をつけてダイヤルする

お知らせ

● 加入電話網経由で固定電話に発信する場合（050IP電話サービスをご利用のお客様）

0000-0000-03-XXXX-XXXX
- 固定電話番号
- IP電話解除番号※2
- 携帯通話設定解除番号

固定電話番号の前に、携帯通話設定解除番号（「0000」）と IP 電話解除番号※2（「0000」）をつけてダイヤルする

※ 1 携帯通話設定解除番号（「0000」）と IP 電話解除番号（「0000」）が同一のときに、「0000」を 1 つだけつけてダイヤルした場合は携帯通話設定解除番号として認識されます。

※ 2 IP 電話解除番号（「0000」）は例です。ご利用の 050IP 電話サービスに合わせてダイヤルしてください。

携帯通話設定について

携帯通話設定は、会社やご自宅の固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の先頭に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、その事業者が設定する料金で通話できる機能です。
050IP電話サービスを利用している場合は、IP電話解除番号を設定すると050IP電話サービスを一時解除し、携帯通話設定をご利用できます。
ホームテレホンや構内交換機に接続した場合や、ひかり電話サービスをご利用の場合、携帯通話設定はご利用できません。

携帯通話設定に必要な情報と設定画面

■ お客様にご用意いただきたい情報

携帯通話設定を行う場合には、以下の情報が必要です。あらかじめご用意ください。
①**登録する事業者識別番号**（携帯電話への発信時に利用する事業者の識別番号）
②**050IP 電話を利用している場合には IP 電話解除番号**

■ 設定画面について

携帯通話設定の設定画面について、次の表に示します。

表　示	登録内容
携帯通話事業者選択 NTT東日本(0036) または 携帯通話事業者選択 NTT西日本(0039)	●**携帯通話事業者選択** 固定電話で契約されている電話通信事業者（NTT 東日本／ NTT 西日本／その他事業者）を選択します。
IP電話解除 あり(解除番号設定) なし	●**IP 電話解除** IP 電話は、インターネットを利用した電話のことです。IP 電話が利用している通信プロトコルから VoIP とも言われています。「050」で始まる番号を提供されている IP 電話（以下「050IP 電話サービス」）をご利用の場合は「あり」を選択します。
IP電話解除番号? 0000	●**IP 電話解除番号** 050IP 電話サービスをご利用の場合に、050IP 電話サービスを一時解除して電話をかけるための番号を入力します。 IP 電話解除番号については、ご利用の 050IP 電話サービス事業者にお問い合わせください。
事業者識別番号?	●**事業者識別番号** 携帯通話設定を利用する事業者を特定する番号を入力します。NTT 東日本は「0036」、NTT 西日本は「0039」です。その他事業者の事業者識別番号については、各固定電話事業者にお問い合わせください。

携帯通話設定時のご注意（2016年10月現在）

- 停電時、携帯通話設定はご利用できません。
- 携帯通話設定を「NTT東日本（0036）」に設定して、通話できる回線の種類は、NTT東日本サービス提供エリア内（北海道、東北、関東、甲信越地区）の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット 64、INSネット 64・ライト、INSネット 1500となります。
- 携帯通話設定を「NTT西日本（0039）」に設定して、通話できる回線の種類は、NTT西日本サービス提供エリア内（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット 64、INSネット 64・ライト、INSネット 1500となります。
- 携帯通話設定を設定した場合でも、「0000」（携帯通話設定解除番号）をつけてダイヤルすると、その通話に限り、携帯通話設定を解除して電話をかけることができます。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など、一部ご利用できない番号があります。この場合は、「0000」（携帯通話設定解除番号）をつけてダイヤルしてください。
- 050IP電話サービスをご利用時に、携帯通話設定を設定した場合は、「184」や「186」のあとにポーズを入力しないでください。電話がかけられないことがあります。
- 050IP電話サービスをご利用時に、接続するVoIP機器（ルーターなど）の状態によっては、携帯通話設定が正しく動作しない場合があります。
- 携帯通話設定が働く場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本機が事業者識別番号の付加判定を行っているためであり、故障ではありません。
- 携帯通話設定は、電話をかけるときは有効な機能ですが、お話し中に**【キャッチ】**を利用して電話をかけるとき（3者通話ご利用時など）には、携帯通話設定は動作しません。

携帯通話設定を利用する

携帯通話設定を「NTT東日本（0036）／NTT西日本（0039）」または「その他」に設定しておくと、本機から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルします。携帯通話設定を利用する場合は、必ず設定してください。お買い求め時は「なし」に設定されています。（お申し込み手続きは不要です。）親機で設定すると、親機と子機で携帯通話設定をご利用できます。

■ ひかり電話サービスをご利用の場合は、「携帯通話設定」を設定しないでください。

ひかり電話サービスでは、「00XX」の番号を付けると電話をかけることができません。
その他の事業者の光電話やケーブルTVの回線を使ったIP電話をご利用の場合も、「00XX」を付けて電話をかけられない場合がありますので、ご利用の各事業者にお問い合わせください。

■ 固定電話事業者の会社番号（事業者識別番号）について

携帯通話設定を利用するときに、各固定電話事業者に割り当てられている事業者識別番号を使います。
本機には、NTT東日本の事業者識別番号「0036」／NTT西日本の事業者識別番号「0039」を選択できるように、あらかじめ登録されています。

※ 申し込みは不要で、お申し込み費用や定額料、工事費は一切かかりません。通話料金のみかかります。（2016年10月現在）

■ 050IP電話とIP電話解除番号について

ADSLの事業者の電話サービスを使うときは、050IP電話での利用となります。
（050から始まる電話番号が付与されます）

- IP電話解除番号は、一時的にIP電話回線（050番号）を使わないで電話をかけるための番号です。050IP電話を利用時は、IP電話解除番号を設定してください。

お知らせ

- 携帯電話にかけられないとき
  - IP電話解除番号を設定または変更してください。（26ページ）
  - IP電話解除番号がわからないときは、050IP電話の各事業者へお問い合わせください。

- **事業者識別番号・携帯番号帯・通話料金・サービス内容については、固定電話事業者にお問い合わせください。**
- NTT西日本のサービス提供エリアでNTT東日本の事業者識別番号を入力したり、その逆の場合など、事業者識別番号を間違えて設定すると、携帯電話にかけられません。

事業者識別番号の設定（NTT東日本／NTT西日本に設定する）

- 親機で操作します。

1 **【機能】**を押し、#19 8を押す

2 **【▼】【▲】**で「NTT東日本（0036）」／「NTT西日本（0039）」を選び、**【決定】**を押す

携帯通話事業者選択
NTT東日本（0036）

または

携帯通話事業者選択
NTT西日本（0039）

※「NTT東日本（0036）／NTT西日本（0039）」はご購入いただいたエリアの事業者名（事業者識別番号）がどちらか1つのみ表示されます。

- 解除するときは「なし」を選びます。

3 **【ストップ】**を押す

- 「携帯通話設定」が設定されると、「■」が表示されます。

■ 事業者識別番号の設定（その他の事業者に設定する）

- 親機で操作します。

1 **【機能】**を押し、#19 8を押す

2 **【▼】【▲】**で「その他」を選び、**【決定】**を押す

- 解除するときは「なし」を選びます。

携帯通話事業者選択
NTT東日本（0036）
その他

または

携帯通話事業者選択
NTT西日本（0039）
その他

3 事業者識別番号（「00XX」など10ケタまで）を入力し、**【決定】**を押す

事業者識別番号?
▌

- 変更するときは、カーソルが先頭のときに**【消去】**を2秒以上押し、入力し直します。

4 **【ストップ】**を押す

- 「携帯通話設定」が設定されると、「■」が表示されます。

お知らせ

- 携帯電話にかけるときに「携帯通話設定」の機能が働くと、「■」が約5秒間点滅します。
- 「090」「080」「070」から始まる携帯電話番号のみに働きます。
- 通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 通話先・通話時間や通信事業者の料金プランなどによっては、一部お安くならない場合があります。

- 携帯電話に電話をかけるとき、ダイヤル操作が遅れると、事業者識別番号が自動付加されないことがあります。
- 事業者選択画面で、「NTT東日本（0036）」を選択した場合、NTT東日本のサービス提供エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）以外では利用できません。
- 事業者選択画面で、「NTT西日本（0039）」を選択した場合、NTT西日本のサービス提供エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）以外では利用できません。
- 当社サービス提供エリア以外で利用される場合は、「その他」を選択してください。
- 事業者識別番号設定に、市外局番や存在しない事業者識別番号などを設定すると、相手につながりません。
- ホームテレホンや構内交換機に接続した場合や、ひかり電話サービスをご利用の場合、携帯通話設定はご利用できません。事業者選択設定を「なし」に設定してください。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などには、「0000」（携帯通話設定解除番号）をつけてダイヤルしてください。その通話に限り、携帯通話設定を解除して電話をかけることができます。
- 携帯通話設定を利用していると、再ダイヤルに事業者識別番号やIP電話解除番号は記録されません。
- その他事業者のサービス内容、および通話料金については、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- その他事業者の事業者識別番号は、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- 設定の途中で設定動作を中断した場合は、設定変更内容は反映されません。
- 相手につながるまで、時間がかかる場合があります。

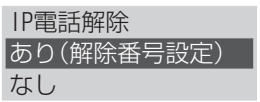
050IP電話を利用時は、IP電話解除番号を設定する

IP電話解除番号とは050IP電話サービスをご利用の場合に、050IP電話サービスを一時解除して電話をかけるための番号です。
IP電話解除番号については、ご利用の050IP電話サービス事業者にお問い合わせください。

- 親機で操作します。

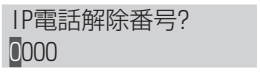
1 **【機能】**を押し、[#][1][9][9]を押す

2 **【▼】【▲】**で「あり（解除番号設定）」を選び、**【決定】**を押す



- 設定しないときは「なし」を選びます。

3 IP電話解除番号（8ケタまで）を入力し、**【決定】**を押す



- 変更するときは、カーソルが先頭のときに**【消去】**を2秒以上押し、入力し直します。

4 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- 050IP電話サービスをご利用の場合は、必ずIP電話解除設定で「あり（解除番号設定）」を選択してください。
  ※ 050IP電話サービスをご利用していない場合は、IP電話解除設定で「なし」を選択してください。
- IP電話解除設定で「あり（解除番号設定）」を選択した場合は、必ずIP電話解除番号を登録してください。
  ※ ご契約の050IP電話サービスによってIP電話解除番号は異なりますので、IP電話解除番号が不明な場合は、契約している050IP電話サービス事業者へ確認してください。
  ※ 当社が提供しているVoIP機器（ルーターなど）を利用されている場合は、IP電話解除番号は「0000」（お買い求め時の設定）を登録してください。

携帯番号帯設定を行う

この操作は、携帯番号帯が追加・変更されたとき以外は行わないでください。
登録されている番号の発信のみに携帯通話設定が適用されます。2016年10月現在、この操作を行う必要はありません。

携帯番号帯とは
携帯電話番号の上位4または5ケタのことです。お買い求め時には、あらかじめ以下の27件が設定されています。最大50件まで設定できます。

- 設定されている携帯番号帯
  0901、0902、0903、0904、0905、0906、0907、0908、0909
  0801、0802、0803、0804、0805、0806、0807、0808、0809
  0701、0702、0703、0704、0705、0706、0707、0708、0709

■ 携帯番号帯を設定する

- 親機で操作します。

1 **【機能】**を押し、#197を押す

```
No.01?
0901
```

2 **【▼】【▲】**で登録するNo.を選ぶ

```
No.28?
```

3 携帯番号帯（5ケタまで）を入力し、**【決定】**を押す

（例）携帯番号帯「XXX1」を追加するとき

```
No.28?
XXX1
```

4 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- 市外局番や事業者識別番号など携帯番号帯以外の番号は設定しないでください。

■ 携帯番号帯を確認する

- 親機で操作します。

1 **【機能】**を押し、#197を押す

```
No.01?
0901
```

2 **【▼】【▲】**で登録されている携帯番号帯を確認する

```
No.02?
0902
```

3 **【ストップ】**を押す

■ 携帯番号帯を消去する

- 親機で操作します。

1 **【機能】**を押し、#197を押す

2 **【▼】【▲】**で消去する携帯番号帯を選び、カーソルが先頭のとき、**【消去】**を2秒以上押す

（例）No.09の「0909」を消去するとき

```
No.09?
0909
```

- 消去しないときは**【ストップ】**を押します。

3 **【決定】**を押す

4 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- すでに設定されている携帯番号帯を、誤って設定・消去すると、その携帯番号帯に電話をかけるときに携帯通話設定が利用できなくなります。

親機の使いかた

ファクスを送る

1 【ファクス】を押す

- 操作案内が流れます。操作案内を聞かずに送るには、45ページの「操作案内を聞かずに送る」をお読みください。

2 記録紙トレーを開けて、原稿をセットする

- 一度に重ねて5枚まで。

- 写真や小さい文字の原稿のときは、**【画質】**をくり返し押して、画質を変更してください。

ふつう字 → 小さい字 → 写真

小さい字：新聞程度の小さい文字

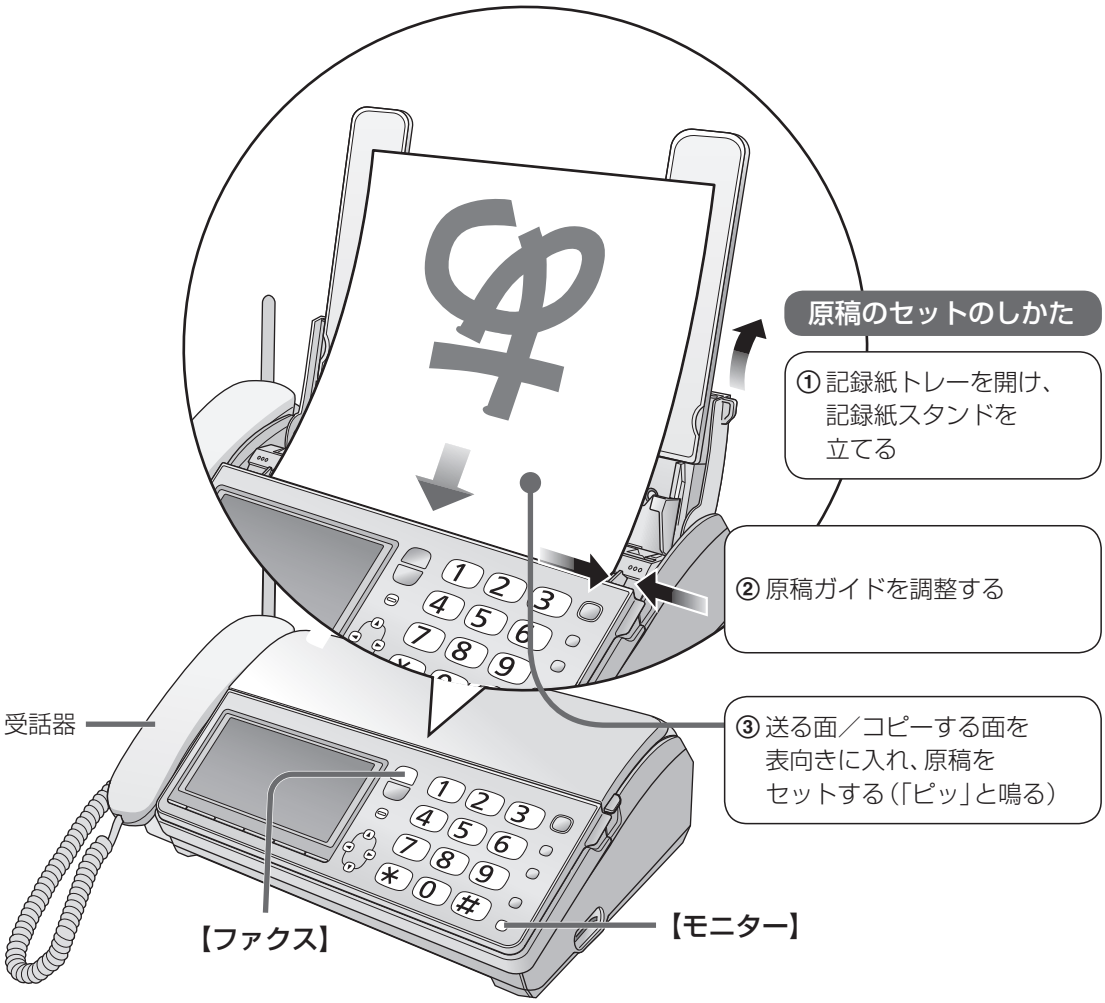
写真：写真や濃淡のある原稿

3 ダイヤルする

- 番号を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「読み上げダイヤル」を「なし」に変更してください。

4 【ファクス】を押す

- 間違った相手にファクスを送らないために、相手の番号をよく確かめてから送信してください。
- 相手が話し中など、応答がなかったときは、自動的に再ダイヤルします。（1分間隔、3回まで）
  - 受話器を取る、または**【モニター】**を押して送ったときは働きません。
- 送信結果を音声でお知らせします。お知らせを止めるには68ページの「ファクス音声案内」を「なし」に変更してください。



電話をかける

1 受話器を取り、「ツー」音が聞こえたらダイヤルする

- 番号を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「読み上げダイヤル」を「なし」に変更してください。

2 通話が終わったら受話器を戻す

電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら受話器を取る

- 「ポーポー」音が聞こえたり、無音のときは、ファクスが送られてきていますので、親機の**【ファクス】**を押し、受話器を戻してください。
  - 受信結果を音声でお知らせします。お知らせを止めるには68ページの「ファクス音声案内」を「なし」に変更してください。
- 受信したファクスはメモリーに記憶されます。記録紙に印刷するには、記録紙をセットしたあと(95ページ)、ファクスを印刷してください。(48ページ)
- 自動でファクスを受けることもできます(46ページ「ファクスを自動で受ける」)

2 通話が終わったら受話器を戻す

子機の使いかた

電話をかける

1 充電器から子機を取り、**【外線】**を押す

2 「ツー」音が聞こえたらダイヤルする

3 通話が終わったら**【切】**を押す(充電器に戻す)

電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら充電器から子機を取り、**【外線】**を押す

2 通話が終わったら**【切】**を押す(充電器に戻す)

相手の声が途切れたり、雑音が入るときなど(100ページ「通話」)

他にもいろいろな電話のかけかた、ファクスの送りかたができます。(32・33・44ページ)

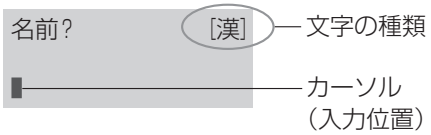
文字入力のしかた

電話帳に登録するときや、親機・子機の名前を登録するときなどに、ボタンを押して文字を入力します。

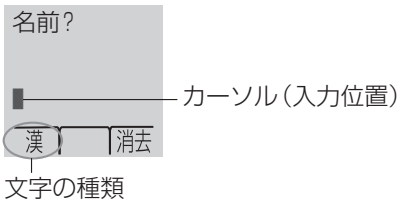
● 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。　● 希望の漢字に変換できないこともあります。

1. 文字の種類を選ぶ

〈親機〉
電話帳（40ページ）や親機の名前（65ページ）の入力などのときに、**【文字切替】**をくり返し押す



〈子機〉
電話帳（42ページ）や子機の名前（75ページ）の入力などのときに、文字の種類（**【漢】【カナ】【英】【数】**のいずれか）のボタンをくり返し押す



● 文字の種類は、「漢」（ひらがな、漢字、全角カタカナ）→「カナ」（半角カタカナ）→「英」（英字・記号）→「数」（数字）→「漢」…の順に切り替わります。

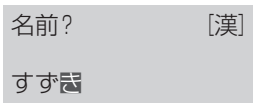
2. 文字を入力する

（例）「すずき」と入力する

● 文字の種類を「漢」に切り替えて、入力してください。

3（3回）→**【▶】**→3（3回）✱（1回）2（2回）を押す

〈親機〉



〈子機〉

● 親機の電話帳登録・検索時は、ひらがな・半角カタカナを1文字入力するごとに、入力した文字を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「読み上げダイヤル」を「なし」に変更してください。

3. 漢字・全角カタカナに変換する

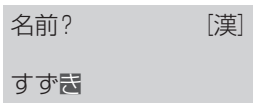
● 画面は親機の例で説明します。

①【▼】【▲】をくり返し押して文字を選ぶ

● 変換中は反転表示します。

②【決定】を押す

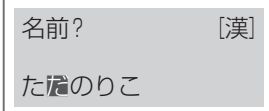
ひらがなのままにするには
【決定】を押す



● 漢字に変換する前は6文字まで。

変換中の文字の区切りを変えるには

① 変換中に**【消去】**を押す
　● 変換中の文字が、ひらがなに戻ります。
②**【◀】【▶】**で、変換する最後の文字にカーソルを移動する
③**【▼】**を押す



● 上記の例では、「ただ」の部分のみ変換されます。

こんなときは

■ 1文字消去するには

① 消去する文字にカーソルを移動する

② **【消去】**を押す

■ カーソルの位置以降の文字をすべて消去するには

① 消去する文字の先頭にカーソルを移動する

② **【消去】**を2秒以上押す

■ すべての文字を消去するには

① 文字の先頭にカーソルを移動する

② **【消去】**を2秒以上押す

■ 文字を挿入するには

① 挿入位置の次の文字にカーソルを移動する

② 文字を入力する

■ 同じボタンの文字を続けて入力するには

例：あい

① 1を押す（「あ」が入力される）

② **【▶】**でカーソルを右へ移動する

③ 1を2回押す（「い」が入力される）

■ 1文字分スペースを空けるには

〈親機〉**【スペース】**を押す

〈子機〉**【保留】**を押す

● スペースも1文字分として文字数に含まれます。

■ カーソルを移動するには

【◀】【▶】を押す

■ 修正するには

① 修正する文字にカーソルを移動する

② **【消去】**を押して消し、文字を入力し直す

文字列一覧表

ボタン＼表示	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@ . _ −(ハイフン) & $ ¥ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをん ー(長音)	ワヲン ー(長音)	! ? / −(ハイフン) ＊ # , ; : | ・ ’ ” ( ) [ ] { } 〈 〉 「 」	0
＊	゛(濁点) ゜(半濁点) 、 。	゛(濁点) ゜(半濁点) 、 。	、 。	／

（一覧表の文字と液晶ディスプレイの文字は、形や位置が異なることがあります）

文字の入力例

父のオフィス＃Tel01

● 文字の種類は「漢」と表示されています。

（ひらがな、漢字、全角カタカナ）

① 4（2回）
② **【▶】**（1回）
③ 4（2回）
④ 5（5回）
⑤ **【▼】**で変換し、**【決定】**

〈親機〉**【文字切替】**を押す
〈子機〉**【漢】**を押す
● 文字の種類が「カナ」に切り替わります。

（半角カタカナ）

① 1（5回）
② 6（3回）
③ 1（7回）
④ 3（3回）

〈親機〉**【文字切替】**を押す
〈子機〉**【カナ】**を押す
● 文字の種類が「英」に切り替わります。

（記号）

① 0（6回）

（英字）

① 8（1回）
② 3（5回）
③ 5（6回）

〈親機〉**【文字切替】**を押す
〈子機〉**【英】**を押す
● 文字の種類が「数」に切り替わります。

（数字）

① 0（1回）
② 1（1回）

親機で電話をかける

「親機の使いかた」の「電話をかける」「電話を受ける」(29ページ)も合わせてお読みください。

同じ相手にもう一度かける(再ダイヤル)

● 10件まで記憶できます。

1 【▶】(再ダイヤル)を押す

2 【▼】【▲】で電話をかける相手を選ぶ
- 名前や電話番号を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「電話帳読み上げ」を「なし」にしてください。
- 再ダイヤルの内容を確認するには【決定】を押します。

3 受話器を取る

■ **履歴を消去するには**
【▶】(再ダイヤル)→【▼】【▲】で相手を選び、【消去】→【はい】→【ストップ】

お知らせ
- 再ダイヤルでかけるときに操作案内が流れます。止めるには68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。

電話帳でかける

準備
- 電話帳に登録してください。(40ページ)

1 【電話帳】を押す

2 **すべてから探すとき**
手順**3**へ進む

フリガナで探すとき
0～9でフリガナを入力する
- 文字入力のしかた(30ページ)

グループから探すとき
#→【▼】【▲】でグループを選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で電話をかける相手を選ぶ
- 名前を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「電話帳読み上げ」を「なし」にしてください。
- 電話帳の登録内容を確認するには【決定】を押します。

4 受話器を取る

お知らせ
- 電話帳でかけるときに操作案内が流れます。止めるには68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。

短縮ダイヤルでかける

準備
- 短縮ダイヤルに登録してください。(44ページ)

1 【短縮】を押す

2 1～9(短縮番号)を押す
- 【▼】【▲】で短縮番号を選ぶこともできます。
- 名前や電話番号を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「電話帳読み上げ」を「なし」にしてください。

3 受話器を取る

お知らせ
- 短縮ダイヤルでかけるときに操作案内が流れます。止めるには68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。

受話器を取らずにかける

1 【モニター】を押す
- モニター使用中は、相手にこちらの声は聞こえません。

2 ダイヤルする

3 相手が出たら受話器を取る

構内交換機に接続しているとき

1 外線発信番号(例:0)を押す

2 【留守】(ポーズ)を押す

3 ダイヤルし、受話器を取る

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき

1 相手につながったあと✳(トーン)を押す

子機にかける(内線電話)

1 【内線】を押す

2 (子機が2台以上やドアホン接続時のみ)
【▼】【▲】でかける相手を選び、【決定】を押す

● 1～6（内線番号）、✳（一斉呼出）を押して呼び出しもできます。

3 相手が出たら受話器を取り、話す

4 終わったら受話器を戻す

■ 音声で内線電話を呼び出すには（音声内線呼出）

● 「内線呼出」を「音声」に設定してください。（74ページ）
● 呼び出す側は、内線電話をかけて呼出音が2回聞こえたら、親機は受話器を取り、子機は送話口から相手に呼びかけてください。相手が出たら話します。
● 受ける側は、内線電話の呼出音が1回鳴ったあとスピーカーから相手の声が聞こえたら、親機は受話器を取り、子機は**【内線】**を押してから話してください。

親機で内線電話を受けるとき

1 内線電話がかかってきたら、受話器を取る

内線電話中にかかってきた電話を受ける

1 呼出音（ベル1）が聞こえる

親機で受話器を戻してから取る

● 外線につながります。

子機で電話をかける

「子機の使いかた」（29ページ）も合わせてお読みください。

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル）

● 10件まで記憶できます。

1 **【▶】**（再ダイヤル）を押す

2 **【▼】【▲】**で相手を選び、**【外線】**を押す

■ 履歴を消去するには

【▶】（再ダイヤル）→**【▼】【▲】**で相手を選び、**【消去】→【はい】→【切】**

電話帳でかける

準備

● 電話帳に登録してください。（42ページ）

1 **【電話帳】**を押す

2 **すべてから探すとき**

手順**3**へ進む

フリガナで探すとき

0～9でフリガナを入力する

● 文字入力のしかた（30ページ）

グループから探すとき

#→**【▼】【▲】**でグループを選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で相手を選ぶ

● 電話帳の登録内容を確認するには**【詳細】→【◀】【▶】**を押します。（戻るときは**【戻る】**を押します）

4 **【外線】**を押す

ワンタッチダイヤルでかける

準備

● ワンタッチダイヤルに登録してください。（43ページ）

1 **【1】～【3】**（ワンタッチダイヤル）を押す

2 相手が出たら話す

お知らせ

● **【外線】**を押し、**【1】～【3】**（ワンタッチダイヤル）を押してかけることもできます。

机の上などに置いたままかける

1 **【スピーカーホン】**を押す

2 ダイヤルする

3 送話口に向かって話す（50 cm以内）

● 相手と交互に話してください。（同時に話すと途切れることがあります）

構内交換機に接続しているとき

1 外線発信番号（例：0）を押す

2 **【ポーズ】**を押す

3 ダイヤルし、**【外線】**を押す

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき

1 相手につながったあと✳（トーン）を押す

親機・別の子機にかける（内線電話）

1 【内線】を押す

2 （子機が2台以上やドアホン接続時のみ）
【▼】【▲】で相手を選び、【決定】を押す
- 0（親機）、1～6（内線番号）、＊（一斉呼出）を押して呼び出しもできます。

3 相手が出たら話す

4 終わったら【切】を押す

■ **音声で内線電話を呼び出すには（音声内線呼出）**
（33ページ）

子機で内線電話を受けるとき

1 内線電話がかかってきたら、充電器から子機を取り、【内線】を押す

内線電話中にかかってきた電話を受ける

1 呼出音（ベル1）が聞こえる

子機で【切】→【外線】を押す
- 外線につながります。

通話中にできること

相手に待ってもらう（保留）

親機

1 【保留】を押す
- 通話に戻るときは再度押してください。
- 保留中は相手に保留メロディが流れます。（73ページ「保留メロディ」）

子機

1 【保留】を押す
- 通話に戻るときは【外線】を押してください。
- 保留中は、親機で設定した保留メロディが相手に流れます。
- 4秒ごとに「ピーッ」と鳴ります。
  ・鳴らないようにするには「保留通知音」（75ページ）を「なし」にしてください。

キャッチホンを受ける（当社との契約が必要）

親機・子機

1 【キャッチ】を押す
- 元の通話に戻るときは再度押してください。

お知らせ
- キャッチホンを受けたときは、以下の機能は働きません。
  - 通話拒否（36ページ）
  - 迷惑防止（37ページ）
  - 着信拒否（58ページ）
  - 着信読み上げ（59ページ）
  - グループ読み上げ（59ページ）
  - 着信鳴り分け（58ページ）
  - 迷惑ブロック（62ページ）
  - モデムダイヤルイン（63ページ）
- キャッチホンで相手が変わっても、続けてフル録音されます。（35ページ）

相手の声の音質を変える（受話音質）

子機

1 【機能】を押す

2 【▼】【▲】で「受話音質」を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で声の音質を選び、【決定】を押す
- 標準（お買い求め時）／ノイズカット弱／ノイズカット強／高音強調／低音強調から選びます。

お知らせ
- 内線電話、ドアホン、スピーカーホンでの通話では使えません。
- 次に設定するまで、設定は変わりません。

自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）

子機

1 電話やドアホンで通話中に【機能】を押す

2 【▼】【▲】で「ボイスチェンジ」を選び、【決定】を押す

3 【はい】を押す
- 解除するには、再度手順**1**～**3**の操作を行ってください。

お知らせ
- 次の場合は、ボイスチェンジは使えません。
  - 電話をかけたとき。

・ 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきた相手との通話中。
・ 内線電話中。
・ 録音中。

● 通話が終わると、解除されます。

自分の声が相手に聞こえないようにする（ミュート）

天気予報など相手の声を聞くだけの場合に、周囲の音により相手の声が途切れるときなどに使います。

子機

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「ミュート」を選び、**【決定】**を押す
- 解除するには**【機能】**を押し、**【▼】【▲】**で「ミュート解除」を選び、**【決定】**を押してください。

通話を録音する（通話録音）

● 約12分まで録音できます。
- 本体メモリーへの録音時間（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）
- SDカード使用時の録音時間（55ページ「SDカード容量について」）

親機

1 通話中に**【通話録音】→【通話録音】→【はい】**を押す
- 相手に警告音声が流れます。流さずに録音するには**【いいえ】**を押します。
- 録音をやめるには**【ストップ】**を押してください。

子機

1 通話中に**【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「通話録音」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「する」を選び、**【決定】**を押す
- 相手に警告音声が流れます。流さずに録音するには**【▼】【▲】**で「しない」を選び、**【決定】**を押します。
- 録音をやめるには、**【機能】**を押し、**【▼】【▲】**で「録音中止」を選び、**【決定】**を押してください。

■ 録音した通話を聞くとき／消去するとき
（50ページ「親機で用件を再生・消去する」）
（52ページ「子機で用件を再生・消去する」）

お知らせ

● 内線電話、ドアホン通話は録音できません。

聞き逃した通話を録音する（前から録音）

「前から録音」では、用件を聞き逃したときなどに約1分前からの通話を録音できます。

● 相手が電話を切っても、本機で電話を切るまでは、「前から録音」できます。
● 約12分まで録音できます。
- 本体メモリーへの録音時間（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）
- SDカード使用時の録音時間（55ページ「SDカード容量について」）

親機

1 通話中、または電話を切る前に**【通話録音】→【前から録音】**を押す
- 録音をやめるには**【ストップ】**を押してください。

子機

1 通話中、または電話を切る前に**【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「前から録音」を選び、**【決定】**を押す

3 **【はい】**を押す
- 録音をやめるには、**【機能】**を押し、**【▼】【▲】**で「録音中止」を選び、**【決定】**を押してください。

■ 録音した通話を聞くとき／消去するとき
（50ページ「親機で用件を再生・消去する」）
（52ページ「子機で用件を再生・消去する」）

お知らせ

● 内線電話、ドアホン通話は録音できません。
● 通話の保留や、**【着信履歴/ファクスを見る】**を押すと、その前の通話を録音できなくなります。
● 「前から録音」をやめると、その時点までの通話をメモリーに保存します。メモリーへの保存中は、電話をかける・受ける、ドアホンに出る以外の操作はできません。

外線通話をすべてSDカードに録音する（フル録音）

● 録音を開始するときの警告の音声は流れません。
● 1件約120分まで録音されます。（保留中の時間は含まれません）
● 子機で通話してもフル録音されます。

準備

● 親機で「SDへのフル録音」（70ページ）を設定してください。

1 親機にSDカードを入れる（55ページ）

2 通話がSDカードに録音される
- 録音開始や終了の操作は不要です。
- 親機で録音をやめるには**【ストップ】**、子機で録音をやめるには**【機能】**を押し、**【▼】【▲】**で「録音中止」を選び、**【決定】**を押してください。

■ **録音した通話を聞くとき／消去するとき**
（50ページ「親機で用件を再生・消去する」）
（52ページ「子機で用件を再生・消去する」）

■ **フル録音を解除するには**
親機の「SDへのフル録音」（70ページ）を「なし」に設定する

お知らせ

- 次の場合は、フル録音は働きません。
  - 内線電話、ドアホン通話。
  - SDカードの空き容量がない、または録音件数が1,000件になったとき。
  - 通話中にSDカードを入れたとき。
- フル録音中に通話を拒否すると、フル録音は中止されます。
- フル録音中に次の操作をすると、フル録音は一時停止されます。外線通話に戻ると録音は再開されます。
  - 保留する。
  - 電話をまわす。
  - ドアホンに出る。
- キャッチホンで相手が変わっても、続けてフル録音されます。
- フル録音中は、読み上げダイヤルは働きません。

電話をまわす

親機と子機の間で電話をまわすことができます。

親機・子機

1 通話中に**【保留】**を押す

2 [#]を押す

3 （子機が2台以上やドアホン接続時のみ）
【▼】【▲】で相手を選び、**【決定】**を押す
- [0]（親機）、[1]～[6]（内線番号）、[✳]（一斉呼出）を押して呼び出しもできます。

4 相手が出たら、電話をまわすことを伝える

（例）

5 内線電話を切る
- 親機から他の内線にまわすときは、受話器を戻してください。
- 子機から他の内線へまわすときは、子機の**【切】**を押してください。

お知らせ

- まわす相手が出ないときは、親機は**【内線】**、子機は**【外線】**を押します。（外の相手との通話に戻ります）
- 「内線呼出」が「音声」のときは〔33ページ「■ 音声で内線電話を呼び出すには（音声内線呼出）」〕

まわす相手が近くにいるとき

1 通話中に**【保留】**を押す

2 まわす相手に声をかける
- まわす相手が親機のときは、親機で受話器を取って電話に出ます。
- まわす相手が子機のときは、子機で**【外線】**を押して電話に出ます。

迷惑な電話をお断りする（通話拒否）

呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。通話中はチャイムを鳴らして、来客があったようにすることもできます。

■ **ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき（契約が必要）**
- 呼出音が鳴っているときに通話拒否すると、相手に流れるメッセージは下記のように自動的に切り替わります。（74ページ「メッセージ一覧」）
  - 電話番号を通知してきた相手には…メッセージ⑭
  - 非通知の相手には……メッセージ⑩
  - 公衆電話の相手には…メッセージ⑪
  - 表示圏外の相手には…メッセージ⑫
- 通話拒否した電話を、次回から受けないようにするには、電話を切る前に、迷惑、拒否設定のメッセージが出たら、**【はい】**を押します。
  - 設定を解除するには、58ページ「■ 迷惑電話を受けないようにできます（着信拒否）」のそれぞれの設定を「拒否しない」または「なし」に設定してください。

親機で電話をお断りする

メッセージを流して通話を拒否する

1 呼出音が鳴っているとき
【通話拒否】を押す

通話中のとき
【通話拒否】→【音声】を押す

2 相手にメッセージ⑭（75ページ）が2回流れ、電話が切れる
- 通話中のときは、電話を切ってください。メッセージの途中で電話を切っても最後まで流れます。

■ **メッセージを中止し、電話に出るには**
- 呼出音が鳴っているときに通話拒否の操作をしたときは、メッセージ中に受話器を取ってください。

● 通話中に通話拒否の操作をしたときは、受話器を上げた状態で、メッセージ中に【ストップ】を押してください。

通話中、チャイムを鳴らして通話を拒否する

1 通話中に【通話拒否】→【チャイム】を押す
● 相手にチャイムが聞こえます。(電話は切れません)

2 来客があったことにして電話を切る

子機で電話をお断りする

メッセージを流して通話を拒否する

1 **呼出音が鳴っているとき**
【拒否】→【はい】を押す

通話中のとき
①【機能】を押す
②【▼】【▲】で「通話拒否」を選び、【決定】を押す
③【▼】【▲】で「音声」を選び、【決定】を押す

2 相手にメッセージ⑭(75ページ)が2回流れ、電話が切れる
● 通話中のときは、電話を切ってください。
● メッセージの途中で電話を切っても最後まで流れます。

■ **メッセージを中止し、電話に出るには**
● メッセージ中に【外線】を押してください。

通話中、チャイムを鳴らして通話を拒否する

1 通話中に【機能】を押す

2 【▼】【▲】で「通話拒否」を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で「チャイム」を選び、【決定】を押す
● 相手にチャイムが聞こえます。(電話は切れません)

4 来客があったことにして電話を切る

電話に出る前に相手の声を確認する

呼出音が鳴っているときに、相手に名前を尋ねるメッセージを流して相手の声を確認したあと、電話に出たり、電話を切ったりすることができます。

相手の声を確認して電話に出る(あんしん応答)

親機で電話に出る

1 呼出音が鳴っているときに【あんしん応答】を押す
● 相手にメッセージ⑮(75ページ)が流れます。メッセージを変更するには(74ページ「あんしん応答メッセージ」)
● メッセージ中に電話を切るには【ストップ】を押します。

2 スピーカーから相手の声を聞く

3 **電話に出るとき**
受話器を取る

お断りのメッセージを流して電話を切るとき
【おことわり】を押す
● メッセージ⑭(75ページ)が流れ、電話が自動的に切れます。

もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき
【くりかえし】を押す

電話を切るとき
【ストップ】を押す

子機で電話に出る

1 呼出音が鳴っているときに【あんしん応答】を押す
● 親機で設定したメッセージが流れます。
● メッセージ中に電話を切るには【切】を押します。

2 スピーカーから相手の声を聞く

3 **電話に出るとき**
【外線】を押す

お断りのメッセージを流して電話を切るとき
[*]を押す
● メッセージ⑭(75ページ)が流れ、電話が自動的に切れます。

もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき
[#]を押す

電話を切るとき
【切】を押す(充電器に戻す)

自動的に電話に応答し、迷惑防止のメッセージを流す(迷惑防止)

ナンバー・ディスプレイサービスを利用している場合、親機の電話帳に登録されている相手からかかってきたときは迷惑防止の機能は働きません。

■ 親機にSDカードを入れていないとき
電話に出ると、通話が1件（最大約10分）のみ録音されます。（電話に出るたびに上書きされます）
- **録音を残すには電話を切ったあと、「迷惑防止」を解除してください。保存の操作（右記）後、「迷惑防止」を再設定してください。**

■ 親機にSDカードを入れているとき
迷惑防止の通話がすべてSDカードに保存されます。

「迷惑防止」を設定する（右記『「迷惑防止」を設定する／解除する』）

↓

電話がかかってくると、呼出音が鳴る前に本機が応答して、相手に通話を録音するというメッセージ⑱（75ページ）を流す
- 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。
- 無鳴動受信(47ページ)の設定をしているときは、呼出音が鳴らずに自動的にファクスを受信します。

↓

呼出音とメッセージ⑲（75ページ）を6回くり返す
- 呼出回数を変更するには（67ページ「迷惑防止呼出回数」）
- 呼出音のあとのメッセージを流したくないときは（68ページ「迷惑防止音声案内」）
- ファクスが送られてきたときは、ファクスを自動的に受信します。

↓

電話に出たとき	
SDカードなし	**SDカードあり**
通話が迷惑防止用メモリー（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）に録音される ● 録音中は通話時間が表示されています。 ● 親機の**【保留】**や**【着信履歴/ファクスを見る】**を押すと、録音を中止します。	通話がSDカードに録音される ● 録音中は「フル録音中」と表示されます。 ● 親機の**【保留】**を押すと、録音を一時停止し、保留を解除すると再度録音します。
電話に出なかったとき	
在宅のとき（留守ランプ消灯時）	**留守のとき（留守ランプ点灯時）**
メッセージ⑰（75ページ）を流し、電話が切れる	留守番電話が応答する

お知らせ
- 通話を開始して約2秒後から録音されます。
- 内線電話中、ドアホン通話中、コピー中は迷惑防止機能が働きません。
- 迷惑防止の機能が働いているときは…
  - 「在宅呼出回数」（67ページ）が「留守」に設定されていても、留守セットされません。
  - 「留守呼出回数」（67ページ）が「トールセーバー」に設定されていても、トールセーバーは働きません。
  - 「着信読み上げ」（59ページ）は働きません。
- SDカードを入れているときは…
  - SDカードの空き容量がない、または録音件数が1,000件になったときは、SDカードに録音されず、本体の迷惑防止用メモリー（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）に録音されます。
  - SDカードが入っているときの録音時間と件数は（55ページ「SDカード容量について」）

「迷惑防止」を設定する／解除する

1 親機の**【迷惑防止】**を3秒以上押す
- 設定すると「 」が表示されます。
- 解除すると「」が消えます。

迷惑防止用メモリーの録音を保存する

親機にSDカードを入れていない場合、迷惑防止の通話は迷惑防止用メモリーに録音され、電話に出るたびに上書きされます。残すには、迷惑防止用メモリーから本体（用件録音と同じメモリー）またはSDカードに保存します。
- SDカードに保存するときは、親機にSDカードを入れてください。（55ページ）

1 親機の**【迷惑防止】**を3秒以上押し、「迷惑防止」を解除する

2 **【機能】→【▼】【▲】**で「迷惑防止メニュー」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「録音（本体）を保存」を選び、**【決定】**を押す

4 **本体に保存するとき**

（SDカードが入っていないとき）
【はい】を押す
（SDカードが入っているとき）
【▼】【▲】で「本体へ保存」を選ぶ→**【決定】→【はい】**を押す

SDカードに保存するとき

【▼】【▲】で「SDカードへ保存」を選ぶ→**【決定】→【はい】**を押す

5 保存が終わったら**【ストップ】**を押す

6 **【迷惑防止】**を3秒以上押し、「迷惑防止」を設定する

お知らせ
- 子機で保存できません。

迷惑防止の録音を再生する

迷惑防止用メモリーの録音を再生する

1 親機の**【迷惑防止】**を3秒以上押し、「迷惑防止」を解除する

2 **【機能】→【▼】【▲】**で「迷惑防止メニュー」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「録音（本体）を再生」を選ぶ→**【決定】**を押す
- 「■ 再生中にできること」（下記）

4 再生が終わったら**【ストップ】**を押す

5 **【迷惑防止】**を3秒以上押し、「迷惑防止」を設定する

お知らせ
- 子機で再生できません。

■ 再生中にできること

音量を変える	**【▼】【▲】**
聞き直す	**【ボタン切替】→【聞き直し】**
一時停止する	**【一時停止】**（再開するには**【再生】**）
10秒戻る	**【10秒戻る】**
30秒進む	**【30秒進む】**
本体に保存する	**【ボタン切替】→【本体保存】→【はい】**
SDカードに保存する	**【ボタン切替】→【SD保存】→【はい】**
再生を止める	**【ストップ】**

本体またはSDカードに保存された迷惑防止の録音を再生するには

用件録音と同じ操作で再生・消去できます。（50・52ページ）
- 迷惑防止の録音には、「（迷惑防止）」と表示されます。（子機では「（迷惑防止）」が表示されません）

■ SDカードを入れているとき

親機は次の操作で用件一覧から再生できます。

① **【機能】→【▼】【▲】**で「迷惑防止メニュー」を選ぶ→**【決定】**

② **【▼】【▲】**で「録音（SD）を再生」を選ぶ→**【決定】**

③ 用件一覧から**【▼】【▲】**で「（迷惑防止）」を選ぶ→**【再生】**
- 再生中にできること（51ページ）

④ 再生が終わったら**【ストップ】**を押す

出なかった電話を確認する（不在着信確認）

電話がかかってきた日時のみが着信履歴に記憶されます。（電話番号は表示されません）出なかった電話があると、着信履歴の日時に「✳」が表示されています。
- 親機・子機共通で30件まで記憶します。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用すると、相手の電話番号が表示されます。（57ページ）

親機

1 **【着信履歴】**を押す

2 **【着信】**を押す

3 **【▼】**をくり返し押し、着信履歴を確認する

4 **【ストップ】**を押す

子機

1 **【◀】**（着信履歴）を押す

2 **【▼】**をくり返し押し、着信履歴を確認する

3 **【切】**を押す

■ 着信履歴を1件ずつ／すべて消去するとき（60・61ページ）

■ 着信履歴を印刷するとき（60ページ）

お知らせ
- 電話に出なかったときは
  - 親機の液晶ディスプレイに「着信がありました［着信履歴/ファクスを見る］押す」と表示し、着信履歴/ファクスを見るランプが点灯します。（留守番電話が応答したとき、ファクスを自動で受けたときも表示・点灯します）
- キャッチホンでかかってきた電話は、着信履歴に記憶されません。

電話帳について

親機の電話帳検索時に名前（電話帳のフリガナ）に「さん」を付けて読み上げます。電話帳の読み上げを止めるには、68ページの「電話帳読み上げ」を「なし」に変更してください。
相手をグループ1～9に分けて登録すると、グループ別に相手を探せます。（32・33・44・45ページ）

お知らせ

- 電話帳1件ごとに「さん」を付けないで読み上げるようにできます。(41ページ)
- 読み上げている名前が不自然に聞こえるときはアクセントを変更してください。(41ページ)
- 電話帳は転送できます。(43ページ)
- SDカードで電話帳の保存・読み込みができます。(41ページ)
- 電話帳読み上げは、受話器を上げているときや、**【モニター】**を押したあとは働きません。
- 停電のときや親機・子機の電池パックを抜いたときでも、電話帳に登録した内容は消えません。

親機で電話帳を使う

- 通話中に電話帳の登録／修正はできません。

電話帳に登録する

- 電話帳で電話をかけるには(32ページ)
- 電話帳でファクスを送るには(44ページ)
- 150件まで登録できます。

1 **【電話帳】**を押す

2 **【新規登録】**を押す

3 名前(全角10文字／半角20文字まで)を入力し、**【決定】**を押す
- 文字入力のしかた(30ページ)

4 フリガナ(半角文字のみ12文字まで)を確認して、間違っていれば修正し、**【決定】**を押す
- 文字入力のしかた(30ページ)
- 「姓」と「名」の間にはスペースを入れてください。(41ページ)

5 電話番号(24ケタまで)を市外局番から入力し、**【決定】**を押す
- 番号を読み上げます。読み上げを止めるには、68ページの「読み上げダイヤル」を「なし」に変更してください。

6 **【▼】【▲】**で登録するグループ(グループ1～9まで)を選び、**【決定】**を押す
- グループの名前は変更できます。(68ページ)

7 続けて登録するときは手順**3**～**6**をくり返す

8 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)がすでに登録されています。(修正・消去できます)
- 電話帳に登録するときに操作案内が流れます。止めるには、68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。
- 外線発信番号や184(または186)を付けて電話帳に登録するときは、外線発信番号(例:**0**)や**1** **8** **4**(または**1** **8** **6**)のあとに**【留守】**(ポーズ)を押し、電話番号を入力してください。

■ **電話帳の登録を確認するには**
【電話帳】→**【▼】【▲】**(順に表示)→確認が終わったら**【ストップ】**

■ **電話帳を印刷するには**(68ページ「電話帳印刷」)

■ **電話帳を転送するには**(43ページ「電話帳を転送する」)

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 **【▶】**(再ダイヤル)を押す

2 **【▼】【▲】**で登録する相手を選び、**【電話帳登録】**を押す

3 名前を入力し、**【決定】**を押す

4 フリガナを確認し、**【決定】**を押す

5 電話番号を確認し、**【決定】**を押す

6 **【▼】【▲】**で登録するグループを選び、**【決定】**を押す

7 **【ストップ】**を押す

電話帳を修正する

1 **【電話帳】**を押す

2 **【▼】【▲】**で修正する相手を選び、**【修正】**を押す

3 名前を修正し、**【決定】**を押す

4 フリガナを修正し、**【決定】**を押す

5 電話番号を修正し、**【決定】**を押す

6 **【▼】【▲】**でグループを選び、**【決定】**を押す

7 **【ストップ】**を押す

電話帳から消去する

1 **【電話帳】**を押す

2 **【▼】【▲】**で消去する相手を選び、**【ボタン切替】**→**【消去】**→**【はい】**を押す

3 **【ストップ】**を押す

■ **電話帳をすべて消去するには**
(68ページ「電話帳全消去」)

名前に「さん」を付けないで読み上げたいとき

- 電話帳1件ごとに「さん」を付けるかどうかを設定できます。
- 親機に新しく登録された電話帳や、子機から転送された電話帳、SDカードから読み込まれた電話帳には、「さん」が付いています。

1 **【電話帳】**を押す

2 **【▼】【▲】**で変更する相手を選び、**【ボタン切替】**（2回）を押す

3 **【「さん」あり／なし】**を押す

4 **【▼】【▲】**で『「さん」をとる』を選ぶ
- 付ける場合は『「さん」をつける』を選んでください。

5 **【決定】**を押す

6 続けて登録するときは、**【▼】【▲】**で変更する相手を選び、手順**3**～**5**の操作を行う

7 **【ストップ】**を押す

読み上げが不自然に聞こえるとき

- 読み上げる名前が、アクセントの位置によって不自然に聞こえるときに変更してください。
- アクセントは「姓」、「名」それぞれ1か所ずつ設定することができます。
  - 電話帳のフリガナの1つ目のスペースより前を「姓」、スペースより後ろを「名」として設定します。
  - フリガナにスペースが入っていないときは、「名」のアクセント設定はできません。「姓」、「名」それぞれにアクセントを設定できるように、電話帳のフリガナ入力時に**【スペース】**を押してスペースを入れておいてください。（40ページ）
  - 2つ目のスペースより後ろにはアクセント設定できません。
- 子機から転送された電話帳や、SDカードから読み込まれた電話帳は、親機にあらかじめ登録されているアクセントに設定されます。

1 **【電話帳】**を押す

2 **【▼】【▲】**で変更する相手を選び、**【ボタン切替】**（2回）を押す

3 **【アクセント】**を押す

4 アクセントを設定する文字を1～9を押して選ぶ
- 「姓」、「名」それぞれ1～9文字目まで設定できます。（例：4文字目のときは4を押します）
- 「姓」と「名」を切り替えるときは**【姓名切替】**を押してください。

平坦なアクセントにするとき
【アクセントなし】を押す

新規登録時のアクセントにするとき
【おまかせ】を押す

5 **【決定】**を押す

6 続けて登録するときは、**【▼】【▲】**で変更する相手を選び、手順**3**～**5**の操作を行う

7 **【ストップ】**を押す

お知らせ
- フリガナの小文字や濁点・半濁点にはアクセント設定できないことがあります。

親機の電話帳をSDカードに保存する

- 10ファイルまで保存できます。

1 SDカードを入れる（55ページ）

2 **【電話帳】**を押す

3 **【本体→SD】**を押す

4 **【はい】**を押す

5 保存が終わったら**【ストップ】**を押す

お知らせ
- 電話帳は、まとめて1つのファイルに保存されます。1件ずつ選んで保存することはできません。

SDカードの電話帳を親機に読み込む

- SDカードに保存された電話帳をご利用になるためには、電話帳を親機に読み込んでください。

1 SDカードを入れる（55ページ）

2 **【電話帳】**を押す

3 **【SD→本体】**を押す

4 **【▼】【▲】**で読み込むファイルを選ぶ

5 保存方法を選ぶ
- **【追加読込】**を押す：電話帳を追加するとき
- **【上書読込】**を押す：現在の電話帳と置き替えるとき

6 **【はい】**を押す

7 読み込みが終わったら**【ストップ】**を押す

お知らせ

- 「追加読込」でSDカードの電話帳を読み込むとき
  - 親機の電話帳に同じ内容があるときは、追加登録されません。(名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます)
  - 親機の電話帳の空き件数がなくなると終了します。
- 「上書読込」でSDカードの電話帳を読み込むとき
  - 短縮ダイヤルの登録は消去されます。(44ページ)
  - おやすみ特定着信の登録は消去されます。(72ページ)
  - 「未登録番号着信」(71ページ)は解除(設定:拒否しない)されます。
- SDカードから読み込んだ電話帳の電話帳読み上げは、新規登録時の状態に設定されます。(39・68ページ)

SDカードの電話帳を消去する

1 SDカードを入れる(55ページ)

2 **【電話帳】**を押す

3 **【SD→本体】**を押す

4 **【▼】【▲】**で消去するファイルを選ぶ

5 **【消去】→【はい】**を押す

6 **【ストップ】**を押す

- 保存された電話帳ファイルをパソコンで読み取り専用に設定していても、本機で電話帳を消去するとファイルは消去されます。

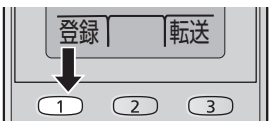
子機で電話帳を使う

電話帳に登録する

- 電話帳で電話をかけるには(33ページ)
- 150件まで登録できます。

1 **【電話帳】**を押す

2 **【登録】**を押す



3 名前(全角10文字/半角20文字まで)を入力し、**【決定】**を押す

- 文字入力のしかた(30ページ)

4 フリガナ(半角文字のみ12文字まで)を確認して、間違っていれば修正し、**【決定】**を押す

- 文字入力のしかた(30ページ)

5 電話番号(24ケタまで)を市外局番から入力し、**【決定】**を押す

6 **【▼】【▲】**で登録するグループ(グループ1～9まで)を選び、**【決定】**を押す

- グループの名前は変更できます。(76ページ)

7 続けて登録するときは手順**3**～**6**をくり返す

8 **【切】**を押す

お知らせ

- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)がすでに登録されています。(修正・消去できます)
- 外線発信番号や184(または186)を付けて電話帳に登録するときは、外線発信番号(例:0)や1 8 4(または1 8 6)のあとに**【ポーズ】**を押し、電話番号を入力してください。

■ **電話帳の登録を確認するには**
【電話帳】→【▼】【▲】(順に表示)→確認が終わったら**【切】**

■ **電話帳を印刷するには**(68ページ「電話帳印刷」)

■ **電話帳を転送するには**(43ページ「電話帳を転送する」)

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 **【▶】**(再ダイヤル)を押す

2 **【▼】【▲】**で登録する相手を選び、**【登録】**を押す

3 名前を入力し、**【決定】**を押す

4 フリガナを確認し、**【決定】**を押す

5 電話番号を確認し、**【決定】**を押す

6 **【▼】【▲】**で登録するグループを選び、**【決定】**を押す

7 **【切】**を押す

電話帳を修正する

1 **【電話帳】**を押す

2 **【▼】【▲】**で修正する相手を選び、**【修正】**を押す

3 名前を修正し、**【決定】**を押す

4 フリガナを修正し、**【決定】**を押す

5 電話番号を修正し、**【決定】**を押す

6 **【▼】【▲】**でグループを選び、**【決定】**を押す

7 **【切】**を押す

電話帳から消去する

1 **【電話帳】**を押す

2 **【▼】【▲】**で消去する相手を選び、**【消去】→【はい】**を押す

3 **【切】**を押す

■ **電話帳をすべて消去するには**
（76ページ「電話帳全消去」）

電話帳を転送する

親機の電話帳を子機へ転送する

- 親機で操作します。
- 転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。

1 **【電話帳】**を押し、**【転送】**を押す

2 **【▼】【▲】**で転送先を選び、**【決定】**を押す

3 **1件ずつ転送するとき**

① **【▼】【▲】**で「個別」を選び、**【決定】**を押す
② **【▼】【▲】**で転送する相手を選び、**【転送】**を押す
③ 続けて転送するときは、手順②をくり返す

一斉に転送するとき

① **【▼】【▲】**で「一斉」を選び、**【決定】**を押す
② **【転送】**を押す

4 転送が終わったら**【ストップ】**を押す

■ **子機で電話帳の内容を確認するには**
（42ページ「■ 電話帳の登録を確認するには」）

子機の電話帳を親機または別の子機へ転送する

- 子機で操作します。
- 転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。

1 **【電話帳】**を押す

2 **【転送】**を押す

3 **【▼】【▲】**で転送先を選び、**【決定】**を押す

4 **1件ずつ転送するとき**

① **【▼】【▲】**で「個別」を選び、**【決定】**を押す
② **【▼】【▲】**で転送する相手を選び、**【転送】**を押す
③ 続けて転送するときは、手順②をくり返す

一斉に転送するとき

① **【▼】【▲】**で「一斉」を選び、**【決定】**を押す
② **【決定】**を押す

5 転送が終わったら**【切】**を押す

■ **親機で電話帳の内容を確認するには**
（40ページ「■ 電話帳の登録を確認するには」）
■ **子機で電話帳の内容を確認するには**
（42ページ「■ 電話帳の登録を確認するには」）

子機でワンタッチダイヤルを使う

子機の電話帳に登録している相手を、ワンタッチダイヤルに登録できます。

ワンタッチダイヤルに登録する

- ワンタッチダイヤルで電話をかけるには（33ページ）
- 3件まで登録できます。

1 **【機能】**を押す

2 **【1】**～**【3】**（ワンタッチダイヤル）を押す

3 **【登録】**を押す

4 **【▼】【▲】**で電話帳から相手を選び、**【登録】**を押す

■ **ワンタッチダイヤルの登録を確認するには**

① **【機能】**を押す
② **【1】**～**【3】**（ワンタッチダイヤル）を押す
- 電話番号を確認するには**【詳細】**を押します。

③ 確認が終わったら**【切】**を押す

ワンタッチダイヤルを変更する

1 **【機能】**を押す

2 **【1】**～**【3】**（ワンタッチダイヤル）を押す

3 **【変更】**を押す

4 **【▼】【▲】**で電話帳から相手を選び、**【登録】**を押す

ワンタッチダイヤルを消去する

1 **【機能】**を押す

2 **【1】**～**【3】**（ワンタッチダイヤル）を押す

3 **【消去】**→**【はい】**を押す

親機で短縮ダイヤルを使う

親機の電話帳に登録している相手を、短縮ダイヤルに登録できます。

短縮ダイヤルに登録／変更する

- 短縮ダイヤルで電話をかけるには（32ページ）
- 短縮ダイヤルでファクスを送るには（44ページ）
- 9件まで登録できます。

1 **【短縮】**を押す

2 **登録するとき**

【▼】【▲】で未登録の短縮番号を選び、**【新規登録】**を押す

変更するとき

【▼】【▲】で変更する短縮番号を選び、**【変更】**を押す

- 1～9で短縮番号を選ぶこともできます。

3 **【▼】【▲】**で電話帳から相手を選び、**【登録】**を押す

- 名前を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「電話帳読み上げ」を「なし」にしてください。

4 続けて登録／変更するときは手順**2**～**3**をくり返す

5 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録するときは操作案内が流れます。止めるには、68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。

■ 短縮ダイヤルの登録を確認するには

①**【短縮】**を押す
②**【▼】【▲】**で短縮番号を選ぶ
③確認が終わったら**【ストップ】**を押す

■ 短縮ダイヤルを印刷するには

（68ページ「電話帳印刷」）

短縮ダイヤルから消去する

- 電話帳の内容は消去されません。

1 **【短縮】**を押す

2 **【▼】【▲】**で消去する短縮番号を選ぶ

3 **【消去】**→**【はい】**を押す

4 **【ストップ】**を押す

ファクスを送る

「親機の使いかた」の「ファクスを送る」（28ページ）も合わせてお読みください。

再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルで送る

- 電話帳に登録するには（40ページ）
- 短縮ダイヤルに登録するには（44ページ）

1 **【ファクス】**を押す

2 原稿をセットする（28ページ）

- 写真や小さい文字の原稿のときは、画質を変更してください。（28ページ）

3 ファクスを送る相手を選ぶ

再ダイヤルで送るとき

【▶】（再ダイヤル）を押し、**【▼】【▲】**で相手を選ぶ

- 選んだ相手の内容を確認するには**【決定】**を押します。

電話帳で送るとき

■ すべてから探すとき

①**【電話帳】**を押す
②**【▼】【▲】**で相手を選ぶ
- 相手の内容を確認するには**【決定】**を押します。

■ フリガナで探すとき

①**【電話帳】**→**【電話帳メニュー】**を押す
②0～9でフリガナを入力する
- 文字入力のしかた（30ページ）

③**【▼】【▲】**で相手を選ぶ

■ グループから探すとき

①**【電話帳】**→**【電話帳メニュー】**を押す
②#→**【▼】【▲】**でグループを選び、**【決定】**を押す
③**【▼】【▲】**で相手を選ぶ

短縮ダイヤルで送るとき

①【短縮】を押す
②[1]～[9]（短縮番号）を押す
● 【▼】【▲】で短縮番号を選ぶこともできます。

4 【ファクス】を押す

海外へ送る

1 原稿をセットする（28ページ）

2 【モニター】を押し、ダイヤルする

3 「ピーヒョロロ」が聞こえたら【ファクス】を押す

操作案内を聞かずに送る

準備

● 「自動操作案内」を「なし」に設定してください。（68ページ）

1 原稿をセットする（28ページ）

2 ダイヤルする
● 再ダイヤル・電話帳・短縮ダイヤルで送るときは、待機画面に戻ったあとに操作してください。（原稿をセットして約5秒間操作をしないと待機画面に戻ります）

電話帳で送るとき

■ すべてから探すとき
①【電話帳】を押す
②【▼】【▲】でファクスを送る相手を選ぶ

■ フリガナで探すとき
①【電話帳】を押す
②[0]～[9]でフリガナを入力する
③【▼】【▲】でファクスを送る相手を選ぶ

■ グループから探すとき
①【電話帳】を押す
②[#]→【▼】【▲】でグループを選び、【決定】を押す
③【▼】【▲】でファクスを送る相手を選ぶ

3 【ファクス】を押す

構内交換機に接続しているとき

1 【ファクス】を押す

2 原稿をセットする（28ページ）
● 写真や小さい文字の原稿のときは、画質を変更してください。（28ページ）

3 外線発信番号（例：[0]）を押す

4 【留守】（ポーズ）を押す

5 ダイヤルし、【ファクス】を押す

相手と話してから送る

1 受話器を取ってダイヤルし、相手と話す

2 原稿をセットする（28ページ）

3 相手にファクスを送ることを伝え、相手に[ファクスボタン]や[スタートボタン]などファクス受信のボタンを押してもらう

4 「ピーヒョロロ」が聞こえたら【ファクス】を押す

5 受話器を戻す

「見てから印刷」について

受信したファクスはメモリーに記憶されます。（メモリー受信）
届いたファクスを画面で確認し、必要なものだけを選んで印刷します。（見てから印刷）
受信したファクスを記録紙に印刷したいときは、「見てから印刷」を解除し、記録紙をセットしてください。（95ページ「記録紙をセットする」）

お知らせ

● メモリー受信したファクスは、約50枚まで本体メモリーに記憶されます。（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）SDカード使用時の枚数は（55ページ「SDカード容量について」）

メモリー受信すると…

着信履歴/ファクスを見るランプの点灯でお知らせ

ファクスが届いています
[着信履歴/ファクスを見る]押す
↔ 交互表示
10月12日（水）
12:45

「見てから印刷」を設定する／解除する

1 【機能】→【見てから印刷入切】（F3）→【はい】を押す
● 設定すると「見てから印刷」が表示されます。
● 解除すると「見てから印刷」の表示が消えます。

お知らせ

- 「見てから印刷」を解除すると、記録紙に直接印刷し、受信したファクスはメモリーに記憶されなくなりますので、画面で確認することができません。インクフィルムや記録紙がなくなった場合は、受信したファクスをメモリーに一時的に記憶します。

ファクスを電話に出て受ける（お買い求め時）

電話に出たときに相手から「ポーポー」音が聞こえたときは、本機から「ファクスを受信します…」と聞こえ、そのままで受信します。**（ファクス親切受信）**
親機で電話に出たときは、受話器を戻してください。

- 7～8回以上呼出音が鳴ってから電話に出ると、ファクスを受信できないことがあります。

親機で電話に出て受ける

1 呼出音が鳴ったら受話器を取る

2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき
【ファクス】を押す

3 受話器を戻す

■ 受信を中止するときは
【ストップ】を押す

■ 受信したファクスを表示・印刷するには
（47ページ「ファクスを見る」）

子機で電話に出て受ける

1 呼出音が鳴ったら充電器から子機を取り、
【外線】を押す

2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき
【機能】を押す

3 **【▼】【▲】**で「ファクス受信」を選び、**【決定】**を押す

4 **【はい】**を押す

■ 受信を中止するときは
親機で**【ストップ】**を押す

ファクスを自動で受ける

電話に出られなくても自動で受ける（自動受信）

- **迷惑防止の設定をしているときは、迷惑防止の動作になります。**（37ページ）

1 **【機能】**を押し、**【自動受信入切】**（F4）→**【はい】**を押す

- 再度上記操作を行うと、自動受信は解除されます。（在宅呼出回数は15回に設定されます）
- 次の方法で自動受信を設定することもできます。
  - 「自動受信」（69ページ）で「する」を選ぶ
  - 「在宅呼出回数」（67ページ）で「3」または「5」を選ぶ（「3」または「5」以外を選ぶと自動受信が解除されます）

↓

留守ランプが消灯していることを確認する

↓

ファクスや電話がかかってくると呼出音が3回鳴る

- 呼出回数を変更するには（67ページ「在宅呼出回数」）

↓

本機が応答して呼出音が再度鳴り出す

- 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。

↓

〈ファクスのとき〉
ファクスを自動的に受信する

〈電話のとき〉
再度鳴り出した呼出音が9回鳴ったあと、メッセージ①（74ページ）が相手に流れ、電話が切れる

呼出音を鳴らさずに自動で受ける（無鳴動受信）

「無鳴動受信」を「常にする」に設定する（69ページ）
- 「タイマー（時刻設定）」に設定すると、指定した時間帯に無鳴動受信にできます。

↓

留守ランプが消灯していることを確認する

↓

呼出音が鳴らずに本機が応答する
- 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかります。
- 迷惑防止の設定をしているときは、迷惑防止の動作になります。（37ページ）

〈ファクスのとき〉	〈電話のとき〉
ファクスを自動的に受信する	約7秒後に呼出音が鳴り始め、9回鳴ったあと、メッセージ①（74ページ）が相手に流れ、電話が切れる

お知らせ
- 次の場合は、無鳴動受信を設定していても呼出音が鳴ります。
  - 留守セット中。（留守ランプ点灯）
  - 本体のファクスメモリーがいっぱいのとき。
  - 相手が受話器を取ってダイヤルし、回線がつながってから送信の操作をしたとき。（再呼出音が鳴ります）
  - IP電話などからかかってきたとき。（相手の回線や接続機器によっては、鳴ることがあります）

留守セットして自動で受ける

【留守】を押して、留守セットしているとき（留守ランプ点灯）は、自動的にファクスを受信します。（49ページ「留守番電話について」）

ファクスのみ受ける（ファクス専用）

「ファクス専用」を「する」に設定する（69ページ）

↓

【留守】を押して留守セットする
- 留守ランプが点灯します。

↓

ファクスや電話がかかってくると呼出音が1回鳴る
- 呼出音量「切」にすると鳴りません。（65ページ）

〈ファクスのとき〉	〈電話のとき〉
ファクスを自動的に受信する	かかってきても受けられない

ファクスを見る

メモリー受信したファクスは、一覧から選んで表示・印刷・転送・消去・SDカードに保存することができます。
通話中に**【ファクスを見る】**を押すと、話しながらファクスを見ることもできます。（見ながら通話）

お知らせ
- ファクスの表示・印刷などを行うときに操作案内が流れます。止めるには68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。
- 通話を録音中（通話録音・前から録音・フル録音）は、見ながら通話できません。録音を中止してから操作してください。

ファクスを表示する

1 **【ファクスを見る】**を押す

2 **【本体ファクス】**を押す
- SDカードに保存されているファクスは**【SDファクス】**を押してください。

3 **【▼】【▲】**で表示するファクスを選ぶ
- ファクス一覧について（48ページ）

4 **【表示】**を押す
- 拡大・縮小・印刷など表示中にできること（下記）

5 確認が終わったら**【ストップ】**を押す

表示中にできること

■ **拡大する**
【ボタン切替】→**【ズーム＋】**をくり返し押す

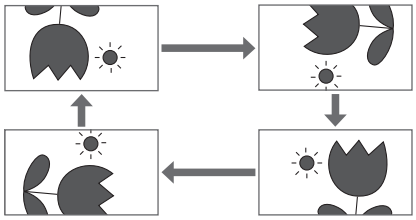
■ **縮小する**
【ボタン切替】→**【ズームー】**をくり返し押す

■ **前ページへ戻る**
【前ページ】をくり返し押す

■ **次ページへ進む**
【次ページ】をくり返し押す

■ 回転させる

【ボタン切替】→【回転】をくり返し押す（押すたびに回転する）



■ 表示されていない部分を見る（画面スクロール）

【▲】を押す（上に動かす）
【▼】を押す（下に動かす）
【◀】を押す（左に動かす）
【▶】を押す（右に動かす）

- 各ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- 画面に何も表示されないときは、上下左右に動かして内容を表示させてください。
- 受信原稿の端までくると、「ピピッピピッ」と鳴ります。

お知らせ

- 印刷時は拡大、縮小、回転されません。

■ 全ページを消去する

【ボタン切替】（2回）→**【全ページ消去】→【はい】**

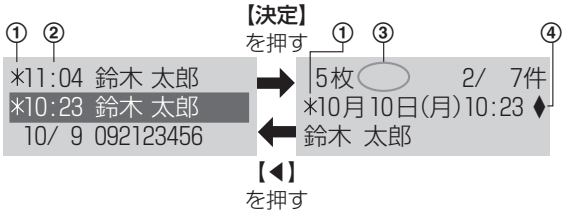
■ 印刷する

① 記録紙をセットし（95ページ）、**【印刷】**を押す

② **【▼】【▲】**で印刷方法を選び、**【決定】**を押す
- **「このページを印刷」**：表示中のページを印刷
- **「すべてのページを印刷」**：全ページを印刷（印刷済みのファクスを消すときは**【はい】**を押す）
- **「画面印刷」**：表示している部分をほぼ表示サイズで印刷
- **「画面印刷（大きく）」**：表示している部分をA4幅に合わせて拡大印刷

③ 終わったら**【ストップ】**を押す

ファクス一覧について



① 表示・印刷したことがないファクスのとき表示
② 当日受けたファクスは時刻、昨日までに受けたファクスは日付を表示
③ SDカードが入っているときは、次の表示になります。
「SD」　：SDカードに保存されているファクスのとき表示
「未保存」：SDカードに保存されていない本体メモリーのファクスのとき表示
④ 写真や新聞など容量の多いファクスのとき表示

- 親機で原稿を読み取ってSDカードに保存したデータ（56ページ）は「（読込原稿）」と表示されます。

ファクスを一覧から選んで印刷する

1 **【ファクスを見る】**を押す

2 **【本体ファクス】**を押す
- SDカードに保存されているファクスは**【SDファクス】**を押してください。

3 **【▼】【▲】**で印刷するファクスを選ぶ
- ファクス一覧について（左記）

4 記録紙をセットし（95ページ）、**【印刷】**を押す

5 印刷済みのファクスを消すときは**【はい】**を押す

6 終わったら**【ストップ】**を押す

お知らせ

- 印刷するときは、操作の前に、記録紙を多めに（15枚）セットしてください。記録紙がなくなると、印刷は中止されます。（95ページ）
- 印刷中に記録紙がなくなったときは、「ファクスを表示する」（47ページ）でファクスを表示させてから、「■ 印刷する」（左記）で「このページを印刷」を選び、続きのページを印刷することができます。
- A4より大きなサイズのファクスを受信したときは、A4サイズに縮小して表示されます。縮小後にA4縦幅（約297 mm）より長くなる場合、A4縦幅を超えた部分は表示できませんが、印刷すると、受信原稿のすべてを見ることができます。

ファクスを消去する

1 **【ファクスを見る】**を押す

2 **【本体ファクス】**を押す
- SDカードに保存されているファクスは**【SDファクス】**を押してください。

3 1件ずつ消去するとき

① **【▼】【▲】**で消去するファクスを選び、**【ボタン切替】→【消去】→【はい】**を押す
② 終わったら**【ストップ】**を押す

すべて消去するとき

【ボタン切替】→【全消去】→【はい】を押す

ファクスを転送する

1 **【ファクスを見る】**を押す

2 **【本体ファクス】**を押す

● SDカードに保存されているファクスは【SDファクス】を押してください。

3 【▼】【▲】で転送するファクスを選び、【ボタン切替】→【ファクス転送】を押す

4 ダイヤルし、【ファクス】を押す

お知らせ

● 受信したファクスの発信元情報なども、転送されます。
● 約92 %（縦方向）に縮小して転送されます。

ファクスをSDカードに保存する

1 SDカードを入れる（55ページ）

2 【ファクスを見る】を押す

3 【本体ファクス】を押す

4 【▼】【▲】で保存するファクスを選び、【SD保存】→【はい】を押す

5 保存が終わったら【ストップ】を押す

未保存のファクスをすべてSDカードに保存する

SDカードに一度も保存されていないファクスのみ保存されます。

1 SDカードを入れる（55ページ）

2 【機能】→【SDカード】→【▼】【▲】で「未保存ファクスをSD保存」を選び、【決定】→【はい】を押す

● A4サイズ700字程度の原稿1枚の保存時間のめやすは約10秒です。
● 写真や文字の多い原稿や、枚数が多い場合は、保存に時間がかかることがあります。

3 保存が終わったら【ストップ】を押す

コピーする

1 記録紙をセットする（95ページ）

2 原稿をセットする（28ページ）

● 操作案内が流れます。操作案内を止めるには、68ページの「自動操作案内」を「なし」に変更してください。
● 写真や小さい文字の原稿のときは、画質を変更してください。（28ページ）

3 【コピー】を押す

● 1部コピーされます。

お知らせ

● 枚数を指定して複数部コピーすることはできません。
● 画質「ふつう字」でコピーしても、自動的に「小さい字」に変わります。
● A4サイズより長い原稿をコピーすると
  • A4サイズ分のみ印刷されます。続きを次ページに印刷するには（73ページ「分割コピー」）

留守番電話について

留守セットすると、自動的に用件を録音し、ファクスを受信します。

● **迷惑防止の設定をしているときは、迷惑防止の動作になります。**（37ページ）

お出かけ前に、留守セットする（50ページ）
● 親機の留守ランプが点灯します。

↓

ファクスや電話がかかってくると呼出音が4回鳴る※1
● 呼出回数を変更するには（67ページ「留守呼出回数」）

※1　着信読み上げ時は回数が変わります。

↓

応答メッセージが流れる（50ページ）

↓

〈電話のとき〉
相手の用件が録音される
● 親機と子機のスピーカーから相手の声が聞こえます。
● 途中で電話に出ることもできます。（録音は途中で止まります）
● 用件が録音されると、留守ランプが点滅、着信履歴／ファクスを見るランプが点灯します※2

〈ファクスのとき〉
ファクスを自動的に受信する
● ファクスをメモリー受信すると着信履歴/ファクスを見るランプが点灯します。
受信したファクスを見るには（47ページ「ファクスを表示する」）

↓

帰ってきたら、留守セットを解除する（50ページ）

● 留守応答中にスピーカーから音声が聞こえないようにするには「音声モニター」（70・76ページ）を「なし」にしてください。

お知らせ

● 留守セットしても、残している用件は消えません。
● 6秒以上相手が話さなかったときや、声が小さいときは、正しく録音されません。

■ 応答メッセージについて

- 応答メッセージは状態によって変わります。固定のメッセージ②～⑨は（74ページ「メッセージ一覧」）
- 自分の声で応答メッセージを2種類（自作1、自作2）作ることもできます。（69ページ「自作応答録音」）
  - 消去するには（69ページ「自作応答消去」）

	応答メッセージの設定値（70ページ「留守応答メッセージ」）			
	「固定1」	「固定2」	「自作1」	「自作2」
通常	メッセージ②	メッセージ⑥	自作応答録音1	自作応答録音2
用件録音できないとき	メッセージ③	メッセージ⑦	メッセージ③	メッセージ③
ファクスが受信できないとき	メッセージ④	メッセージ⑧	メッセージ④	メッセージ④
用件録音もファクス受信もできないとき	メッセージ⑤	メッセージ⑨	メッセージ⑤	メッセージ⑤

■ 録音時間と件数について

- 1件あたり約2分まで。変更するには（69ページ「用件録音時間」）
- 合計約12分、最大50件まで。（録音時間は、通話録音・伝言メッセージを含みます）（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）
- SDカード使用時の録音時間と件数は（55ページ「SDカード容量について」）

留守セットする

親機

1 **【留守】**を押す
- 留守ランプが点灯します。
- 応答メッセージを変えるには、**【固定1】**／**【固定2】**／**【自作1】**※／**【自作2】**※を押してください。

※「自作応答録音」（69ページ）を録音していないときは選べません。

子機

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「留守電操作」を選び、**【決定】**を押す

3 **【設定】**を押す

留守セットを解除し、用件を再生する

親機

新しい用件があると液晶ディスプレイに表示し、留守ランプが点滅してお知らせします。

1 **【留守】**を押す
- 受話器を置いたまま操作します。
- 留守ランプが消灯します。

2 用件を聞く
- 再生中にできること（51ページ）

3 消去のメッセージが表示されたら、**【はい】**→**【はい】**を押して消去する
- 再生した新しい用件のみ消えます。残すには**【いいえ】**を押してください。

子機

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「留守電操作」を選び、**【決定】**を押す

3 **【解除】**を押す

4 用件を聞く
- 受話口から聞くときは**【スピーカーホン】**を押します。
- 再生中にできること（52ページ）

5 消去のメッセージが表示されたら、**【はい】**→**【はい】**を押して消去する
- 再生した新しい用件のみ消えます。残すには**【いいえ】**を押してください。

親機で用件を再生・消去する

- 通話録音、伝言メッセージも再生できます。
- 再生はSDカード、本体メモリーの順となります。
- 留守セットしたまま新しい用件を聞くと、留守ランプの点滅が点灯に変わります。
- 迷惑防止の録音（37ページ）を親機で再生中は、「（迷惑防止）」と表示されます。（子機では表示されません）

新しい用件またはすべての用件を聞く

1 新しい用件や伝言メッセージがあるとき

【再生】を押す

- 新しい用件や伝言メッセージのみ再生されます。

すべての用件を聞くとき（新しい用件や伝言メッセージがないときのみ）

①**【再生】**を押す

②**【▼】【▲】**で「すべて再生」を選び、**【決定】**を押す

- すべての用件、伝言メッセージ、通話録音が再生されます。

2 消去のメッセージが表示されたら、**【はい】→【はい】**を押して消去する

- 残すには**【いいえ】**を押してください。

1件ずつ用件を聞く

- 新しい用件や伝言メッセージがないときのみ操作できます。

1 **【再生】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「一覧で探す」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で再生する用件を選び、**【再生】**を押す

- 用件一覧について（右記）

4 再生が終わったら**【ストップ】**を押す

再生中にできること

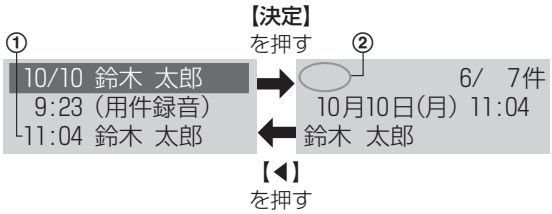
■ 新しい用件またはすべての用件を再生するとき

音量を変える	**【▼】【▲】**
前の用件を聞く／再生中の用件を聞き直す	**【◀】**
次の用件を聞く	**【▶】**
用件を聞き直す	**【ボタン切替】→【聞き直し】**（1件目の用件の頭に戻ります）
再生中の用件を1件ずつ消す	**【ボタン切替】→【消去】→【はい】**
一時停止する	**【一時停止】**（再開するには**【再生】**）
10秒戻る	**【10秒戻る】**
30秒進む	**【30秒進む】**
SDカードに保存する	**【ボタン切替】→【SD保存】→【はい】**
再生を止める	**【ストップ】**

■ 1件ずつ再生するとき

音量を変える	**【▼】【▲】**
用件を聞き直す	**【ボタン切替】→【聞き直し】**（用件の頭に戻ります）
一時停止する	**【一時停止】**（再開するには**【再生】**）
10秒戻る	**【10秒戻る】**
30秒進む	**【30秒進む】**
SDカードに保存する	**【ボタン切替】→【SD保存】→【はい】**
再生を止める	**【ストップ】**

用件一覧について



① 当日録音された用件は時刻、昨日までに録音された用件は日付を表示

② SDカードが入っているときは、次の表示になります。

「SD」　：SDカードに保存されている用件のとき表示

「未保存」：SDカードに保存されていない本体メモリーの用件のとき表示

表示なし：SDカードに保存されたことがある本体メモリーの用件のとき

1件ずつ用件を消去する

1 **【再生】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「一覧で探す」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で消去する用件を選ぶ

4 **【ボタン切替】→【消去】→【はい】**を押す

5 消去が終わったら**【ストップ】**を押す

すべての用件を消去する

1 **【機能】→** #163を押す

2 SDカードが入っていないとき

手順**3**へ進む

SDカードが入っているとき

【▼】【▲】で消去するメモリーを選び、**【決定】**を押す
- 「本体メモリー」：本体に記憶されている用件
- 「本体メモリー＋SDカード」：本体とSDカードに記憶されている用件
- 「SDカード」：SDカードに記憶されている用件

3 **【はい】**を押す

用件をSDカードに保存する

1 SDカードを入れる（55ページ）

2 **【再生】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「一覧で探す」を選び、**【決定】**を押す

4 **【▼】【▲】**で保存する用件を選び、**【SD保存】**を押す
- 用件一覧について（51ページ）

5 **【はい】**を押す

6 保存が終わったら**【ストップ】**を押す

未保存の用件をすべてSDカードに保存する

SDカードに一度も保存されていない用件のみ保存されます。

1 SDカードを入れる（55ページ）

2 **【機能】→【SDカード】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「未保存用件をSD保存」を選び、**【決定】**を押す

4 **【はい】**を押す
- 保存には録音時間と同じ程度の時間がかかることがあります。

5 保存が終わったら**【ストップ】**を押す

子機で用件を再生・消去する

- 通話録音、伝言メッセージも再生できます。
- 再生はSDカード、本体メモリーの順となります。
- 留守セットしたまま新しい用件を聞くと、親機の留守ランプの点滅が点灯に変わります。
- 迷惑防止の録音（37ページ）を親機で再生中は、「（迷惑防止）」と表示されます。（子機では表示されません）

新しい用件またはすべての用件を聞く

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「留守電操作」を選び、**【決定】**を押す

3 **【再生】**を押す

4 **【▼】【▲】**で「新規のみ再生」または「すべて再生」を選び、**【決定】**を押す
- 「新規のみ再生」を選んだときは、新しい用件や伝言メッセージのみ再生されます。
- 「すべて再生」を選んだときは、すべての用件、伝言メッセージ、通話録音が再生されます。

5 消去のメッセージが表示されたら、**【はい】→【はい】**を押して消去する
- 残すには**【いいえ】**を押してください。

再生中にできること

音量を変える	**【▼】【▲】**
前の用件を聞く／再生中の用件を聞き直す	**【◀】**または1
次の用件を聞く	**【▶】**または3
用件を聞き直す	**【最初へ】**（1件目の用件の頭に戻ります）
新しい用件を聞き直す	4（新しい用件の1件目の頭に戻ります）
すべての用件を聞き直す	5（すべての用件の1件目の頭に戻ります）
再生中の用件を1件ずつ消す	✳4**→【はい】**
すべての用件を消す※	✳5**→【はい】**
一時停止する	2（再開するには再度2）
10秒戻る	7
30秒進む	8
再生を止める	9

※ 留守セットの解除や「新規のみ再生」を選んで、新しい用件を再生中は、新しい用件（伝言メッセージ含む）のみ消えます。

すべての用件を消去する

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「留守電操作」を選び、**【決定】**を押す

3 **【再生】**を押す

4 **【全消去】**を押す

5 **【はい】**を押す

■ 1件ずつ消去するには

用件を再生中に1件ずつ消去してください。（上記「再生中にできること」）

外出先から留守番電話を再生する

- 外出先では、トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機をお使いください。
- 「ファクス専用」（69ページ）を「する」に設定すると、外出先から用件を聞けません。

外出先から家に電話をかけて用件を聞く

準備

- 「留守電暗証番号」（69ページ）を登録してください。
- お出かけ前に、留守セットします。（50ページ）

1 家に電話をかける

2 応答メッセージ中に暗証番号を押す

3 **新しい用件を聞くとき**

4を押す、または約4秒待つ

すべての用件を聞くとき

5を押す

- 外出先で再生前・後や再生中にできること（右記）

4 終わったら電話を切る

録音された用件を携帯電話などに転送する

新しい用件が録音されると、自動的に家から電話がかかってきます。

- 転送先が着信に応答した時点で転送元（本機側）に料金がかかります。

準備

- 「留守電暗証番号」（69ページ）を登録してください。
- 「用件転送」（69ページ）を設定します。
- お出かけ前に、留守セットします。（50ページ）

1 新しい用件が録音されると、家から電話がかかる

- 電話に出ないときは
  - 約50 秒で切れます。
  - 約1分間隔で3回、約30分間隔で3回かけ直します。

外出先で電話に出る

2 メッセージに従い、暗証番号を押す

3 **新しい用件を聞くとき**

4を押す、または約4秒待つ

すべての用件を聞くとき

5を押す

- 外出先で再生前・後や再生中にできること（下記）

4 終わったら電話を切る

お知らせ

- **転送先が自動応答する場合（留守番電話が応答したときなど）は、転送できないことがありますので、自動応答を解除しておくことをお勧めします。**
- ホームテレホンや構内交換機、ターミナルアダプターなどに接続していると、転送できないことがあります。

外出先での操作

外出先で再生前・後にできること

留守セットを解除する	0
用件転送を設定する（事前に転送先の登録が必要）	1
用件転送を解除する	2
新しい用件を聞く	4
すべての用件を聞く	5
本体メモリーに保存されている すべての用件を消す	✱5 → 5

外出先で再生中にできること

前の用件を聞く／再生中の用件を聞き直す	1
再生中の用件を一時停止・再開	2
次の用件を聞く	3
10秒戻る	7
30秒進む	8
再生を中止する	9
再生中の用件を消す	✱4 → 4
本体メモリーに保存されている すべての用件を消す	✱5 → 5

電話代節約のために（トールセーバー）

家に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出音の回数で新しい用件の有無がわかります。

- 留守番電話が応答する前に電話を切ると、通話料金がかかりません。

準備

- 「留守呼出回数」（67ページ）を「トールセーバー」に設定します。

1 家に電話をかけ、留守番電話が応答するまでの呼出音の回数を数える

- 3回以内：新しい用件あり
- 4回以上：新しい用件なし

2 留守番電話が応答する前に電話を切る

お知らせ

- モデムダイヤルインサービス（63ページ）を利用しているときは、うまく働かないことがあります。

外出先から留守セットする

1 携帯電話などで家に電話をかける

2 呼出音が少し小さい音に変わったら、暗証番号を押す

3 8を押す

4 完了メッセージが聞こえたら電話を切る

お知らせ

- 「在宅呼出回数」（67ページ）を「自動応答しない」にしているときは、外出先から留守セットできません。「在宅呼出回数」を「留守」にしているときは、呼出音が15回鳴ったあと、自動的に留守セットされます。

伝言メッセージを残す（残して伝言）

音声を録音し、伝言メッセージとして残すことができます。

- 約12分まで録音できます。
  - 本体メモリーへの録音時間（90ページ「■ 本体メモリー容量のめやす」）
  - SDカード使用時の録音時間（55ページ「SDカード容量について」）

親機

1 **【機能】→【残して伝言】**を押す

2 受話器を取り、**【開始】**を押す

3 「ピー」音のあと、受話器に向かって録音する

4 **【ストップ】**を押し、受話器を戻す
- 留守セットしているときは、留守ランプが点滅します。

■ 新しい伝言メッセージがあるときは
「新しい伝言が録音されました」と表示されます。

■ 伝言メッセージを聞くとき／消去するとき
（50ページ「親機で用件を再生・消去する」）
（52ページ「子機で用件を再生・消去する」）

SDカードを使う

本機にSDカードを入れているとき、用件・通話・伝言メッセージやメモリー受信したファクスはSDカードに保存されます。

- SDカードがいっぱいになると、本体に保存されます。
- 本機には、SDカードは付属されていません。
- SDカードは、動作確認済みのSDカードをお買い求めいただくことをお勧めします。（55ページ）

SDカードを使ってできること

■ 本機にSDカードを入れているときだけ、用件や受信したファクスがSDカードに保存されます。

用件（留守番電話の用件録音／通話録音／伝言メッセージ）
● 再生する（50・52ページ） ・ 再生順はSDカード→本体メモリーの順です。 ● 消去する（51・52ページ）
受信したファクス（「見てから印刷」のとき）
● 表示する（47ページ）　● 印刷する（48ページ） ● 転送する（48ページ）　● 消去する（48ページ）

- SDカードがいっぱいのときは、本体メモリーに保存されます。
- SDカードにファクスを受信するときでも一時的に本体のファクスメモリーを使うため、SDカードの容量が残っていても写真画質で送られてきたファクスなどは受信できないことがあります。

■ 外線電話を自動録音<フル録音>（35ページ）
- 設定が必要です。（70ページ）

■ 迷惑防止の録音をすべて保存（37ページ）

■ 電話帳登録（保存／読み込む）（41ページ）

■ 本体メモリーのファクスを保存（49ページ）

■ 本体メモリーの用件を保存（52ページ）

■ 原稿を読み取って保存（56ページ）

■ 本機でSDカードに保存したデータをパソコンで使う（57ページ）

SDカードをお使いになる前に

■ 使用可能なSDカードについて

SD規格に準拠したSDメモリーカードに対応しています。(90ページ) 本書ではSDメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。

- SDカードによっては、使用できないことがあります。

動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
【NTT 東日本エリア】
http://web116.jp/shop/goods/723pd/sd.html
【NTT 西日本エリア】
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/consumer/home/723pd/sd.html

- 新品のSDカードを使用する場合は、本機でフォーマットしてください。

■ 大切なデータを保護するために

データの読み出し中や書き込み中は、「SD」が点滅します。点滅中は、SDカードを抜いたり、電源コードを抜いたりしないでください。データが破壊されることがあります。電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などによってもSDカード内のデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機でフォーマットしてから使用してください。(56ページ) 大切なデータはパソコンなどに保存したあと、フォーマットしてください。

■ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、SDカードへの用件録音・ファクスや電話帳の保存、これらの消去、フォーマット、データの整理ができなくなります。

書き込み禁止スイッチ

SDカード容量について

SDカードの容量	用件・通話・伝言メッセージ最大録音時間※1	ファクス・原稿最大保存枚数※2
64 GB	約2,000時間	約50,000枚
32 GB	約1,101時間	約50,000枚
8 GB	約272時間	約27,276枚
2 GB	約68時間	約6,829枚

※1
- 最大録音時間内でも、録音件数が1,000件になると録音できなくなります。
- 用件1件の録音時間は約2分まで(69ページ「用件録音時間」を「最大」にすると約120分まで)です。
- 通話録音および伝言メッセージ1件の最大録音時間は約120分です。

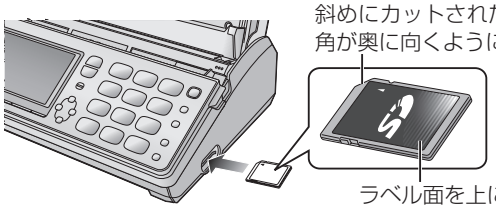
※2
- 最大保存枚数内でも、保存件数が1,000件になると保存できなくなります。
- 1件の最大枚数は50枚です。
- A4サイズの700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85本/mm)で受信したときの枚数です。
- 写真や文字の多い原稿は保存できる枚数が少なくなります。

- SDカードの残量(めやす)を確認するには(56ページ)
- 電話帳は最大10ファイルまで保存できます。(41ページ)

SDカードを入れる

1 SDカードをまっすぐ押し込む

- 液晶ディスプレイに「SD」が点滅表示され、SDカード情報の確認が始まります。待機状態に戻ると「SD」の点灯表示に変わります。



お願い

- SDカードの裏の接続端子部に触れないでください。

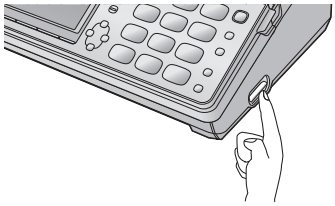
■「古い形式データ有り」が表示されたとき

本機以外の機種で使ったSDカードを本機に入れた場合、データ形式が異なるときに表示されます。

- 本機以外の機種の形式のデータを残す場合は、**【残す】**を押し、SDカードを取り出します。(本機で使用することはできません)
- 本機で使用できるように新しい形式へ変換するには、**【変換】→【はい】**を押します。(変換すると、本機以外の機種で読み込むことはできなくなります)
- 本機で保存したSDカードのデータは、本機以外の機種では読み込めません。

SDカードを取り出す

1 液晶ディスプレイの「SD」が点滅していないことを確認し、SDカードの中央部を押す
- 指でつまめるくらいSDカードが出ます。



2 まっすぐ引き抜く

SDカードの残量（めやす）を確認する

1 **【機能】**を押す

2 **【SDカード】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「SDの残量表示」を選び、**【決定】**を押す

4 確認する項目を押す
- **【用件】**：用件の残量
- **【ファクス】**：ファクス・原稿の残量
- **【電話帳】**：電話帳の残ファイル数

5 確認が終わったら**【ストップ】**を押す

原稿を読み取って保存する

本機で原稿を読み取って、SDカードに保存することができます。保存した原稿は表示・印刷・消去・転送することもできます。

1 **【機能】**を押す

2 **【SDカード】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「原稿をSD保存」を選び、**【決定】**を押す

4 原稿をセットする（28ページ）
- 写真や濃淡のある原稿を保存するには、画質を「写真」にしてください。（28ページ）

5 **【決定】**を押し、原稿を読み込む

6 読み込んだ原稿が表示されたら**【SD保存】**を押す
- 保存したデータはファクス一覧に「（読込原稿）」と表示されます。

■ 保存した原稿を表示・印刷・消去・転送するには
（47・48ページ）

お知らせ
- 保存された原稿の画質は、記録紙にコピーするとき（49ページ）と同等になります。（カラーの原稿もモノクロで保存されます）
- 原稿の読み込みには本体のファクスメモリーを使うため、メモリーが残っていても写真画質のときなどは読み込めないことがあります。本体のファクスメモリーがいっぱいになっていると原稿は読み込めません。
- 原稿の読み取り濃度を変更できます。（69ページ「読取濃度」）
- 読込原稿を印刷すると縮小されます。原寸で印刷するには、「エコノミー受信」を「あり（2）」にしてください。（69ページ）

SDカードのデータを整理する

パソコンなどでフォルダーやファイルを消去したり、名前を変更したために、本機で表示できない不要なデータが残ったときに行ってください。

1 **【機能】**を押す

2 **【SDカード】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「SDを整理する」を選び、**【決定】**を押す

4 **【はい】**を押す

SDカードをフォーマットする

パソコンなどの他の機器でフォーマットされたSDカードは、消去などの処理速度が遅くなったり、本機で使用できなくなる場合があります。必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットすると、SDカードに記録されているデータはすべて消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンなどに保存したあと、フォーマットしてください。

1 **【機能】**を押す

2 **【SDカード】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「SDをフォーマットする」を選び、**【決定】**を押す

4 **【はい】**を押す

本機で保存したデータをパソコンで使う

操作のしかたは、各機器の取扱説明書をお読みください。

- SDXCメモリーカードは、SDXC対応の機器でのみご使用ください。

パソコンでファクスや用件を表示／再生する

パソコンにSDカードを入れて、保存されている画像や音声をパソコンで再生できます。

- 画像ファイル（JPEG形式、TIFF形式）は、それぞれの画像形式に対応した画像閲覧ソフトで表示できます。（メモリー受信されたファクス、読み取った原稿）
- 音声ファイル（WAVE形式）は、Windows Media® Player またはQuickTime で再生できます。
- Windows® 8 で画像ファイル（TIFF形式）を表示する場合はWindows フォトビューアーをお勧めします。その他の画像閲覧ソフトを使うと、縦方向が縮んで表示されることがあります。
- 対応OS

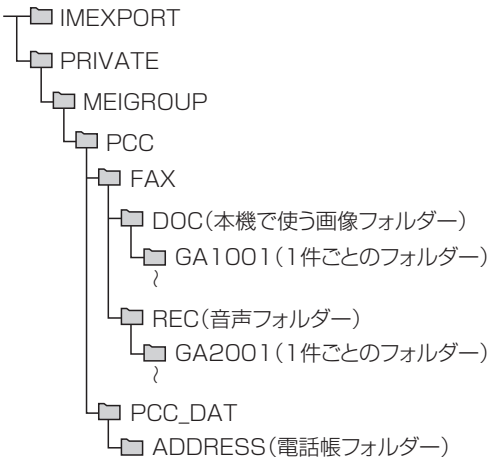
  Windows Me　Windows 2000
  Windows XP　Windows Vista®
  Windows 7　Windows 8

  - Microsoft® Windows Millennium Edition operating system をWindows Me と表記しています。
  - Microsoft Windows 2000 operating system をWindows 2000 と表記しています。
  - Microsoft Windows XP operating systemをWindows XP と表記しています。
  - Microsoft Windows Vista operating system をWindows Vista と表記しています。
  - Microsoft Windows 7 operating systemをWindows 7 と表記しています。
  - Microsoft Windows 8 operating systemをWindows 8 と表記しています。

フォルダー構造について

本機にSDカードを入れるとSDカードに以下のフォルダーが作成されます。また、音声・画像を1件保存するごとに1つのフォルダーが作成されます。

- パソコンなどでフォルダーやファイルを消去したり、名前を変更しないでください。（本機で再生・印刷できなくなります）
- 画像1件ごとにJPEG形式とTIFF形式（本機で使用）の2つのファイルが作成されます。
- 1件ごとの音声フォルダーには、録音時間が20分ごとにWAVE形式のファイルが作成されます。
- 1件ごとのフォルダーに用件録音やファクス受信日時、相手の名前や電話番号を記録したTEXT形式の情報ファイルが作成されます。



ナンバー・ディスプレイサービス

ナンバー・ディスプレイを利用するには（契約が必要です）

当社と契約する（有料）

↓

本機の設定は必要ありません

↓

当社の工事終了後に利用できる

- 当社との契約・工事についてのお問い合わせは
  当社窓口 ☎116（通話料金無料）へ
- ISDN回線のときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。（19ページ）
- ホームテレホン・構内交換機に接続のときは、利用できません。

お願い

- 1回線に複数の電話機・ファクスなどを並列接続しないでください。（誤動作の原因）

■ キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は、設定してください

【機能】→[#][1][3][7]→**【▼】【▲】**で「あり」を選ぶ（解約時は「なし」を選ぶ）→**【決定】**→**【ストップ】**

■ ナンバー・ディスプレイの利用をやめるには

ナンバー・ディスプレイサービスを解約後、下記の操作を行ってください

【機能】→[#][1][3][3]→**【▼】【▲】**で「自動」を選ぶ→**【決定】**→**【ストップ】**

ナンバー・ディスプレイとは

電話がかかってくると相手の電話番号を表示します。

電話帳に登録した相手のときは…

〈親機〉 相手の名前を読み上げ、表示します。
（お買い求め時の設定）

鈴木 太郎

「文字表示サイズ切替」（73ページ）を「ふつう」に設定すると、名前が全角10文字／半角20文字以下の場合は電話番号も表示します。

〈子機〉

相手の名前を読み上げ、名前と電話番号を表示します。

鈴木 太郎

0987654

- 親機・子機とも、親機の電話帳に登録しているフリガナを読み上げます。（59ページ「着信読み上げについて」）
- 電話帳に登録していない相手は、電話番号を表示します。
- 日時と電話番号を着信履歴に記憶します。（30件まで）（59・61ページ）
- 電話に出なかったときは、液晶ディスプレイに「着信がありました[着信履歴/ファクスを見る]押す」と表示し、着信履歴/ファクスを見るランプが点灯します。（留守番電話が応答したとき、ファクスを自動で受けたときも表示・点灯します）
- キャッチホン・ディスプレイサービス契約時はキャッチホンでかかってきた電話も、相手の番号を表示（約30秒間）し、着信履歴に記憶します。

■ こんな表示が出たとき

<table>
<tr><th>親機の表示</th><th>子機の表示</th><th>相手がこんなとき</th><th>着信履歴</th></tr>
<tr><td colspan="2">非通知</td><td>電話番号を通知していない</td><td rowspan="3">記憶される</td></tr>
<tr><td colspan="2">公衆電話</td><td>公衆電話から</td></tr>
<tr><td colspan="2">表示圏外</td><td>海外やインターネット電話など番号を通知できない</td></tr>
<tr><td>表示できません</td><td rowspan="2">外線着信中</td><td>回線状態が悪いとき</td><td>記憶されない</td></tr>
<tr><td>外線着信中</td><td>電話番号の信号が送られてきていない</td><td>記憶される</td></tr>
</table>

■ 電話をかけるとき自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	当社に「通常通知」申し込み。	1 8 6 を付けてかける（99ページ）
通知しないとき	当社に「通常非通知」申し込み。	1 8 4 を付けてかける（99ページ）

■ 迷惑電話を受けないようにできます（着信拒否）

電話がかかってくると、液晶ディスプレイが点灯し相手の電話番号などを表示します。

- 着信拒否した相手のとき
  呼出音を鳴らさずに相手にメッセージが流れ、電話が自動的に切れます。
- 着信拒否していない相手のとき
  呼出音が鳴りますので、呼出音が鳴ってから電話に出てください。

相手がこんなとき	着信拒否するには	ページ
電話番号を通知していない	「非通知着信」を「拒否する」にする	70
公衆電話	「公衆電話着信」を「拒否する」にする	70
海外やインターネット電話など番号を通知できない	「表示圏外着信」を「拒否する」にする	71
0120・0800で始まる電話番号	『「0120・0800」着信』を「拒否する」にする	71
電話帳に登録していない電話番号	「未登録番号着信」を「拒否する（時刻設定）」にする	71
受けたくない相手	「迷惑電話着信拒否」を「あり（電話番号設定）」にする	71

- 着信履歴から拒否したい相手を選び、着信拒否に設定できます。（60・61ページ）
- 解除するときは、それぞれの設定を「拒否しない」または「なし」に変更してください。
- 着信拒否した相手は着信履歴に記憶されません。71ページ「着信拒否の履歴保存」を「する」に変更すると着信履歴に記憶され、表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても、上記の着信を拒否する設定は働きません。
- 内線電話中、ドアホン通話中に電話がかかってきても、上記の着信を拒否する設定は働きません。（71ページ「迷惑拒否メッセージ」を「話し中」に設定時の「迷惑電話着信拒否」は除く）
- 次の相手からの電話のときは、「0120・0800」着信、未登録番号着信を拒否する設定は働きません。
  - 親機の電話帳に登録している相手

■ 相手によって呼出音を変えられます（着信鳴り分け）

70・76ページの「着信鳴り分け」でグループごとに呼出音を設定してください。

- 解除するときは、「登録しない」に変更してください。

着信読み上げについて

親機の電話帳に登録している相手から電話がかかってくると、登録しているフリガナを読み上げます。子機でも親機の電話帳のフリガナを読み上げます。電話帳に登録されていない相手の場合は、電話番号を読み上げるように設定できます。(70・76ページ「着信読み上げ」を「あり」にする)

- 設定中の呼出音とフリガナの読み上げをくり返します。
  例:「プルルルルルル」→「スズキ タロウさんです」→「プルルルルルル」→「スズキ タロウさんです」…
  - 電話帳に名前が登録されていないときは、電話番号を読み上げます。
- 子機の着信読み上げが「あり」になっているとき
  - 親機の着信読み上げが「なし」になっていると、子機の着信読み上げは働きません。
  - 親機の着信読み上げが「電話帳登録」になっていると、子機も親機の電話帳に登録されていない相手の電話番号は読み上げません。
- 非通知、公衆電話、表示圏外の相手から電話がかかってきたときは、「非通知」「公衆電話」「表示圏外」を表示し、「非通知です」「公衆電話です」「表示圏外です」と読み上げます。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、キャッチホンの相手は読み上げません。
- 内線電話中、ドアホン通話中に電話がかかってきた場合は、読み上げません。
- 着信読み上げをしないようにするときは、「着信読み上げ」を「なし」に変更してください。(70・76ページ)

グループ読み上げについて

親機の電話帳に登録している相手から電話がかかってくると、該当する親機の電話帳のグループ名を読み上げます。子機でも親機の電話帳のグループ名を読み上げます。

- 設定中の呼出音とグループの名前のフリガナ・電話帳のフリガナの読み上げをくり返します。
  例:「プルルルルルル」→「トモダチ」→「スズキ タロウさんです」→「プルルルルルル」→「トモダチ」→「スズキ タロウさんです」…
  - 電話帳に名前が登録されていないときは、電話番号を読み上げます。

準備

- 「着信読み上げ」を「あり」または「電話帳登録」に設定してください。(70ページ)

1 **【機能】**を押す

2 #02 8を押す

3 **【▼】【▲】**で「あり」を選び、**【決定】**を押す

4 **【▼】【▲】**で未登録のグループを選び、**【決定】**を押す
- 登録済みのグループの名前を修正するには修正したいグループを選んでください。

5 グループの名前(全角6文字／半角12文字まで)を入力し、**【決定】**を押す
- 文字入力のしかた(30ページ)

6 フリガナ(半角文字のみ12文字まで)を確認して、間違っていれば修正する
- 文字入力のしかた(30ページ)

7 **【再生】**を押し、アクセントを設定する文字を1～9を押して選ぶ
- 1～9文字目まで設定できます。
  (例:4文字目のときは4を押します)

平坦なアクセントにするとき
【アクセントなし】を押す

新規登録時の設定に戻すとき
【おまかせ】を押す

8 **【決定】**を押す

9 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、キャッチホンの相手は読み上げません。
- 内線電話中、ドアホン通話中に電話がかかってきた場合は読み上げません。

親機で着信履歴を使う(ナンバー・ディスプレイ契約時)

かかってきた相手(着信履歴)を確認する

- 親機で通話中にも操作することができます。

1 **【着信履歴】**を押す

```
着信      :新規   3件
本体ﾌｧｸｽ:未読   2件
```
← 電話に出なかった着信履歴の件数

2 **【着信】**を押す

3 **【▼】**をくり返し押し、着信履歴を確認する
- 名前や電話番号を読み上げます。読み上げを止めるには68ページの「電話帳読み上げ」を「なし」にしてください。
- 着信履歴について(60ページ)

4 確認が終わったら**【ストップ】**を押す

お知らせ

- 着信履歴を見るときに操作案内が流れます。止めるには68ページの「親切音声案内」を「なし」にしてください。

着信履歴から電話をかける

1 **【着信履歴】→【着信】**を押す

2 **【▼】**で電話をかける相手を選ぶ

3 受話器を取る

着信履歴からファクスを送る

1 **【着信履歴】→【着信】**を押す

2 **【▼】**でファクスを送る相手を選ぶ

3 原稿をセットし（28ページ）、**【ファクス】**を押す

着信履歴に184や186を付けてかける

1 1 8 4または1 8 6を押す

2 **【留守】**（ポーズ）を押す

3 **【着信履歴】**を押す

4 **【▼】**で電話をかける相手を選ぶ

5 受話器を取る

1件ずつ着信履歴を消去する

1 **【着信履歴】→【着信】**を押す

2 **【▼】**で消去する相手を選ぶ

3 **【消去】→【はい】**を押す

4 消去が終わったら**【ストップ】**を押す

すべての着信履歴を消去する

1 **【着信履歴】→【着信】→【ボタン切替】→【全消去】→【はい】**を押す

着信履歴を印刷する

1 **【着信履歴】→【着信】→【ボタン切替】→【リスト印刷】**を押す

着信履歴から受けたくない電話を拒否する

1 **【着信履歴】→【着信】**を押す

2 **【▼】**で電話を受けたくない相手を選ぶ

3 **非通知・公衆電話・表示圏外着信を拒否するとき**

【ボタン切替】→【拒否設定】→【はい】を押す

- **【拒否設定】**：相手が非通知、公衆電話、表示圏外のときに表示

迷惑電話の着信を拒否するとき

【ボタン切替】→【迷惑設定】→【はい】を押す

- **【迷惑設定】**：相手が電話番号のときに表示

4 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- 設定を解除するには、「■ 迷惑電話を受けないようにできます（着信拒否）」（58ページ）のそれぞれの設定を「拒否しない」または「なし」に設定してください。

着信履歴から電話帳に登録する

1 **【着信履歴】→【着信】**を押す

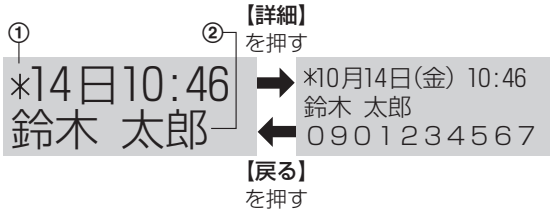
2 **【▼】**で登録する相手を選ぶ

3 **【電話帳登録】**を押す

4 40ページ「電話帳に登録する」の手順**3**からの操作を行う

着信履歴について

- 親機・子機共通で30件まで記憶します。
- 着信拒否した相手は着信履歴に記憶されません。※



① 電話に出なかったとき表示
- 迷惑電話着信拒否や拒否設定している相手のときは「 X 」を表示※

② 名前や電話番号を表示
- 迷惑ブロック（62ページ）の相手から電話がかかってきたときは「！危険」と表示※
- 非通知、公衆電話、表示圏外の相手から電話がかかってきたときは、「非通知」「公衆電話」「表示圏外」と表示

※ 71ページ「着信拒否の履歴保存」を「する」に変更すると着信履歴に記憶され、表示されます。

お知らせ

- 電話番号の信号が送られてきていないとき（ナンバー・ディスプレイ未契約時）は名前や電話番号は表示されません。

子機で着信履歴を使う（ナンバー・ディスプレイ契約時）

かかってきた相手（着信履歴）を確認する

1 **【◀】**（着信履歴）を押す
- 電話に出なかった着信履歴の件数が表示されます。（例）「新規（✳）　3件」

2 **【▼】**をくり返し押し、着信履歴を確認する
- 着信履歴について（右記）

3 確認が終わったら**【切】**を押す

着信履歴から電話をかける

1 **【◀】**（着信履歴）を押す

2 **【▼】**で電話をかける相手を選ぶ

3 **【外線】**を押す

1件ずつ着信履歴を消去する

1 **【◀】**（着信履歴）を押す

2 **【▼】**で消去する相手を選ぶ

3 **【消去】→【はい】**を押す

4 消去が終わったら**【切】**を押す

すべての着信履歴を消去する

1 **【◀】**（着信履歴）→**【全消去】→【はい】**を押す

着信履歴から受けたくない電話を拒否する

1 **【◀】**（着信履歴）を押す

2 **【▼】**で電話を受けたくない相手を選び、**【登録】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「迷惑設定」または「拒否設定」を選び、**【決定】**を押す
- 「迷惑設定」：相手が電話番号のときに表示
- 「拒否設定」：相手が非通知、公衆電話、表示圏外のときに表示

4 **【はい】**を押す

5 **【切】**を押す

お知らせ
- 設定を解除するには、親機で「■ 迷惑電話を受けないようにできます（着信拒否）」（58ページ）のそれぞれの設定を「拒否しない」または「なし」に設定してください。

着信履歴から電話帳に登録する

1 **【◀】**（着信履歴）を押す

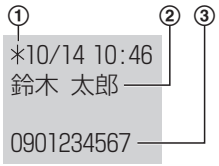
2 **【▼】**で登録する相手を選び、**【登録】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「電話帳登録」を選び、**【決定】**を押す

4 42ページの「電話帳に登録する」の手順**3**からの操作を行う

着信履歴について

- 親機・子機共通で30件まで記憶します。
- 着信拒否した相手は着信履歴に記憶されません。※



① 電話に出なかったとき表示
- 迷惑電話着信拒否や拒否設定している相手のときは「 X 」を表示※

② 名前を表示
- 迷惑ブロック（62ページ）の相手から電話がかかってきたときは「！危険」と表示※

③ 電話番号を表示
- 非通知、公衆電話、表示圏外の相手から電話がかかってきたときは、「非通知」「公衆電話」「表示圏外」と表示
- 電話番号の表示されていない部分を見るには**【▶】**を押してください。

※ 71ページ「着信拒否の履歴保存」を「する」に変更すると着信履歴に記憶され、表示されます。

お知らせ
- 電話番号の信号が送られてきていないとき（ナンバー・ディスプレイ未契約時）は名前や電話番号は表示されません。

迷惑ブロックサービス

トビラシステムズ株式会社が提供する有料サービスです。
迷惑電話番号データと一致した相手から電話がかかってくると、呼出音を鳴らさずに自動で受けないようにすることができます。

- **迷惑ブロックサービスのサービス利用料は無料ですが、データ更新にかかる通信料が別途必要です。〔右記「迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）の更新について」〕**
- **迷惑電話番号データは、すべての迷惑電話番号を保証するものではありません。**

- 迷惑ブロックサービスとその通信料は、2016年8月現在のものです。
- 迷惑ブロックサービスを使うには、ナンバー・ディスプレイサービスの契約も必要です。

迷惑ブロックサービスについてのお問い合わせは
トビラサポートセンター
TEL. 050-5533-3727
受付時間：平日 10:00～17:00
- 土日祝およびトビラシステムズ休業日は窓口も休業となります。

迷惑ブロックを利用するには（契約が必要です）

ナンバー・ディスプレイサービスを契約する（57ページ）

↓

「迷惑ブロックサービス」を契約する
- 契約は、本機の操作で行います。

① 本機に添付の「迷惑ブロックサービス利用規約」をお読みください。
② 迷惑ブロックを設定する（右記）

↓

かけてきた相手をナンバー・ディスプレイ機能で表示できるようになると、迷惑ブロックを利用できる
- 迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）の更新について（右記）

- 次の場合は、迷惑ブロックを使えません。
  - フリーダイヤルやナビダイヤルにかけられない電話回線に接続している場合
  - ホームテレホン・構内交換機に接続している場合
  - 日付・時刻を設定していないときは、迷惑ブロック情報の更新ができません。（日付・時刻を設定してください）

迷惑ブロックを設定する

準備
- 「迷惑ブロックを利用するには（契約が必要です）」（左記）

1 **【迷惑ブロック】**を押す

2 **【決定】→【次へ】→【次へ】→【同意】**を押す
- 液晶ディスプレイに表示されるお知らせをお読みください。

3 利用規約を確認して**【同意】→【決定】**を押す
- 迷惑ブロックが設定されると、「 」が表示されます。
- **「ナンバー・ディスプレイが使えるようになるとこの機能が働きます」が表示されたとき**
  - ナンバー・ディスプレイサービスを契約していても、本機に一度も電話がかかってきていない場合に表示されます。本機に電話をかけて、かけてきた相手を表示できるようになると、迷惑ブロックが使えるようになります。
  - かけてきた相手の電話番号を表示しないとき（104ページ）

迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）の更新について

お買い求め時には、あらかじめ迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）が本機に登録されていますが、最新ではありません。迷惑電話番号のデータは日々更新されるため、サービスが利用できるようになると、1日に1回※、本機が自動的に電話をかけて、トビラシステムズ株式会社の迷惑電話データベースからデータをダウンロードして迷惑ブロック情報を更新します。

※ サーバーとの通信時刻の調整のためにデータ更新を行わないことがあります。

- かけてきた相手をナンバー・ディスプレイ機能で表示できるようになると、更新ができます。
- 迷惑ブロック情報の登録内容を確認することはできません。
- 初回の更新では最大30分かかりますが、料金はかかりません。
- **2日目以降の更新は通信料がかかります。**
  - 通信料は1分10円（税抜）で、通常利用では1日あたり約1分の通信を行うため、月額は310円（税抜）程度となります。通信料はご利用の電話会社の電話料金に含まれてNTTコミュニケーションズが提供するナビダイヤルの利用料として請求されます。
  - 更新時刻に本機が通話などで使用中の場合、情報が更新されません。翌日の更新となります。

お願い

- 更新の時刻はトビラシステムズ株式会社のサーバーから本機に設定され、お客様が指定することはできません。本機の電源が入っていないと更新ができませんので、本機の電源を切らないでください。
- 日付・時刻が初期値に戻ったときは迷惑ブロック情報の更新ができなくなります。また、時刻がずれているときは更新の時刻もずれますので、日付・時刻を設定し直してください。

■ 最終の更新日を確認するには/手動で更新するには

最終の更新日は迷惑ブロックが働いているときに表示できます。

①【機能】→#1771を押す
- 最終更新日が表示されます。終わるには【ストップ】を押します。

②手動で更新するときは【決定】→【はい】を押す
- 更新には、通信料が毎回10円（税抜）かかります。

電話がかかってくると

液晶ディスプレイが点灯し相手の電話番号などを表示します。
迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）の相手から電話がかかってくると、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ⑭（75ページ）が流れ、電話が自動的に切れます。
- 光回線などに接続する機器によっては、相手に呼出音（プルル・プルル…）が流れることがあります。

迷惑電話番号以外の相手から電話がかかってきたときは、呼出音が鳴りますので、呼出音が鳴ってから電話に出てください。

■ 迷惑ブロックが働いた回数を見るとき

【迷惑ブロック】→【決定】
- 0回に戻すには # →【はい】→【ストップ】を押します。

お知らせ

- 親機に電話帳登録している相手からの電話には、迷惑ブロックが働きません。
- 受けたくない相手や非通知なども拒否することができます。〔58ページ「■ 迷惑電話を受けないようにできます（着信拒否）」〕

迷惑ブロックの利用をやめるとき

本機の操作で迷惑ブロックサービスの解約を行います。それ以外の手続きは不要です。

1 【機能】→#1770を押す

2 【決定】→【はい】を押す

モデムダイヤルインサービス

モデムダイヤルイン、追加番号（マイナンバー）とは

1つの回線で複数の電話番号を使うことができます。本機のモデムダイヤルイン機能を使って、ひかり電話の追加番号（マイナンバー）サービスを利用することもできます。

■ 電話用番号にかかってくると…

番号ごとに設定した親機や子機だけが鳴ります。
- 呼び出し中は、呼び出し先に設定していない親機・子機では、電話に出られません。
- ファクス自動受信や、留守番電話の応答をさせたいときは、親機を呼び出し先に設定してください。留守番電話が応答すると、親機とすべての子機のスピーカーから応答メッセージと相手の声が聞こえます。
- 呼び出し先に設定した子機でも、ファクス受信の操作ができます。

■ ファクス専用番号にかかってくると…

呼出音を鳴らさずにファクスを受信します。
- 電話に出たり、留守番電話での応答はできません。

お知らせ

- 外線電話中のキャッチホン時は、モデムダイヤルインによる呼び出し（キャッチ）は働きません。
- ドアホン通話中、内線電話中は、モデムダイヤルインによる呼び出しは働きません。通話中の親機または子機から呼出音が聞こえます。ドアホン通話または内線電話を終え、外線電話を受けてください。
- 発信者番号通知は主番号での通知となります。
- モデムダイヤルインによる子機のみの呼び出しのときは、迷惑防止（37ページ）、留守番電話での応答、「0120・0800」着信（71ページ）、未登録番号着信（71ページ）を拒否する設定は働きません。

モデムダイヤルイン、追加番号（マイナンバー）を利用するには

■ 契約の前にご確認ください
- 本機では複数の電話番号は同時に通話・通信できません。
- ホームテレホン・構内交換機では使用できません。
- 他のサービスとの併用や契約・工事についてのお問い合わせは　当社窓口 ☎116（通話料金無料）へ

当社と契約する（有料）

↓

連絡が来る

↓

必ずサービス開始後に「モデムダイヤルイン」を設定する（73ページ）

お願い

- 1回線に複数の電話機・ファクスなどを並列接続しないでください。(誤動作の原因)
- 本機は「ダイヤルインサービス(PB信号方式)」には対応していません。

お知らせ

- ISDN回線のときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。(19ページ)
- ひかり電話の追加番号(マイナンバー)サービスを利用するときは、VoIPアダプタ(ルータ)などの取扱説明書も合わせてお読みください。
- 電話がかかってきたときは、つながる(呼出音が鳴る)まで4～10秒かかります。
- トールセーバー(53ページ)がうまく働かないことがあります。

キーロックを使う

お掃除などのとき、誤操作を防ぐため、操作ボタンを受けつけないようにできます。

親機で操作できないようにする

1 「ピッ」と鳴るまで[#]を3秒以上押す

■ 解除するとき
「ピッ」と鳴るまで[#]を3秒以上押す

子機で操作できないようにする

1 「ピッ」と鳴るまで[#]を3秒以上押す

■ 解除するとき
「ピッ」と鳴るまで[#]を3秒以上押す

おやすみモードを使う

おやすみモードについて

おやすみになりたいときや、静かにすごしたいとき、おやすみモードにすると、本機の音を鳴らさないようにできます。

- 毎日指定した時間帯に、おやすみモードをタイマー設定することもできます。(67ページ「おやすみタイマー」)
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは、特定の相手からの電話やファクスを、呼出音を鳴らして留守番電話が応答するようにできます。(72ページ「おやすみ特定着信」)
- おやすみモードのときは
  - 留守セットされます。応答中のスピーカーからの音声は、聞こえません。(49ページ)
  - ファクスはメモリー受信されます。(45ページ)
  - 親機も子機も呼出音(外線・ドアホン)が鳴りません。(内線の呼出音は鳴ります)
  - 電話帳読み上げ・着信読み上げ・グループ読み上げは働きません。(39・59ページ)
  - 親機のキー確認音は鳴りません。
  - 音声案内などの音声は流れません。(68ページ)
  - 人感センサー付子機のお知らせセンサーによる音声は流れません。(85ページ)

親機でおやすみモードに設定する

1 [✳]を3秒以上押す
- 留守ランプが点灯します。

■ 解除するとき
[✳]を3秒以上押す

■ 次の場合は、着信履歴/ファクスを見るランプが点灯します
- 新規にファクスをメモリー受信したとき。(45ページ)
- 着信があったとき。(58ページ)

お知らせ

- おやすみモードのときは、次の機能は働きません。
  - 迷惑防止(37ページ)
  - 用件転送(53ページ)
  - モデムダイヤルインによる子機の呼び出し(63ページ)
  - ドアホンワープ(79ページ)
- おやすみモードのときに留守セットを解除する(50ページ)と、おやすみモードも解除されます。
- おやすみモードを設定していても、窓／ドアセンサー、人感センサー付子機の報知音は鳴ります。(80・85ページ)
- おやすみモードに設定したときも、おやすみタイマーの終了時間になると、おやすみモードは解除されます。
- おやすみタイマーを設定した状態で停電があり、復旧した時刻がおやすみタイマーの時間帯でない場合は、おやすみモードに設定されていても解除されます。

外からかかってきた電話の呼出音を変える

親機で呼出音を変える

1 **【機能】**を押し、[#][0][5][4]を押す

2 **【▼】【▲】**で呼出音を選び、**【決定】**を押す

3 **【ストップ】**を押す

子機で呼出音を変える

1 【機能】を押し、#0544を押す

2 【変更】を押す

3 【▼】【▲】で呼出音を選び、【決定】を押す

4 【切】を押す

■ 呼出音の種類

ベル	8種類のベル
メロディ	JUPITER／ヴァルキューレの騎行／CANTATA（主よ、人の望みの喜びよ）／くるみ割り人形

- ベル6～8：
  © 2011 Akiyuki Ishida Creative Room.
  Associate with Office Y.K All Rights Reserved.
- メロディ：
  © 2006 Copyrights Vision Inc.

音量を変える

種類	変えられる範囲
呼出音量 ● 外線／内線／ドアホン ● 窓センサー※1／ドアセンサー※1 ● 人感センサーの予備報知音※2	8段階＋「切」
受話音量	6段階 （親機の内線電話・ドアホンは3段階）
スピーカー音量	（親機） 8段階※3 （子機） 6段階

※1　報知レベルが「低い」のときの窓／ドアセンサーの報知音、ドアセンサーの予備報知音を待機中のみ変えられます。

※2　待機中のみ変えられます。

※3　留守電応答中のみ【音量切】を押して「切」（鳴らさない）に設定できます。（解除するには【▲】）（次回使うときはレベル「2」の音量になります）

- 呼出音を「切」にしていても、下記は最小音量で鳴ります。
  - 内線電話／ドアホンの呼出音
  - 報知レベルが「低い」のときの窓／ドアセンサーの報知音
  - ドアセンサーの予備報知音
  - 人感センサーの予備報知音
- 下記は最大音量で鳴ります。
  - 報知レベルが「高い」のときの窓／ドアセンサーの報知音
  - 人感センサーの報知音

親機・子機で音量を変える

1 呼出音が鳴っているとき・通話中・留守電再生中に【▼】【▲】を押す
- 親機の受話音量が最大音量のときは、「大」が表示されます。

待機中に親機で音量を変えるとき

1 【▼】【▲】を押す

2 【▼】【▲】で変更する音量の種類を選び、【決定】を押す

3 （受話音量設定のときのみ）
【▼】【▲】で「外線」または「内線／ドアホン」を選び、【決定】を押す

4 【▼】【▲】で音量を変える
- 呼出音量を「切」（鳴らさない）に設定するには、【呼出音切】を押してください。（解除するには【▲】）
- 親機の受話音量が最大音量のときは、「大」が表示されます。

5 【決定】または【ストップ】を押す

待機中に子機で音量を変えるとき

1 【▼】【▲】を押す

2 【▼】【▲】で音量の種類を選び、【変更】を押す

3 【▼】【▲】で音量を変える
- 呼出音量を「切」（鳴らさない）に設定するには、最小音量で【▼】を押してください。（解除するには【▲】）

4 【決定】または【切】を押す

親機への名前・電話番号の登録

- 「184」を付けてファクスを送るときは、登録した名前や電話番号は相手に印刷や表示はされません。

名前（印刷用）を登録する

相手が受けたファクスに印刷されます。

1 【機能】を押し、#0022を押す

2 名前（全角15文字／半角30文字まで）を入力し、【決定】を押す
- 文字入力のしかた（30ページ）

3 【ストップ】を押す

名前（表示用）を登録する

相手機が同一機種の場合のみ、通信中に相手のディスプレイに表示されます。

1 **【機能】**を押し、#0033を押す

2 名前（カタカナ・英字・記号・数字で16文字まで）を入力し、**【決定】**を押す
- 全角文字（漢字・ひらがな など）は登録できません。
- 文字入力のしかた（30ページ）

3 **【ストップ】**を押す

あなたの電話番号（表示・印刷用）を登録する

相手が受けたファクスに印刷されます。

1 **【機能】**を押し、#0034を押す

2 電話番号（20ケタまで）を入力し、**【決定】**を押す
- スペースは**【スペース】**を押します。
- 「+」は✱を押します。
- 間違えたときは**【消去】**を押します。

3 **【ストップ】**を押す

親機で日付・時刻を合わせるとき

1 **【機能】**を押し、#0031を押す

2 ダイヤルキーで年・月・日・時刻を入力し、**【決定】**を押す
- 時刻は24時間方式で入力。（深夜12時は「00：00」）

3 **【ストップ】**を押す

お願い

- 本機に表示される時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。（常時　通電状態のとき）
- 停電や本機の電源の抜き差しにより本機の電源が切れると、日付・時刻が初期値に戻ったり、時刻がずれることがあります。（すでに留守番電話や着信履歴などに記録された日付・時刻は残ります）
- 日付・時刻が初期値に戻ったときや時刻がずれていると、タイマー（おやすみタイマーや迷惑ブロック情報の更新など）が正しく働きませんので、日付・時刻を設定し直してください。

お知らせ

- 子機は親機で設定した日付・時刻を表示します。（「圏外」のときは表示できません）

親機の機能一覧

表の見かた

項目	
機能名	説明
登録・設定のしかた ● 【機能】を押し、[#]に続けて3桁の番号を押して機能を選択します。(「#」は液晶ディスプレイに表示されません)	

● 登録・設定が終わったら、【ストップ】を押してください。

機能一覧

最初の設定	
日付時刻	現在の日時を設定します。(お買い求め時:2016年1月1日00:00)
【機能】→[#][0][0][1]→年・月・日・時刻を入力→【決定】 ● 時刻は24時間方式(深夜12:00は「00:00」)で入力。	
名前(印刷用)	相手が受けたファクスに名前が印刷されます。
【機能】→[#][0][0][2]→名前を入力(全角15文字/半角30文字まで)→【決定】 ● 文字入力のしかた(30ページ)	
名前(表示用)	相手機が当社製ファクスの場合のみ、通信中に相手のディスプレイに名前が表示されます。
【機能】→[#][0][0][3]→名前を入力(半角16文字まで)→【決定】 ● 文字入力のしかた(30ページ)	
あなたの電話番号	相手が受けたファクスに電話番号が印刷されます。
【機能】→[#][0][0][4]→電話番号を入力(20ケタまで)→【決定】	
回線種別	電話回線の種類を設定します。(お買い求め時の設定:自動)
【機能】→[#][0][7][9]→【▼】【▲】で「自動」「プッシュ」「20」「10」を選ぶ→【決定】	
登録リスト印刷(4枚印刷)	親機の機能登録の内容を印刷します。
【機能】→[#][0][0][0]→【決定】	
停電時動作	子機でも簡易停電通話が使えるように設定します。(お買い求め時:親機のみ)
【機能】→[#][0][4][4]→【▼】【▲】で「親機のみ」「親機・子機」を選ぶ→【決定】 ● 詳しくは(88ページ)	
呼出音とベル回数	
呼出音	親機の呼出音を設定します。(お買い求め時:ベル1)
【機能】→[#][0][5][4]→【▼】【▲】で「ベル1」～「ベル8」「JUPITER」「ヴァルキューレの騎行」「CANTATA」「くるみ割り人形」を選ぶ→【決定】 ● 詳しくは(64ページ)	
在宅呼出回数	在宅時、自動的に回線がつながるまでの呼出音の回数を設定します。(お買い求め時:15)
【機能】→[#][1][1][2]→【▼】【▲】で「3」「5」「10」「15」「20」「留守」「自動応答しない」を選ぶ→【決定】 「3」「5」:自動受信に設定される。自動受信を解除するときは「3」「5」以外にする。 「留守」:呼出音が15回鳴ったあと、留守セットされる。 「自動応答しない」:電話に出るまで鳴り続ける。	
留守呼出回数	留守時、応答メッセージを流すまでの呼出音の回数を設定します。(お買い求め時:4)
【機能】→[#][1][2][1]→【▼】【▲】で「2」「4」「6」「9」「トールセーバー」を選ぶ→【決定】 「9」:応答するまでの時間が長いため、相手機のファクス信号が終了しファクスを自動受信できないことがある。 「トールセーバー」:53ページ	
おやすみタイマー	本機の音を鳴らさない時間帯を設定します。(お買い求め時:なし)
【機能】→[#][1][1][7]→【▼】【▲】で「あり(時刻設定)」「なし」を選ぶ→【決定】 「あり(時刻設定)」:開始時刻と終了時刻を24時間方式(深夜12時は「00:00」)で入力→【決定】	
迷惑防止呼出回数	迷惑防止で本機が応答したあとの呼出音とメッセージ⑲(75ページ)の回数を設定します。(お買い求め時:6)
【機能】→[#][0][7][2]→【▼】【▲】で「3」「6」「9」「12」「15」を選ぶ→【決定】 ● 詳しくは(37ページ)	

音声の設定

ファクス音声案内
送受信結果の音声を流します。（お買い求め時：あり）

【機能】→#0200→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**
● 解除するときは「なし」にしてください。

自動操作案内
原稿をセットしてからファクス送信やコピーの操作を行うときに、音声で操作案内をします。（お買い求め時：あり）

【機能】→#0201→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**
● 解除するときは「なし」にしてください。

読み上げダイヤル
ダイヤルした番号や、電話帳登録・検索時に入力した文字（ひらがな・半角カタカナ）を音声で読み上げます。（お買い求め時：あり）

【機能】→#1300→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**
● 解除するときは「なし」にしてください。

電話帳読み上げ
電話帳などを検索時に、登録されたフリガナを読み上げます。（お買い求め時：あり）

【機能】→#1302→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**
● 解除するときは「なし」にしてください。

親切音声案内
電話帳・短縮ダイヤル登録時、電話帳などを検索したあと電話をかけるとき、メモリー受信したファクスの表示・印刷時などに、音声で操作案内をします。（お買い求め時：あり）

【機能】→#1607→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**
● 解除するときは「なし」にしてください。

時刻音声案内
「ポーン 午前8時です」などと時刻を音声でお知らせします。（お買い求め時：なし）

【機能】→#1705→【▼】【▲】で「なし」「あり（常に）」「あり（タイマー）」を選ぶ→**【決定】**
「あり（タイマー）」：開始時刻と終了時刻を24時間方式（深夜12時は「00：00」）で入力※→**【決定】**
※「分」の設定はできません。
● 音声のお知らせは親機のみです。

迷惑防止音声案内
迷惑防止設定時、呼出音のあとにメッセージ⑲（75ページ）を流します。（お買い求め時：あり）

【機能】→#1706→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**
● 解除するときは「なし」にしてください。

電話帳の設定

電話帳登録
電話帳に登録します。

【機能】→#2000→40ページ「電話帳に登録する」の手順**3**からの操作を行う

電話帳印刷
電話帳・短縮ダイヤルの内容を印刷します。

【機能】→#0401→【▼】【▲】で「親機（最大4枚印刷）」「子機（最大4枚印刷）」を選ぶ→**【決定】**
「子機（最大4枚印刷）」：子機で43ページ「子機の電話帳を親機または別の子機へ転送する」の操作を行い、転送先に「親機」を選んで一斉転送してください。

電話帳転送
親機の電話帳の内容を子機に転送します。

【機能】→#1403→43ページ「親機の電話帳を子機へ転送する」の手順**2**からの操作を行う

電話帳全消去
親機の電話帳の内容をすべて消去します。

【機能】→#1404→【はい】

グループの名前
電話帳のグループの名前を登録・修正します。

【機能】→#0209→【▼】【▲】で登録・修正するグループを選ぶ→**【決定】**→ 名前を入力（全角6文字／半角12文字まで）→**【決定】**→ フリガナを確認（半角12文字まで）→**【決定】**
● 文字入力のしかた（30ページ）
● 読み上げが不自然に聞こえるときは、フリガナを確認したあと、**【再生】**を押し、アクセントを設定してください。（59ページ）

ファクスの受け方

自動受信

ファクスを自動受信するように設定します。(お買い求め時：しない)

【機能】→#116→【▼】【▲】で「する」「しない」を選ぶ→**【決定】**

「する」：呼出音が3回鳴ったあと、自動受信する。

「しない」：自動受信を解除する。

無鳴動受信

在宅時、呼出音を鳴らさずにファクスを受信します。(お買い求め時：しない)

【機能】→#114→【▼】【▲】で「しない」「常にする」「タイマー(時刻設定)」を選ぶ→**【決定】**

「タイマー(時刻設定)」：開始時刻と終了時刻を24時間方式(深夜12時は「00：00」)で入力→**【決定】**

ファクス専用

留守時、ファクスのみ受信します。(お買い求め時：しない)

【機能】→#115→【▼】【▲】で「する」「しない」を選ぶ→**【決定】**(「する」を選んだときは**【はい】**)

「する」：呼出音が1回鳴ったあと、自動受信する。(電話は受けられません)

「しない」：ファクス専用を解除する。

エコノミー受信

記録紙節約のため、縮小して印刷します。〔お買い求め時：あり(1)〕

【機能】→#090→【▼】【▲】で「あり(1)」「あり(2)」「なし」を選ぶ→**【決定】**

「あり(1)」：約92 %(縦方向)に縮小して印刷

「あり(2)」：原寸で印刷(収まらない部分は印刷しない)

「なし」：原寸で印刷(収まらない部分は2枚目に印刷)

ファクスの設定

海外送信

海外へうまく送れないときに設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#023→【▼】【▲】で「1回」「なし」を選ぶ→**【決定】**

Fネット

Fネットサービスを契約しているときに設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#105→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

- Fネット(G3サービス 1300 Hz)利用時は、「あり」に設定してください。
- Fネットとは、NTTコミュニケーションズ株式会社のファクシミリ専用ネットワークです。本サービスの契約や詳細は、NTT コミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。

通信レポート印刷

ファクス送受信のレポートを印刷します。

【機能】→#040→【決定】

- 最新の25件が印刷されます。

受信印字濃度

ファクスの印刷濃度を設定します。(お買い求め時：ふつう)

【機能】→#099→【▼】【▲】で「濃く」「ふつう」「薄く」を選ぶ→**【決定】**

読取濃度

原稿の読み取り濃度を設定します。(お買い求め時：ふつう)

【機能】→#051→【▼】【▲】で「濃く」「ふつう」を選ぶ→**【決定】**

- ファクスやコピーなどの原稿が薄いときに「濃く」を選んでください。
- 画質が「写真」のときは、「濃く」に設定しても「ふつう」で読み取ります。

留守番電話の設定

留守電暗証番号

外出先から操作するときの暗証番号を設定します。

【機能】→#006→4ケタの数字を入力 **→【決定】**

- 暗証番号は、「0000」や電話番号の一部など推測されやすい番号は登録しないでください。また、定期的に変更することをお勧めします。

用件録音時間

用件1件あたりの録音時間を設定します。(お買い求め時：2分)

【機能】→#030→【▼】【▲】で「2分」「最大」を選ぶ→**【決定】**

用件転送

用件を外出先に転送します。(お買い求め時：しない)

【機能】→#142→【▼】【▲】で「する(転送先設定)」「しない」を選ぶ→**【決定】**

「する(転送先設定)」：転送先の電話番号を入力する(24ケタまで)→**【決定】**(→ 暗証番号を登録していないときは暗証番号を4ケタで入力 →**【決定】**)

自作応答録音

自分の声で応答メッセージを録音します。

【機能】→#147→【▼】【▲】で「自作1」「自作2」を選ぶ →**【決定】**→ 受話器を取る →**【開始】**→「ピー」音のあと、受話器に向かって録音する(20秒以内) →**【終了】**→ 受話器を戻す

自作応答消去

自作応答メッセージを消去します。

【機能】→#148→【▼】【▲】で「自作1」「自作2」を選ぶ→**【決定】**→**【はい】**

留守応答メッセージ	応答メッセージを選びます。(お買い求め時：固定1)

【機能】→#128→【▼】【▲】で「固定1」「固定2」「自作1」「自作2」を選ぶ**→【決定】**

- 「固定1」はメッセージ②(74ページ)、「固定2」はメッセージ⑥(75ページ)が流れます。「自作応答録音」を録音していないときは、「自作1」「自作2」は選べません。

用件全消去	用件をすべて消去します。

【機能】→#163(→ SDカードが入っているときは**【▼】【▲】**で「本体メモリー」「本体メモリー＋SDカード」「SDカード」を選ぶ **→【決定】**) **→【はい】**

音声モニター	留守応答中に応答メッセージや相手の声がスピーカーで聞こえるように設定します。(お買い求め時：あり)

【機能】→#074→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ**→【決定】**

SDへのフル録音	外線電話をSDカードに自動的に録音するように設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#193→【▼】【▲】で「なし」「発着信時」「着信時」「発信時」を選ぶ**→【決定】**
(→「なし」以外を選んだときは**【はい】**)

「発着信時」※：すべての通話を録音

「着信時」：かかってきた電話を録音

「発信時」※：かけた電話を録音

※ 発信時に、親機の受話器を取った時点、子機の**【外線】**を押した時点から何秒後に録音開始するかを、**【▼】【▲】**で「2秒後」「5秒後」「10秒後」から選び、**【決定】**を押します。

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#137→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ**→【決定】**

着信鳴り分け	電話帳のグループ、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに呼出音を変えることができます。

【機能】→#135→【▼】【▲】でグループ(1～9)・非通知・公衆電話・表示圏外を選ぶ **→【決定】→【▼】【▲】**で「登録する」を選ぶ **→【決定】→【▼】【▲】**で呼出音を選ぶ **→【決定】**

- 解除するときは「登録しない」にしてください。
- 電話帳のグループを登録してください。(40ページ)
- 電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、「親機で呼出音を変える」(64ページ)で設定した呼出音が鳴ります。

着信読み上げ	誰からかかってきたかを音声でお知らせします。(お買い求め時：電話帳登録)

【機能】→#182→【▼】【▲】で「あり」「電話帳登録」「なし」を選ぶ**→【決定】**

「あり」：親機の電話帳のフリガナ、電話帳に登録されていない場合は電話番号を読み上げ。

「電話帳登録」：親機の電話帳のフリガナのみ読み上げ。

- 解除するときは「なし」にしてください。
- 詳しくは(59ページ)

グループ読み上げ	かかってきた電話のグループの名前を音声でお知らせします。(お買い求め時：なし)

【機能】→#028→【▼】【▲】で「あり」を選ぶ**→【決定】→** 59ページ「グループ読み上げについて」の手順**4**からの操作を行う

- 解除するときは「なし」にしてください。
- 「着信読み上げ」が「あり」または「電話帳登録」のときのみ働きます。

非通知着信	非通知の電話に出ないよう設定します。(お買い求め時：拒否しない)

【機能】→#184→【▼】【▲】で「拒否しない」「拒否する」を選ぶ**→【決定】**

「拒否する」：非通知の電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ⑩(75ページ)が流れます。

公衆電話着信	公衆電話からの電話に出ないよう設定します。(お買い求め時：拒否しない)

【機能】→#186→【▼】【▲】で「拒否しない」「拒否する」を選ぶ**→【決定】**

「拒否する」：公衆電話からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ⑪(75ページ)が流れます。

表示圏外着信	表示圏外の電話に出ないよう設定します。(お買い求め時：拒否しない)

【機能】→#18 7→【▼】【▲】で「拒否しない」「拒否する」を選ぶ**→【決定】**

「拒否する」：表示圏外からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ⑫(75ページ)が流れます。

「0120・0800」着信	「0120」「0800」で始まる番号の電話に出ないよう設定します。(お買い求め時：拒否しない)

【機能】→#190 →【▼】【▲】で「拒否しない」「拒否する」を選ぶ**→【決定】**

「拒否する」：「0120」や「0800」で始まる番号から電話がかかってくると、呼出音が鳴らずに、「0120拒否中」や「0800拒否中」と表示されます。相手にはメッセージ⑬(75ページ)が流れます。

未登録番号着信	親機の電話帳に未登録の相手からの電話を受けない時間帯を設定します。(お買い求め時：拒否しない)

【機能】→#188 →【▼】【▲】で「拒否しない」「拒否する(時刻設定)」を選ぶ**→【決定】**

「拒否する(時刻設定)」：開始時刻と終了時刻を24時間方式(深夜12時は「00:00」)で入力 **→【決定】→【はい】**

- 親機の電話帳に未登録の相手からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ⑬(75ページ)が流れます。
- 解除するときは「拒否しない」にしてください。

迷惑電話着信拒否 (300件まで)	特定の相手からの電話に出ないよう設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#136 →【▼】【▲】で「あり(電話番号設定)」「なし」を選ぶ**→【決定】**

「あり(電話番号設定)」：**【▼】【▲】**で登録・修正する番号を選ぶ **→【新規登録】**または**【修正】→** 電話番号を入力(5～20ケタまで) **→【決定】**

- 拒否した相手からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ⑭※(75ページ)が流れます。光回線などに接続する機器によっては、相手に呼出音(プルル・プルル…)が流れることがあります。
- すべて解除するときは「なし」にしてください。
- 個別に解除するときは
  【機能】→#136 →【▼】【▲】で「あり(電話番号設定)」を選ぶ**→【決定】→【▼】【▲】**で解除する番号を選ぶ**→【消去】→【はい】**
- Fネットの番号「161」も登録して拒否することができます。

※ メッセージは「迷惑拒否メッセージ」(下記)で変更することができます。

迷惑拒否メッセージ	迷惑電話着信拒否で流すメッセージを設定します。(お買い求め時：メッセージ1)

【機能】→#139 →【▼】【▲】で「メッセージ1」「メッセージ2」「話し中」を選ぶ**→【決定】**

- 「メッセージ1」はメッセージ⑭、「メッセージ2」はメッセージ⑤が流れます。(75ページ)
- 「話し中」にすると、話し中の音(プープープープー)が相手に聞こえます。

迷惑電話着信拒否リスト印刷(最大4枚印刷)	迷惑電話着信拒否に登録された電話番号を印刷します。

【機能】→#042 →【決定】

迷惑ブロックの解除	迷惑ブロックの設定を解除します。

【機能】→#170 →【決定】→【はい】

着信拒否の履歴保存	着信拒否された相手の電話を履歴に残すよう設定します。(お買い求め時：しない)

【機能】→#185 →【▼】【▲】で「する」「しない」を選ぶ**→【決定】**

おやすみ特定着信（9件まで）	おやすみモードのとき、特定の相手からの電話に、呼出音を鳴らして受けるよう設定します。（お買い求め時：なし）

【機能】→#1893→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

「あり」：**【▼】【▲】**で空き番号を選ぶ →**【新規登録】→【▼】【▲】**で相手を選ぶ →**【登録】**

- 親機の電話帳に登録している相手のみ登録できます。
- 登録した相手からかかってくると、呼出音が鳴り、留守番電話が応答します。ファクスは自動的に受信します。
- すべて解除するときは「なし」にしてください。
- 個別に解除するときは
  【機能】→#1893→【▼】【▲】で「あり」を選ぶ**→【決定】→【▼】【▲】**で解除する番号を選ぶ**→【消去】→【はい】**

接続機器の設定

子機増設	子機を登録します。

【機能】→#123→【▼】【▲】で子機の番号を選ぶ

- 詳しくは（84ページ）

子機減設	子機の登録を解除します。

【機能】→#178→【▼】【▲】で番号を選ぶ

- 詳しくは（85ページ）

中継アンテナ設定	中継アンテナを登録します。

【機能】→#101→【▼】【▲】で「減設」「増設」を選ぶ

- 詳しくは（84ページ）

ワイヤレスアダプター設定	ワイヤレスアダプター機能付きテレビドアホンを登録します。

【機能】→#164→【▼】【▲】で「減設」「増設」を選ぶ

- 詳しくは（78ページ）

ドアホン設定	ドアホンを使わなくなったとき設定します。（お買い求め時：自動）

【機能】→#160→【▼】【▲】で「自動」「なし」を選ぶ→**【決定】**

ドアホン名前	ドアホンの名前を登録します。

【機能】→#086→【▼】【▲】で登録するドアホンを選ぶ→**【決定】**→ 名前を入力（全角6文字／半角12文字まで）→**【決定】**→フリガナを確認（半角12文字まで）→**【決定】**

- 文字入力のしかた（30ページ）

ドアホンワープ	外出先でドアホンを受けます。（お買い求め時：なし）

【機能】→#162→【▼】【▲】で「なし」「留守（ワープ先設定）」「あり（ワープ先設定）」を選ぶ→**【決定】**

「留守（ワープ先設定）」「あり（ワープ先設定）」：転送先の電話番号を入力（24ケタまで）→**【決定】**

- 留守セット時のみ転送するときは「留守（ワープ先設定）」、すべて転送するときは「あり（ワープ先設定）」にしてください。
- 解除するときは「なし」にしてください。

窓／ドアセンサー設定	窓／ドアセンサーを登録します。

【機能】→#084→【▼】【▲】で「減設」「増設」を選ぶ

- 詳しくは（80ページ）

窓／ドアセンサー名	窓／ドアセンサーの名前を変更します。

【機能】→#026→【▼】【▲】で変更するセンサーを選ぶ→**【決定】→【▼】【▲】**で新しいセンサー名（25種類）を選ぶ→**【決定】**

- センサー名は下記から選ぶことができます。
  居間、洋室1、洋室2、洋室3、和室1、和室2、和室3、寝室、キッチン、廊下、階段、1階、2階、倉庫、事務所、玄関1、玄関2、勝手口、書斎、祖父母、パパ、ママ、子供1、子供2、子供3
- 「登録しない」にすると、窓／ドアが開いたときにセンサー名が表示されません。

窓／ドアセンサーエリア変更	窓／ドアセンサーのエリアを変更します。

【機能】→#025→【▼】【▲】で変更するセンサーを選ぶ→**【決定】→【▼】【▲】**で新しいエリア（エリア1～3）を選ぶ→**【決定】**

窓／ドアセンサー通知	報知レベルが「高い」に設定されたとき、外出先で窓／ドアセンサーの通知を受けます。（お買い求め時：しない）

【機能】→#085→【▼】【▲】で「しない」「留守（通知先設定）」「する（通知先設定）」を選ぶ→**【決定】**

「留守（通知先設定）」「する（通知先設定）」：通知先の電話番号を入力（24ケタまで）→**【決定】**

- 留守セット時のみ通知するときは「留守（通知先設定）」、すべて通知するときは「する（通知先設定）」にしてください。
- 解除するときは「しない」にしてください。

ドア予備報知時間（帰宅時）	報知レベルが「高い」に設定されたとき、帰宅時にドアを開けてから最大音量で報知音が鳴るまでの時間を選びます。（お買い求め時：3分）

【機能】→#0272→【▼】【▲】で「1分」「3分」「5分」を選ぶ→**【決定】**

ドア報知遅延時間（外出時）	報知レベルが「高い」に設定されたとき、外出時にドアが開いても、報知しない時間を選びます。（お買い求め時：3分）

【機能】→#0822→【▼】【▲】で「1分」「3分」「5分」を選ぶ→**【決定】**

その他の設定

保留メロディ	保留メロディを設定します。（お買い求め時：愛の挨拶）

【機能】→#0222→【▼】【▲】で「愛の挨拶」「JUPITER」「ヴァルキューレの騎行」「CANTATA」を選ぶ→**【決定】**

© 2006 Copyrights Vision Inc.

キー確認音	ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴らします。（お買い求め時：あり）

【機能】→#0588→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

文字表示サイズ切替	電話帳検索・着信履歴検索・ダイヤル・外線着信・通話時・待機時などの文字表示サイズを設定します。（お買い求め時：大）

【機能】→#0377→【▼】【▲】で「大」「ふつう」を選ぶ→**【決定】**

「大」：「ふつう」に比べて名前・電話番号などを縦・横約2倍で表示。

LCDコントラスト	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。（お買い求め時：0）

【機能】→#0522→【◀】【▶】で調整する（9段階）→**【決定】**

ダイヤルキー点灯／点滅	親機のダイヤル中や着信中、窓／ドア／人感センサーの報知中にダイヤルキーのバックライトを点灯・点滅させます。（お買い求め時：あり、点滅1）

【機能】→#0188→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

「あり」：**【▼】【▲】**で「点滅1」～「点滅4」を選ぶ→**【決定】**

- 点灯・点滅させないときは「なし」にしてください。

お知らせ時のバックライト	お知らせがあるときに液晶ディスプレイのバックライトを点灯させます。（お買い求め時：あり）

【機能】→#1655→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

- 「なし」に設定すると、お知らせがあってもバックライトが点灯しなくなります。

モデムダイヤルイン	複数の電話番号を利用するときに設定します。（お買い求め時：なし）

【機能】→#1311→【▼】【▲】で「あり（電話番号設定）」「なし」を選ぶ→**【決定】**

「あり（電話番号設定）」：**【▼】【▲】**で空き番号を選ぶ→電話番号を入力（4～20ケタまで）→**【決定】**→**【▼】【▲】**でファクス専用に「する」「しない」を選ぶ→**【決定】**

- 電話の呼び出し先を登録するときは、ファクス専用に「しない」を選んだあと、**【▼】【▲】**で親機の「呼び出す」「呼び出さない」を選ぶ→**【決定】**→**【▼】【▲】**で子機の「呼び出す」「呼び出さない」を選ぶ→**【決定】**※で設定します。

  ※ 2台以上子機があるときは続けて設定します。

- ファクス専用番号を登録するときは、ファクス専用に「する」を選んでください。

TA／スプリッタ接続	光回線（ひかり電話）、ADSLやISDN回線に接続するときに設定します。（お買い求め時：なし）

【機能】→#1722→【▼】【▲】で「あり（1）」「あり（2）」「なし」を選ぶ→**【決定】**

- 「あり（1）」に設定すると、電話の声をやや小さくして反響を抑えます。「あり（1）」でも反響が抑えられないときは、「あり（2）」に設定してください。
- ターミナルアダプター（TA）に接続すると、自動的に「あり（2）」になります。「なし」「あり（1）」になっているときは、「あり（2）」に設定してください。
- ご利用の電話回線によっては、自動的に「あり（1）」になります。

構内交換機接続	構内交換機に接続するときに設定します。（お買い求め時：なし）

【機能】→#0711→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

- 構内交換機やホームテレホンに接続するときは、「あり」に設定してください。

分割コピー	A4サイズより長い原稿の下部を次ページに印刷します。（お買い求め時：なし）

【機能】→#0911→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ→**【決定】**

- 「なし」：1ページで中断します。

携帯通話事業者選択	付加する事業者識別番号を設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#198→【▼】【▲】で「NTT東日本(0036)」「NTT西日本(0039)」「その他」「なし」を選ぶ→**【決定】**

※「NTT東日本(0036)／NTT西日本(0039)」はご購入いただいたエリアの事業者名(事業者識別番号)がどちらか1つのみ表示されます。

「その他」：事業者識別番号を入力(10ケタまで)→**【決定】**

- 解除するときは「なし」にしてください。

IP電話解除	IP電話解除番号を登録します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#199→【▼】【▲】で「あり(解除番号設定)」「なし」を選ぶ→**【決定】**

「あり(解除番号設定)」：IP電話解除番号を入力(8ケタまで)→**【決定】**

携帯番号帯設定	携帯番号帯を設定します。

【機能】→#197→【▼】【▲】で登録するNo.を選ぶ→4または5ケタの携帯番号帯を入力(消去するときはカーソルが先頭のときに**【消去】**を2秒以上押す)→**【決定】**

- 市外局番、事業者識別番号など携帯番号帯以外の番号は設定しないでください。

内線呼出	内線電話を音声で呼び出します。(お買い求め時：ベル)

【機能】→#066→【▼】【▲】で「ベル」「音声」を選ぶ→**【決定】**

あんしん応答メッセージ	あんしん応答の応答メッセージを設定します。(お買い求め時：メッセージ1)

【機能】→#081→【▼】【▲】で「メッセージ1」「メッセージ2」を選ぶ→**【決定】**

- 「メッセージ1」はメッセージ⑮、「メッセージ2」はメッセージ⑯が流れます。(75ページ)

あんしんセンサー予備報知時間	センサーオンに設定された人感センサー付子機が反応してから最大音量で報知音が鳴るまでの時間を選びます。(お買い求め時：30秒)

【機能】→#159→【▼】【▲】で「15秒」「30秒」「1分」「3分」を選ぶ→**【決定】**

あんしんセンサー通知	外出先などでセンサーオンに設定された人感センサー付子機の通知を受けます。(お買い求め時：しない)

【機能】→#119→【▼】【▲】で「する(通知先設定)」「留守(通知先設定)」「しない」を選ぶ→**【決定】**

「する(通知先設定)」「留守(通知先設定)」：通知先の電話番号を入力する(24ケタまで)→**【決定】**

- 留守セット時のみ通知するときは、「留守(通知先設定)」にしてください。
- 解除するときは「しない」にしてください。

みまもりセンサー通知	外出先などで人感センサーの反応の有無、反応した子機の番号・回数の通知を受けます。(お買い求め時：しない)

【機能】→#118→【▼】【▲】で「する(反応時)」「する(無反応時)」を選ぶ→**【決定】**→87ページ「親機でみまもりセンサー通知を設定する」の手順**3**からの操作を行う

- 解除するときは「しない」にしてください。

出荷時へ戻す	すべてお買い求め時の設定に戻します。

【機能】→#111→【はい】…→【決定】

メッセージ一覧

メッセージ番号	メッセージ内容	ページ
①	呼び出しましたが近くにおりません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	46 47
②	ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	50 70
③	ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	50
④	ただいま電話に出ることができません。ファクスをご利用の方は、おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	50

メッセージ番号	メッセージ内容	ページ
⑤	ただいま電話に出ることができません。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	50 71
⑥	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	50 70
⑦	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は送信してください。電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	50
⑧	ただいま留守にしております。ファクスをご利用の方は、おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	50
⑨	ただいま留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	50
⑩	あなたの電話番号は通知されていません。おそれいりますが、電話番号の前に「186」を付けて、おかけ直しください。	36 70
⑪	公衆電話からはおつなぎできません。おそれいりますが、公衆電話以外から、おかけ直しください。	36 70
⑫	表示圏外からの電話はおつなぎできません。	36 71
⑬	おそれいりますが、あなたの電話番号からはおつなぎできません。	71
⑭	おそれいりますが、この電話はおつなぎできません。	36 37 63 71
⑮	あんしん応答モードになっています。あなたのお名前をおっしゃってください。	37 74
⑯	失礼ですが、お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか?	74
⑰	呼び出しましたが近くにおりません。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	38
⑱	この通話は迷惑電話防止のために録音されます。ご了承ください。	38
⑲	迷惑電話にご注意ください。	38 67 68

子機の機能一覧

表の見かた

機能名	説明
登録・設定のしかた ● **【機能】**を押し、#に続けて3桁の番号を押して機能を選択します。(「#」は液晶ディスプレイに表示されません)	

● 登録・設定が終わったら、**【切】**を押してください。

機能一覧

子機の名前	子機に名前を付けます。(内線呼出時に相手側に表示)
【機能】→#0026→ 名前を入力(全角6文字/半角12文字まで)→**【決定】**→ フリガナを確認(半角12文字まで)→**【決定】** ● 文字入力のしかた(30ページ)	
呼出音設定	子機の呼出音を設定します。(お買い求め時:ベル1)
【機能】→#0054→**【変更】**→**【▼】【▲】**で「ベル1」~「ベル8」、「JUPITER」「ヴァルキューレ」「CANTATA」「クルミ割り人形」を選ぶ →**【決定】** ● 詳しくは(65ページ)	
オフフック応答	充電器から取るだけで電話を受けるよう設定します。(お買い求め時:なし)
【機能】→#0009→**【▼】【▲】**で「あり」「なし」を選ぶ →**【決定】**	
エニーキーアンサー	どのキーを押しても電話を受けます。〔**【▼】【▲】【◀】【▶】【切】【機能】、【1】~【3】**(ワンタッチダイヤル)以外〕(お買い求め時:あり)
【機能】→#0064→**【▼】【▲】**で「あり」「なし」を選ぶ →**【決定】** **「なし」**:**【外線】**、**【スピーカーホン】**で電話を受けます。	
キー確認音	ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴らします。(お買い求め時:あり)
【機能】→#0058→**【▼】【▲】**で「あり」「なし」を選ぶ →**【決定】**	
保留通知音	保留中、4秒ごとに「ピーッ」と鳴らします。(お買い求め時:あり)
【機能】→#0069→**【▼】【▲】**で「あり」「なし」を選ぶ →**【決定】**	

クイック通話

充電器から取るだけで電話をかけるよう設定します。(お買い求め時：なし)

【機能】→#0088→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ **→【決定】**

着信鳴り分け

電話帳のグループ、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに呼出音を変えることができます。

【機能】→#1355→【▼】【▲】でグループ(1～9)・非通知・公衆電話・表示圏外を選ぶ **→【決定】→【▼】【▲】**で呼出音を選ぶ **→【決定】**

- 解除するときは「登録しない」にしてください。
- 電話帳のグループを登録してください。(42ページ)
- 電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、「子機で呼出音を変える」(65ページ)で設定した呼出音が鳴ります。
- 子機で着信鳴り分けを設定すると、子機の呼出音が遅れて鳴り始めることがあります。

着信読み上げ

誰からかかってきたかを音声でお知らせします。(お買い求め時：あり)

【機能】→#1822→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ **→【決定】**

「あり」：親機の「着信読み上げ」(70ページ)の設定に従います。

音声モニター

留守応答中に応答メッセージや相手の声がスピーカーで聞こえるように設定します。(お買い求め時：あり)

【機能】→#0744→【▼】【▲】で「あり」「なし」を選ぶ **→【決定】**

電話帳登録

電話帳に登録します。

【機能】→#2000→ 42ページ「電話帳に登録する」の手順**3**からの操作を行う

電話帳転送

子機の電話帳の内容を親機または別の子機に転送します。

【機能】→#1433→ 43ページ「子機の電話帳を親機または別の子機へ転送する」の手順**3**からの操作を行う

電話帳全消去

子機の電話帳の内容をすべて消去します。

【機能】→#1144→【決定】→【はい】

グループの名前

電話帳のグループの名前を登録・修正します。

【機能】→#0229→【▼】【▲】で登録・修正するグループを選ぶ **→【決定】→**名前を入力(全角6文字／半角12文字まで) **→【決定】**

- 文字入力のしかた(30ページ)

子機増設

子機を登録します。(先に親機の設定が必要です)

【機能】→#1123→【登録】

- 詳しくは(84ページ)

子機減設

子機の登録を解除します。

【機能】→#1178→【決定】→【はい】

出荷時へ戻す

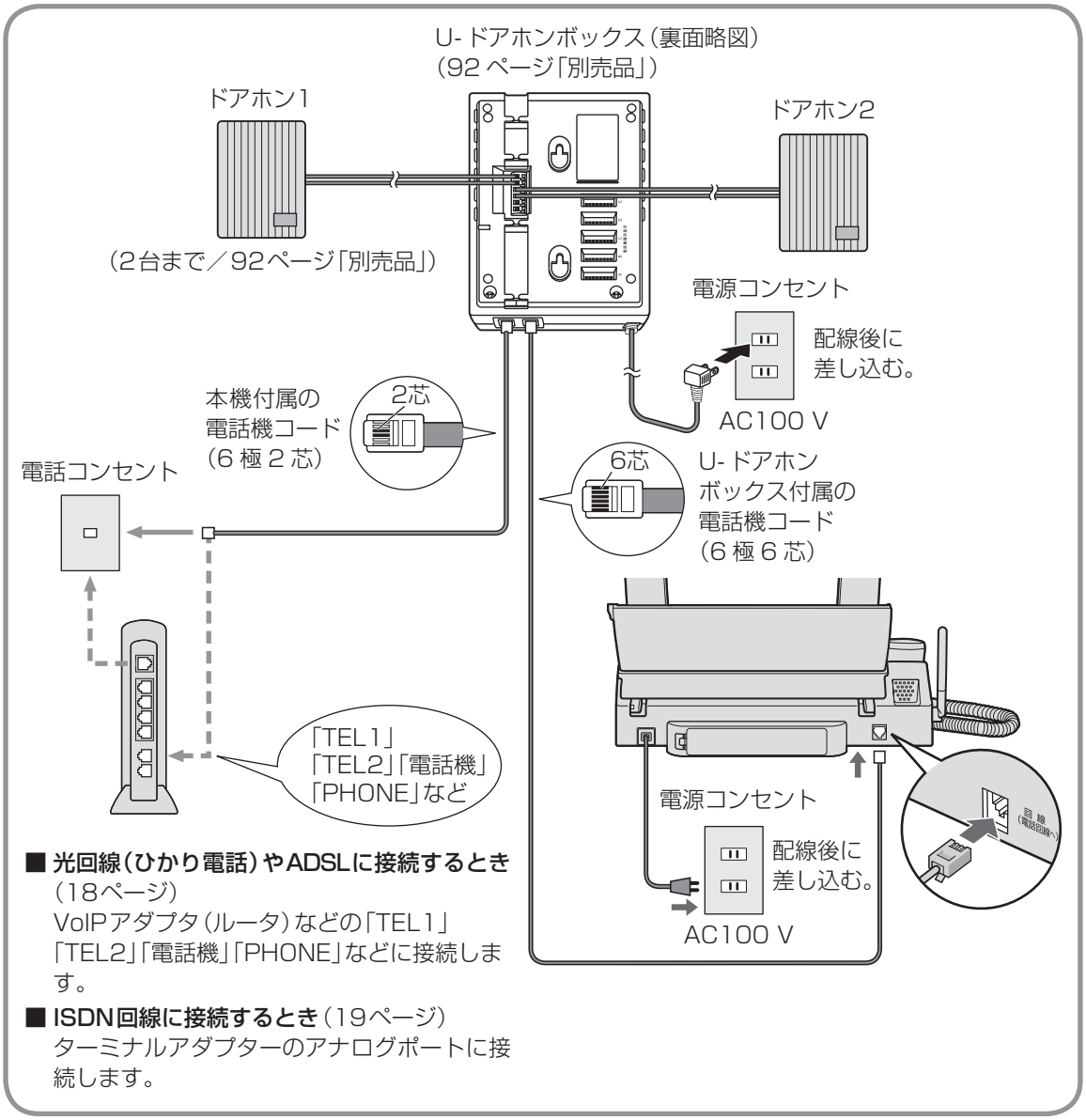
すべてお買い求め時の設定に戻します。

【機能】→#1111→【決定】→【はい】…→【決定】

ドアホンを接続する

U-ドアホンボックスを使ってドアホンを接続する

ワイヤレスアダプター機能付きテレビドアホンの場合は、別売品のU-ドアホンボックスを使わず、ワイヤレスで本機とドアホン親機を接続できます。(78ページ)
接続できるドアホンなど、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。



■ **光回線(ひかり電話)やADSLに接続するとき**(18ページ)
VoIPアダプタ(ルータ)などの「TEL 1」「TEL2」「電話機」「PHONE」などに接続します。

■ **ISDN回線に接続するとき**(19ページ)
ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。

■ **接続後、ドアホンの呼出ボタンを押し、親機または子機が鳴ることを確認してください。**
ドアホン1を押すと「ピーンポーン」、ドアホン2を押すと「ピンポーン ピンポーン」と鳴ります。ドアホンを一度押さないと、本機からドアホンに呼びかけられません。

■ **取付工事と接続については、U-ドアホンボックスの取扱説明書をお読みください。**
テレビドアホンに接続するときは、テレビドアホンの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- ホームテレホンに接続するとき、ドアホン機能は使えません。U-ドアホンボックスを使ったドアホンと、ワイヤレスアダプター機能を使ったドアホンは同時に接続できません。

ドアホン・テレビドアホンの接続をやめるとき（親機での操作）

1 **【機能】**→#160を押す

2 **【▼】【▲】**で「なし」を選び、**【決定】**を押す

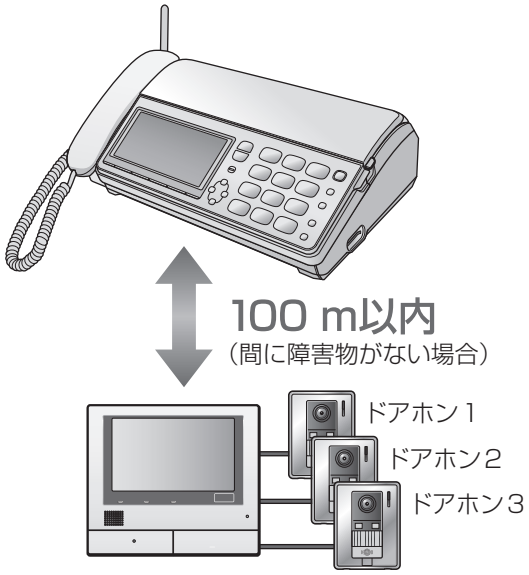
3 **【ストップ】**を押す

お知らせ

- 再度ドアホンに接続するときは、上記の手順**2**で「自動」に設定したあと、接続してください。

ワイヤレスアダプター機能を使ってドアホンを接続する

ワイヤレスアダプター機能付きテレビドアホンを使うと、別売品のU-ドアホンボックスを接続しなくても、ドアホンとの通話ができます。（音声のみ）接続できるドアホンなど、詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。



ワイヤレスアダプター機能付き
テレビドアホン
（カラーカメラドアホンモニター P5）

登録する

■ 親機でドアホン親機を登録する

- 親機・ドアホン親機で登録操作中は、電話機コードを抜いてください。

1 **【機能】**→#164を押す

2 **【▼】【▲】**で「増設」を選び、**【決定】**を押す
- U-ドアホンボックスを使ったドアホン接続は、自動的に解除されます。

続けて、2分以内にドアホン親機を操作してください。

■ ドアホン親機で登録する

3 トップメニューで［設定／情報］をタッチする

4 ［設定を変更］→［登録／減設］→［登録］→［ワイヤレスアダプター機能］をタッチする
- 登録が完了すると「登録完了」と表示されます。

5 登録が終わったら［終了］を押す
- 登録後は、設置場所で電波状態を確認してください。（テレビドアホンの取扱説明書をお読みください）

■ 登録後、ドアホンの呼出ボタンを押し、親機または子機が鳴ることを確認してください。

ドアホン1を押すと「ピーンポーン」、ドアホン2を押すと「ピンポーン ピンポーン」、ドアホン3を押すと「ポーン ポーン ポーン」と鳴ります。ドアホンを一度押さないと、本機からドアホンに呼びかけられません。

お知らせ

- 中継アンテナを設置するとき
  - ドアホン親機とファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
  - 設置できる中継アンテナの台数は、本機とテレビドアホン全体で2台までです。
  - 本機で登録する番号とテレビドアホンで登録する番号は、違う番号にしてください。（同じ番号にすると使えません）
- ワイヤレスアダプター機能を使ったドアホンと、U-ドアホンボックスを使ったドアホンは同時に接続できません。
- 接続できるワイヤレスアダプター機能付きテレビドアホン（ドアホン親機）は1台のみです。
- 本機は無線通信に1.9 GHz帯を使用しています。2.4 GHz 帯を使用しているテレビドアホンには接続できません。

テレビドアホンの接続をやめるとき

■ 親機で登録を消す

1 **【機能】**→#164を押す

2 **【▼】【▲】**で「減設」を選び、**【決定】**→**【はい】**を押す

3 減設が終わったら、**【ストップ】**を押す

■ ドアホン親機で減設する

4 トップメニューで［設定／情報］をタッチする

5 ［設定を変更］→［登録／減設］→［減設］→［ワイヤレスアダプター機能］→［はい］をタッチする

6 減設が終わったら［終了］を押す

ドアホンに出る

来客があったときに親機で受ける

1 呼出音が鳴ったら、受話器を取り、話す

2 終わったら受話器を戻す

来客があったときに子機で受ける

1 呼出音が鳴ったら、**【内線】**を押し、話す

2 終わったら**【切】**を押す

親機で電話中に来客があったとき

■ 電話を切って出る

1 受話器を戻し、電話を切る

2 受話器を取り、来客と話す

■ 電話を保留して出る

1 **【保留】**を押す
- 電話は保留され、ドアホンの呼出音が鳴ります。

2 **【内線】**を押し、来客と話す

3 **【内線】**を押し、電話に戻る
- ドアホンとの通話が終わり、保留が解除されます。

子機で電話中に来客があったとき

■ 電話を切って出る

1 **【切】**を押し、電話を切る

2 **【内線】**を押し、来客と話す

■ 電話を保留して出る

1 **【保留】**を押す
- 電話は保留され、ドアホンの呼出音が鳴ります。

2 **【内線】**を押し、来客と話す

3 **【外線】**を押し、電話に戻る
- ドアホンとの通話が終わり、保留が解除されます。

親機でドアホンと通話中に、かかってきた電話を受ける

1 受話器を戻し、ドアホンとの通話を切る

2 受話器を取り、電話の相手と話す

子機でドアホンと通話中に、かかってきた電話を受ける

1 **【切】**を押し、ドアホンとの通話を切る

2 **【外線】**を押し、電話の相手と話す

親機からドアホンに呼びかける

1 **【内線】**を押す

2 **【▼】【▲】**で呼びかけるドアホンを選び、**【決定】**を押す
- 7（ドアホン1）～9（ドアホン3）を押して選ぶこともできます。

3 受話器を取り、呼びかける

子機からドアホンに呼びかける

1 **【内線】**を押す

2 **【▼】【▲】**で呼びかけるドアホンを選び、**【決定】**を押す
- 7（ドアホン1）～9（ドアホン3）を押して選ぶこともできます。

3 呼びかける

お知らせ

- 次のことは、できません。
  - 子機のスピーカーホンでのドアホン通話
  - ドアホンとの通話を（子機や親機に）まわす。
  - 留守セット中、来客者の声を録音する。
  - ファクス送受信中のドアホン通話。（親機の呼出音は鳴ります）
  - ドアホンとの通話を録音する。
- 相手と交互に話してください。（同時に話すと途切れることがあります）

外出先から携帯電話などでドアホンに出る（ドアホンワープ）

ドアホンからの呼び出しを、自動的に携帯電話などに転送します。

- トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機に転送してください。

準備

- 「ドアホンワープ」（72ページ）を設定してください。

1 ドアホンが鳴ると、家から電話がかかります

外出先で電話に出る
- 電話に出ないと約50秒で電話が切れます。

2 メッセージに従い、30秒以内に#（2回）を押す
- 家に人がいて、本機でドアホンに出たときは、メッセージが流れ、電話が切れます。

3 来客と話す

4 終わったら✱→#を押し、電話を切る

お知らせ

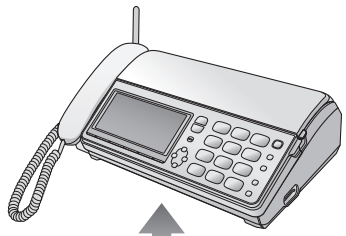
- 転送するたびに、転送先までの電話料金がかかります。
- 電話回線がプッシュ回線のとき、ドアホン呼出から約15秒後に電話がかかってきます。(ダイヤル回線は時間がかかるため、お勧めできません)
- フリーダイヤルの番号には転送できません。
- ホームテレホンや構内交換機、ターミナルアダプターなどに接続していると、転送できないことがあります。
- 終わるときに[✳]→[#]を押すと、トーン信号(ピッポッパッ)がドアホンの相手にも聞こえます。

窓／ドアセンサーを接続する

市販品の開閉センサー※／ドアセンサーを接続すると、親機や子機で窓／ドアの開閉状態を確認できます。また、窓／ドアが開いたときに親機と子機が音と表示でお知らせします。

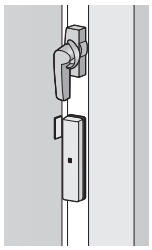
※ 窓センサーの機能を使うには、開閉センサーをお買い求めください。本書の操作説明では、「開閉センサー」を「窓センサー」と記載しています。

- 詳しくは当社ホームページをご確認ください。
  2016年10月現在、Panasonic製の下記の品番がご利用になれます。
  開閉センサー：KX-HJS100-W(1個入)
  KX-HJS100W-W(2個入)
  ドアセンサー：ECID20A
- 開閉センサー(窓センサー)／ドアセンサーの接続は14台まで。
- 3つのエリア(エリア1～3)に分けて管理できます。

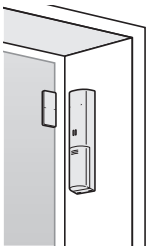


100 m以内
(間に障害物がない場合)

開閉センサー
- 窓センサーとして使います。



ドアセンサー



お知らせ

- 開閉センサー／ドアセンサーの取扱説明書と合わせて、よくお読みください。

登録する

親機で窓／ドアセンサーを登録する

- 親機・窓／ドアセンサーで登録操作中は、電話機コードを抜いてください。

1 **【機能】**→[#][0][8][4]を押す

2 **【▼】【▲】**で「増設」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で登録するセンサーを選び、**【決定】**を押す

4 **【▼】【▲】**で設置するエリア(エリア1～3)を選び、**【決定】**を押す
- エリアはあとで変更できます。(72ページ「窓／ドアセンサーエリア変更」)

5 **【▼】【▲】**で登録するセンサー名を選び、**【決定】**を押す
- センサー名はあとで変更できます。(72ページ「窓／ドアセンサー名」)

続けて、2分以内に窓／ドアセンサーを操作してください。

窓／ドアセンサーで登録する

6 モード切替スイッチを「モード1」にする

7 電池を入れ、2分以内に登録ボタンを3秒以上押す
- 電池を入れても「ピッ」と鳴らないときは、窓／ドアセンサーの取扱説明書をお読みください。
- 「ピッ　ピッ　ピッ」のあと「ピー」と約1秒間鳴ったら登録完了です。

お知らせ

- 初めて窓／ドアセンサーを登録したときは、報知レベルは「低い」に設定されます。82ページ「報知レベルを設定する」で変更できます。

接続をやめるとき(親機での操作)

1 **【機能】**→[#][0][8][4]を押す

2 **【▼】【▲】**で「減設」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で使わなくなるセンサーを選び、**【決定】**を押す

4 **【はい】**を押す

5 **【ストップ】**を押す
- 使わなくなった窓／ドアセンサーは、電池を外してください。(誤動作の原因)

動作について

窓／ドアセンサー報知時の動作は報知レベルによって変わります。

お知らせ

- 報知音が鳴っているときは、外線・ドアホンからの呼び出しがあっても呼出音は鳴りません。
- 報知音が鳴っているときに他の窓／ドアが開いたときは、あとで開いた窓／ドアセンサーに対しての動作に切り替わります。
- 報知レベルが「高い」ときの報知音は音量設定にかかわらず最大音量で鳴ります。
- 予備報知音、報知レベルが「低い」ときの報知音は、設定した音量で鳴り、呼出音切のときは「レベル1」の音量で鳴ります。

窓センサーを報知レベル「高い」または〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」で使うとき

1 報知レベルを「高い」または〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」に設定する
- 〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」に設定したときは続けて留守セットします。

2 窓が開く

親機・子機	窓センサー
開いた窓の情報が表示される	「ヒュンヒュンヒュン…」と約30秒間鳴る
親機・子機のダイヤルキーが点滅する	
報知音が「プルルルプルルル…」と最大音量で約3分間鳴る	

お知らせ

- 報知音を止めるときは、親機は**【停止】**または**【ストップ】**、子機は**【停止】**または**【切】**を押します。

ドアセンサーを報知レベル「高い」または〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」で使うとき

1 外出する前などに報知レベルを「高い」または〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」に設定する
- 〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」に設定したときは続けて留守セットします。

2 外出などのためにドアを開ける
（約3分※1報知音が鳴らない）

3 外出後にドアが開く

親機・子機	ドアセンサー
開いたドアの情報が表示される	「ピーピー」と予備報知音が約1秒間鳴る
親機・子機のダイヤルキーが点滅する	
「ピポピポ…」と予備報知音が約3分※2経過するまで、約20秒ごとにくり返し鳴る	

帰宅時にドアを開けたとき	留守中に侵入者などがドアを開けたとき

4 予備報知音が鳴っている間に報知音を止め、報知レベルを「低い」に変更する
- 〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」のときは留守解除します。

報知音が鳴らない

親機・子機	ドアセンサー
「プルルルプルルル…」と報知音が最大音量で約3分間鳴る	「ヒュンヒュンヒュン…」と約30秒間鳴る

※1 「ドア報知遅延時間（外出時）」（73ページ）で変更できます。
※2 「ドア予備報知時間（帰宅時）」（73ページ）で変更できます。

お知らせ

- 報知音を止めるときは、親機は**【停止】**または**【ストップ】**、子機は**【停止】**または**【切】**を押します。

窓／ドアセンサーを報知レベル「低い」で使うとき

1 報知レベルを「低い」に設定する

2 窓またはドアが開く

親機・子機	窓センサー	ドアセンサー
開いた窓やドアの情報が約10秒間表示される	「ピーピーピーピー」と鳴る	「ピーピー」と鳴る
報知音が「ポンポン　ポンポン」と約3秒間鳴る		

お知らせ

- 報知音を止めるときは、親機は**【ストップ】**、子機は**【切】**を押します。

報知レベルを設定する

使いかたに合わせて報知レベルを設定してください。

親機で報知レベルを設定する

1 **【窓／ドアセンサー】**を押す

2 **【▼】【▲】**で設定するエリアを選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で報知レベルを選び、**【決定】**を押す

- 閉じていない窓／ドアがあると、「確認が必要なセンサーがあります」が表示されます。**【はい】**を押し、下記「親機で開閉状態を見る」の手順**4**からの操作を行い、窓／ドアの状態を確認してください。
- 動作について（81ページ）

4 **【ストップ】**を押す

子機で報知レベルを設定する

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「窓／ドアセンサー」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「報知レベル設定」を選び、**【決定】**を押す

4 **【▼】【▲】**で設定するエリアを選び、**【決定】**を押す

5 **【▼】【▲】**で報知レベルを選び、**【決定】**を押す

6 **【切】**を押す

■ 報知レベルが〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」のとき

留守セットしているときは「高い」、留守セットしていないときは「低い」と同じ動作になります。

■ 窓／ドアセンサーの報知を解除するとき

報知レベルを「オフ」にしてください。

窓／ドアの開閉状態を見る（センサー情報）

親機で開閉状態を見る

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「センサーメニュー」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「窓／ドアセンサー情報」を選び、**【決定】**を押す

4 **【▼】【▲】**で確認するエリアを選び、**【決定】**を押す

5 **【▼】【▲】**で窓／ドアの状態を確認する

6 確認が終わったら**【ストップ】**を押す

子機で開閉状態を見る

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「窓／ドアセンサー」を選び、**【決定】**を押す

3 **【▼】【▲】**で「センサー情報」を選び、**【決定】**を押す

4 **【▼】【▲】**で確認するエリアを選び、**【詳細】**を押す

5 **【▼】【▲】**で窓／ドアの状態を確認する

6 確認が終わったら**【切】**を押す

窓／ドアの状態表示について

表示	説明
開いています	窓／ドアが開いている。
◆開◆	
閉じています	窓／ドアが閉まっている。
－閉－	
－開あり－	エリア内に開いている窓／ドアがある。
－全て閉－	エリア内の窓／ドアがすべて閉まっている。
－確認－	エリア内に圏外（電波が届いていない）や、電池交換が必要な窓／ドアセンサーがある。
圏外	通信できない窓／ドアセンサーがある。 →窓／ドアセンサーの接続を確認してください。
電池切れ	電池交換が必要な窓／ドアセンサーがある。

親機で窓／ドアが開いた履歴を見る

1 **【機能】**を押す

2 **【▼】【▲】**で「センサーメニュー」を選び、**【決定】**を押す

3 【▼】【▲】で「窓／ドア開いた履歴」を選び、【決定】を押す

4 【▼】【▲】で履歴を確認する
- 詳しい内容を確認するには【決定】を押します。

5 確認が終わったら【ストップ】を押す

親機で窓／ドアが開いた履歴を印刷する

1 【機能】を押す

2 【▼】【▲】で「センサーメニュー」を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で「窓／ドア開いた履歴」を選び、【決定】を押す

4 【リスト印刷】→【決定】を押す

外出先から窓／ドアの開閉状態を確認する

- 外出先では、トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機をお使いください。

準備
- 「留守電暗証番号」（69ページ）を設定してください。
- お出かけ前に、留守セットします。（50ページ）
  - 外出先からも留守セットできます。（54ページ）

1 家に電話をかける

2 応答メッセージ中に暗証番号を押す

3 #2を押す

窓／ドアの状態を音声でお知らせします。

4 終わったら電話を切る

外出先からできること

窓／ドアセンサー通知（右記）を設定する……#1
窓／ドアセンサー通知（右記）を解除する……#0
報知レベルを「高い」に設定する※……#4
報知レベルを「低い」に設定する※……#5
報知レベルを「オフ」に設定する※……#6
報知レベルを〈親機〉「留守（高い）」、〈子機〉「留守」に設定する※……#7

※ 外出先から報知レベルを変更すると、すべてのエリアに適用されます。

窓／ドアが開いたときに、携帯電話などに通知する（窓／ドアセンサー通知）

報知レベルが「高い」のときに窓／ドアが開くと、自動的に携帯電話などに電話がかかります。

- ドアが開いたときは、予備報知音が鳴り終わって、最大音量で報知音が鳴ったときに、電話がかかります。

準備
- 報知レベルを「高い」に設定してください。（82ページ）
- 通知先を設定してください。（72ページ「窓／ドアセンサー通知」）

1 窓／ドアが開くと、家から電話がかかる

外出先で電話に出る
- 電話に出ないときは
  - 約50秒で電話が切れます。
  - 約30秒間隔で10回、その後、約30分間隔で5回かかります。
- 「こちらは窓（ドア）センサーです。XXXの窓（ドア）が開きました」が5回流れます。
- 家の人が解除すると、電話が切れます。

2 終わったら電話を切る

お知らせ
- **通知先が自動応答する場合（留守番電話が応答したときなど）は、通知できないことがありますので、自動応答を解除しておくことをお勧めします。**
- 通知するたびに、通知先までの電話料金がかかります。
- フリーダイヤルの番号には通知できません。
- ホームテレホンや構内交換機、ターミナルアダプターなどに接続していると、通知できないことがあります。

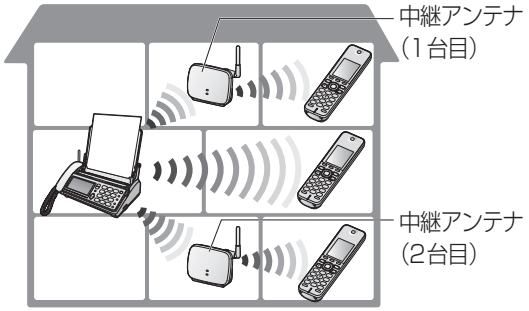
中継アンテナを使用する

子機や窓／ドアセンサーが親機から離れていたり、壁などの障害物（6ページ）があって、下記のような場合は、別売品の中継アンテナ（ﾁｭｳｹｲｱﾝﾃﾅ 3：02440633）（92ページ）を設置すると改善できることがあります。
- 子機での通話が途切れるとき。
- 子機に「圏外」と表示して使えないとき。

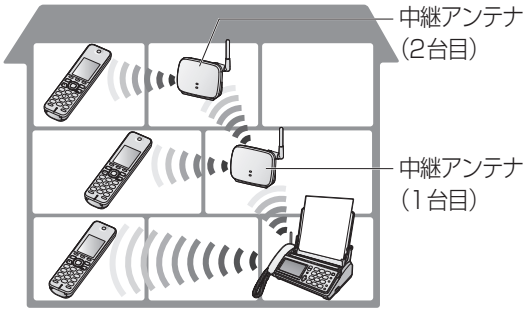
- 中継アンテナの設置は2台まで。
- 部屋の造りや壁などにより、電波の届く範囲が変わります。親機に登録したあと、中継アンテナの取扱説明書に従って適切な位置に設置してください。
- 当社指定のドアホンと組み合わせて使うときは、ドアホンの取扱説明書をお読みください。
- 本機は無線通信に1.9 GHz帯を使用しています。2.4 GHz帯を使用している中継アンテナは登録できません。

■ 中継アンテナの設置例

● 1台ずつそれぞれ単独で使う（単独接続）
親機の電波を別方向に伸ばす。



● 2台を連結して使う（連結接続）
2台の中継アンテナを連結接続して、親機の電波をより遠くまで伸ばす。



登録する

■ 親機で中継アンテナを登録する

2台目の中継アンテナを使用するときは、1台目の登録が終わってから、2台目を登録してください。

- 中継アンテナを、あらかじめ親機の近くの電源コンセントに接続してください。
- 親機・中継アンテナで登録操作中は、電話機コードを抜いてください。

1 【機能】→#101を押す

2 【▼】【▲】で「増設」を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で登録する中継アンテナの番号を選び、【決定】を押す
- 1台目を登録するときは「中継アンテナ1」を選び、手順**5**へ進みます。
- 2台目を登録するときは「中継アンテナ2」を選び、手順**4**へ進みます。

4 中継アンテナを単独で使うとき
【▼】【▲】で「単独で接続」を選び、【決定】を押す

中継アンテナを連結で使うとき
【▼】【▲】で「連結で接続」を選び、【決定】を押す

続けて、2分以内に中継アンテナを操作してください。

■ 中継アンテナで登録する

5 登録ボタンを約3秒間押す
- 電波レベル／登録ランプが緑色に点滅し、登録が完了すると点灯します。

使用をやめるとき（親機での操作）

1 【機能】→#101を押す

2 【▼】【▲】で「減設」を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で使わなくなる中継アンテナを選び、【決定】→【はい】を押す
- 連結のときは、「（遠い方）」を先に減設してください。

4 終わったら【ストップ】を押す
- 中継アンテナ側の操作は不要です。

子機を増やす（増設・減設）

別売品の子機（92ページ）を増やせます。

- 付属の子機と合わせて6台まで。
- 子機によって使える機能が異なることがあります。

新しい子機を親機に登録する

- 親機・子機で登録操作中は、電話機コードを抜いてください。
- ドアホン／電話両用タイプの子機は、「子機の内線番号を選んで登録したいとき」の操作で登録してください。（下記）

1 新しい子機を充電器から取る

2 親機の【内線】を5秒以上押す

3 2分以内に新しい子機を充電器に置く
- 内線番号の小さい順に登録されます。

子機の内線番号を選んで登録したいとき

- 親機・子機で登録操作中は、電話機コードを抜いてください。

■ 親機で操作する

1 【機能】→#123を押す

2 【▼】【▲】で登録する子機の番号を選び、【決定】を押す

続けて、2分以内に新しい子機を操作してください。

■ 新しい子機で操作する

3 【機能】→#123→【登録】を押す

子機を減らすとき（親機での操作）

準備

- 子機は十分に充電し、親機の近くに持ってきてください。

1 **【機能】→#178を押す**

2 **【▼】【▲】**で使わなくなる子機の番号を選び、**【決定】→【はい】**を押す

- 子機側の設定は不要です。

お知らせ

- 使用をやめた子機は電池パックを外してください。（誤動作の原因）
- 子機で登録を消すには（76ページ「子機減設」）
- 子機がない場合は、親機のみでも減設できます。（ただし、10秒程度時間がかかります）
  - 親機のみで減設したあと、子機側の登録を消すには（76ページ「子機減設」）

お 願 い

- 子機1を減設した状態で、本機を使わないでください。（停電時は、子機1の電池がなくなるまで、子機1で日付・時刻を保持しています）

人感センサー付子機を使う

市販品の人感センサー付子機を増やすと、人感センサーの機能が使えます。
人感センサー付子機は、侵入や盗難などを防止することを目的とした製品ではありません。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 詳しくは当社ホームページをご確認ください。
  2016年10月現在、Panasonic製の下記の品番がご利用になれます。
  人感センサー付子機：KX-FKD603-W

お知らせ

- 人感センサー付子機の取扱説明書と合わせて、よくお読みください。

新規着信をお知らせする（お知らせセンサー）

センサーが反応すると、ファクスが届いていることや新しい用件があることなどを音声でお知らせします。

- 出なかった電話があるときもお知らせします。
- 設定は、人感センサー付子機の取扱説明書をお読みください。

センサー反応をお知らせする（あんしんセンサー）

外部からの侵入者などの動きにセンサーが反応すると、音声と報知音でお知らせします。

- 音声と報知音は、本機（親機、子機）と増設した子機や別の人感センサー付子機から聞こえます。

準備

- 人感センサー付子機であんしんセンサーを設定してください。（人感センサー付子機の取扱説明書）

センサーが反応すると、「ピポピポピポン　ピポピポピポン」と予備報知音が約30秒※1経過するまで、約20秒ごとにくり返し鳴る
- 反応した子機番号を表示します。
- 親機・子機のダイヤルキーが点滅します。

①反応した子機の番号と「センサーが反応しました」の音声が最大音量で流れる※2
②「プルルルプルルル…」と報知音が最大音量で鳴る
- ①～②を8回くり返します。

※1　「あんしんセンサー予備報知時間」（74ページ）で変更できます。
※2　通話中や着信中など、音声が流れないことがあります。「あんしんセンサー通知」（86ページ）を設定しているときは、音声が流れません。

■ 帰宅時にセンサーが反応したときなど、報知音を止めるとき

① 親機は**【停止】**または**【ストップ】**、子機は**【停止】**または**【切】**を押す（報知音が止まります）

② センサーが反応しないようにするときは、人感センサー付子機であんしんセンサーを解除する

お知らせ

- お知らせセンサーが「オン」のときは、お知らせの音声が流れたあとで、あんしんセンサーが働きます。
- 窓／ドアセンサー（報知レベルが「高い」）を接続している場合、あんしんセンサー反応中に窓／ドアが開くと、あんしんセンサーの反応を終了し、窓／ドアセンサーの報知音が鳴ります。

■ 親機であんしんセンサーの反応履歴を見るには

最新の50件が表示されます。

① **【機能】→【▼】【▲】**で「センサーメニュー」を選び、**【決定】**を押す

② **【▼】【▲】**で「あんしんセンサー履歴」を選び、**【決定】**を押す

③ **【▼】【▲】**で履歴を確認する
- 詳しい内容を確認するには**【決定】**を押します。

④ 確認が終わったら**【ストップ】**を押す

■ **親機であんしんセンサーの反応履歴を印刷する**
最新の50件が印刷されます。

①【機能】→【▼】【▲】で「センサーメニュー」を選び、【決定】を押す
②【▼】【▲】で「あんしんセンサー履歴」を選び、【決定】→【リスト印刷】→【決定】を押す

センサー反応を携帯電話などに通知する（あんしんセンサー通知）

センサーが反応すると、自動的に携帯電話などに電話がかかり、反応した子機の番号を音声でお知らせします。

● 予備報知音が鳴り終わって、最大音量で報知音が鳴ったときに電話がかかります。

準備

● 「あんしんセンサー通知」を設定してください。（74ページ）
● 人感センサーの検知状況（設置場所でセンサーが反応するかどうか）を確認してください。（人感センサー付子機の取扱説明書）
● 人感センサー付子機であんしんセンサーを設定してください。（人感センサー付子機の取扱説明書）

1 センサーが反応すると、家から電話がかかる

2 外出先で電話に出る
● 電話に出ないときは
・ 約50秒で切れます。
・ 約30秒間隔で10回、約30分間隔で5回かけ直します。
● 「こちらは、あんしんセンサーです。子機3のセンサーが反応しました」が5回流れます。（人感センサー付子機が「子機3」のとき）

3 終わったら電話を切る

お知らせ

● **通知先が自動応答する場合（留守番電話が応答したときなど）は、通知できないことがありますので、自動応答を解除しておくことをお勧めします。**
● 通知するたびに、通知先までの電話料金がかかります。
● フリーダイヤルの番号には通知できません。
● ホームテレホンや構内交換機、ターミナルアダプターなどに接続していると、通知できないことがあります。

センサー反応の有無を携帯電話などに通知する（みまもりセンサー通知）

設定した曜日・時刻になると、自動的に携帯電話などに電話がかかり、センサー反応の有無、反応した子機の番号、反応回数を音声でお知らせします。
外出先から家族の状態を確認できます。

みまもりセンサーの使いかた

（使いかた例）
おばあちゃんの様子を確認できませんか？電話代も節約したいのですが。

→ 通知する内容を「する（無反応時）」に設定し、通知時刻を設定してください。人感センサー付子機を居間など、おばあちゃんがいつも居る部屋に置いてください。おばあちゃんが部屋に居ないときなど、センサーの反応がなかったときに通知します。
おばあちゃんが部屋に居てセンサー反応があることを確認したいときは、通知する内容を「する（反応時）」に設定してください。

準備

● 通知する内容・曜日・時刻や通知先を設定してください。（87ページ「親機でみまもりセンサー通知を設定する」）
● 人感センサーの検知状況（設置場所でセンサーが反応するかどうか）を確認してください。（人感センサー付子機の取扱説明書）

1 設定した曜日・時刻になると、家から電話がかかる

2 外出先で電話に出る
● 電話に出ないときは
・ 約50秒で電話が切れます。
・ 約1分間隔で3回、その後、約10分間隔で6回かけ直します。
● 「こちらはみまもり通知です。…」が3回流れます。
・ 「みまもりセンサー通知」が「する（反応時）」のときは、メッセージに従って#を押すと、反応した子機の番号と反応回数（88ページ）をお知らせします。
・ 「みまもりセンサー通知」が「する（無反応時）」のときは、「センサーの反応はありませんでした。」と流れます。
● 家の人が解除すると、電話が切れます。

3 終わったら電話を切る

お知らせ

● **停電中に、みまもりセンサーの通知時刻になった場合は、みまもりセンサー通知は働きません。**
● **通知先が自動応答する場合（留守番電話が応答したときなど）は、通知できないことがありますので、自動応答を解除しておくことをお勧めします。**
● 通知するたびに、通知先までの電話料金がかかります。
● 「する（反応時）」にしていても、センサー反応がない場合は通知しません。
● 「する（無反応時）」にしているときにセンサー反応すると通知しません。
● 通知後は、センサー反応回数は0にリセットされます。親機でリセットすることもできます。（87ページ「親機で反応回数を0にリセットする」）
● ホームテレホンや構内交換機、ターミナルアダプターなどに接続していると、通知できないことがあります。

親機でみまもりセンサー通知を設定する

1 【機能】→[#][1][1][8]を押す

2 【▼】【▲】で「する（反応時）」または「する（無反応時）」を選び、【決定】を押す
- 設定値は「みまもりセンサーの使いかた」（86ページ）
- 解除するときは「しない」を選んでください。

3 【▼】【▲】で未登録の通知先を選び、【決定】を押す

4 通知先の電話番号（24ケタまで）を入力し、【決定】を押す
- 複数の通知先を登録するときは、【一覧へ戻る】を押し、手順**3**～**4**をくり返してください。通知先を複数登録すると、1番目通知先が話し中のとき、2番目通知先、3番目通知先の順に電話をかけます。
- すべての通知先が登録されているときは手順**6**へ

5 【次へ】を押す

6 【▼】【▲】で未登録の通知時刻を選び、【決定】を押す

7 通知する時刻を24時間方式（深夜12時は「00:00」）で入力し、【決定】を押す
- 1日に3回まで通知できます。続けて通知時刻を登録するときは、【一覧へ戻る】を押し、手順**6**～**7**をくり返してください。
- すべての通知時刻を登録したときは手順**9**へ

8 【次へ】を押す

9 【▼】【▲】で通知する曜日を選び、【決定】を押す

10 【▼】【▲】で「通知する」を選び、【決定】を押す
- お買い求め時はすべての曜日が「通知する」になっていますので、通知しないときは「通知しない」を選んでください。
- 続けて通知する曜日を登録するときは、手順**9**～**10**をくり返してください。

11 終わったら【登録】を押す

12 【ストップ】を押す

お知らせ
- 通知時刻を複数設定した場合は、設定された時刻から次の時刻までの反応回数を通知します。
- 「通知しない」に設定している曜日の通知時刻には、通知は行われませんが、反応回数は0にリセットされます。

親機でみまもりセンサー通知の設定を変更する

1 【機能】→[#][1][1][8]を押す

2 【▼】【▲】で通知する内容を選び、【決定】を押す

3 【▼】【▲】で変更する通知先を選ぶ
- 消去するときは【消去】→【はい】を押し、終わるには手順**12**へ
- 通知時刻を修正するときは【時刻設定】を押し、手順**6**へ
- 曜日を変更するときは【曜日設定】を押し、手順**9**へ

4 【決定】を押す

5 電話番号を修正し、【決定】→【次へ】を押す
- すべての通知先が登録されているときは、【次へ】が表示されませんので、【決定】を押したあと、手順**6**へ

6 【▼】【▲】で変更する通知時刻を選ぶ
- 消去するときは【消去】→【はい】を押し、終わるには手順**12**へ

7 【決定】を押す

8 時刻を修正し、【決定】→【次へ】を押す
- すべての通知時刻が登録されているときは、【次へ】が表示されませんので、【決定】を押したあと、手順**9**へ

9 【▼】【▲】で変更する曜日を選び、【決定】を押す

10 【▼】【▲】で「通知する」または「通知しない」を選び、【決定】を押す

11 終わったら【登録】を押す

12 【ストップ】を押す

親機で反応回数を0にリセットする

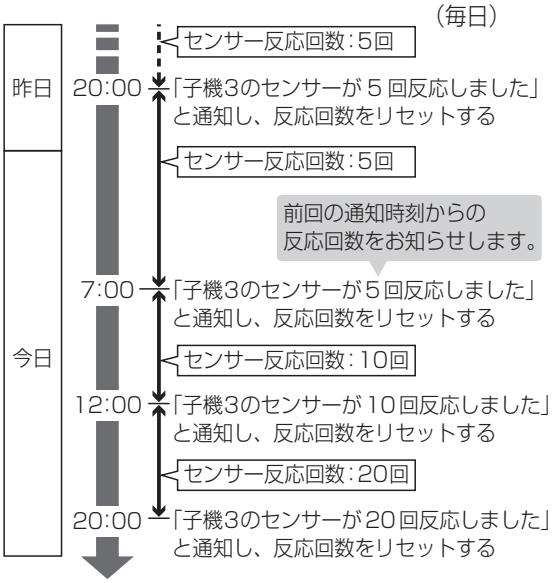
外出する前などに反応回数をリセットすると、操作した時点から次の通知時刻までの反応回数を通知させることができます。

1 【機能】→[0]を押す
- リセット操作後、約10分間は検知されません。

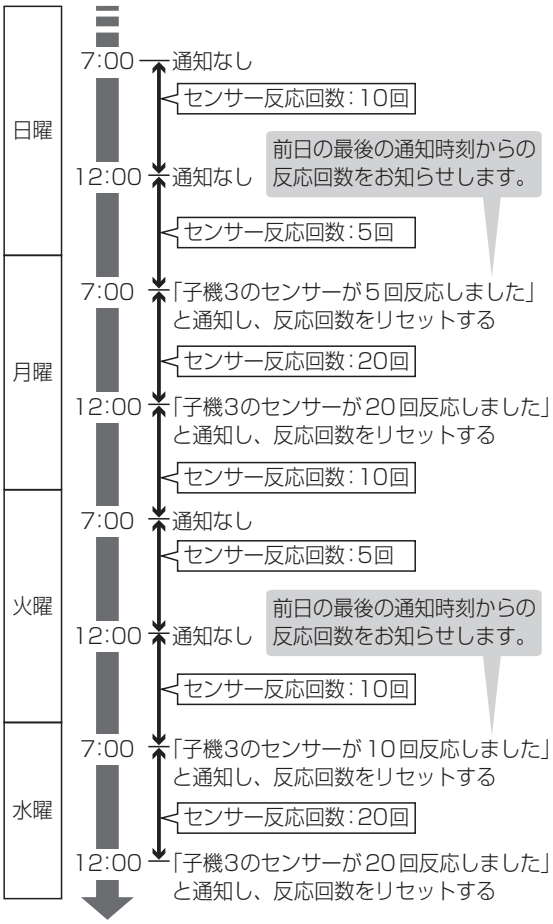
反応回数について

人感センサー付子機が「子機3」に増設されている場合

（例1）通知時刻1.....7：00　通知時刻2..... 12：00
通知時刻3...20：00　通知曜日....月曜～日曜（毎日）



（例2）通知時刻1.....7：00　通知時刻2..... 12：00
通知曜日....月曜、水曜



外出先からセンサーを設定する

「あんしんセンサー通知」の設定や「みまもりセンサー通知」の反応回数の確認ができます。

- 外出先では、トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機をお使いください。

準備

- 「留守電暗証番号」（69ページ）を設定してください。
- お出かけ前に、留守セットします。（50ページ）

1 家に電話をかける

2 応答メッセージ中に暗証番号を押す

3

あんしんセンサー通知を設定するとき
米6を押す

あんしんセンサー通知を解除するとき
米8を押す

みまもりセンサー通知の反応回数を確認するとき
米7を押す

みまもりセンサー通知の反応回数をリセットするとき
米9を押す

4 完了メッセージが聞こえたら電話を切る

お知らせ

- 反応回数の確認やリセットは、みまもりセンサー通知が「する（反応時）」または「する（無反応時）」の場合のみ設定できます。

停電のとき電話をかける／受ける（簡易停電通話）

停電のときは、親機の電池パックを使って、親機の受話器で電話をかけたり、受けたりすることができます。ファクス・コピー・留守番電話など、その他の機能は使えません。（「迷惑防止」「迷惑ブロック」「携帯通話設定」の機能は働きません）

- お買い求め時は、親機のみ簡易停電通話ができます。子機で電話をかけたり、受けたりするには、設定が必要です。（67ページ「停電時動作」）

お願い

- 停電に備えて、必ず親機に電池パックを入れておいてください。（14ページ）
  電池パックを入れると、充電を開始し、停電時の電源になります。

お知らせ

- 光回線をご利用の方など、親機と電話コンセントの間にVoIPアダプタなどの接続機器が接続されている場合は、停電のときに接続機器が動作しないため、簡易停電通話ができません。

■ 充電完了(約10時間)したあとの使用時間のめやす(使用環境温度が20 ℃のとき)

連続通話時間：約1時間
待受時間※　：約24時間
(停電時動作の設定：親機のみ)
約5時間
(停電時動作の設定：親機・子機)

※ 呼出音が鳴ったり、通話をすると、短くなります。

- 親機の電池がなくなると、子機の電池が残っていても子機での通話もできません。

お知らせ

- 親機の受話音量は小さい音量になります。
- 停電中は、親機の液晶ディスプレイやランプは消えます。受話器を取ったときに液晶ディスプレイが表示されないときは、電池残量がありません。
- 通話中や保留中に停電になったときは、電話が切れます。
- 親機の電池パックの電池残量が残りわずかになると、受話口から約4秒ごとに「ピピッ」音が聞こえます。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき
  - 相手の名前や電話番号を表示します。(58ページ)
  - 非通知着信、公衆電話着信、表示圏外着信、「0120・0800」着信、迷惑電話着信拒否、未登録番号着信の拒否する設定は働きません。
- モデムダイヤルインサービスの機能は働きません。親機の呼出音が鳴ります。子機の簡易停電通話が使えるように設定しているときは、子機の呼出音も鳴ります。
- 停電復旧時に『4「読み上げダイヤル」の設定／解除』、『5「見てから印刷」の設定／解除』(17ページ)が始まる場合があります。

お手入れ

お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

- キーロックを使うと(64ページ)、電源コードをコンセントから抜かずに操作パネルをふくことができます。

お 願 い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因)

親機のお手入れ

柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

■ 親機の内部のお手入れ

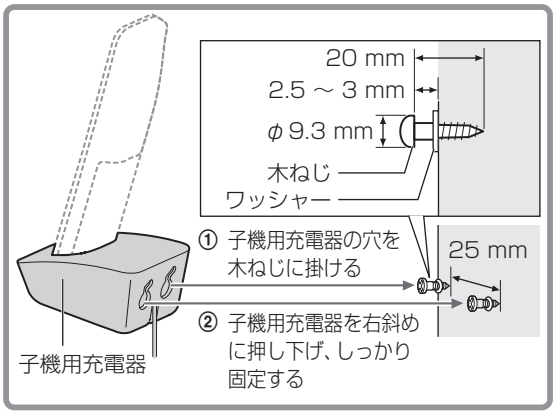
月に一度は、記録紙送りローラーと記録紙の給紙ローラーをお手入れしてください。(96・97ページ)

子機・充電器のお手入れ

乾いた布で、からぶきしてください。

子機を壁(柱)に掛ける

付属品の「壁掛け用木ねじ・ワッシャー」(8ページ)で子機用充電器を壁掛けできます。



⚠ 注意

■壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

落下による、破損やけがの原因

- 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付ける。

壁掛寸法のめやす

仕様

● 本機は下記の使用環境でお使いください。

使用環境	温度5 ℃ ～ 35 ℃ 湿度45 % ～ 85 %

親機

電源	AC100 V（50 Hz／60 Hz）
消費電力	待機時　：約0.7 W 最大時　：約120 W（A4サイズ全黒原稿をコピー時） コピー時：約17 W 送信時　：約10 W 受信時　：約17 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約86 × 296 × 210 mm （受話器・突起部除く） 約256 × 296 × 240 mm （記録紙トレーオープン時、受話器・突起部除く）
質量	約2.4 kg（お試し用インクフィルム5 m装着時）
適用回線	電話回線（ダイヤル回線・プッシュ回線） 新電電（NCC）回線・ファクシミリ通信網
直流抵抗値	320 Ω※1
形式	送受信兼用G3機
原稿サイズ	定型サイズ：A4～A5 最大：幅210 mm × 長さ500 mm 最小：幅128 mm × 長さ128 mm
有効読取幅	208 mm（A4）
記録紙サイズ	A4：210 mm × 297 mm（普通紙）
有効記録幅	202 mm（A4）
電送時間※2	約15秒（独自モード）
通信速度	9600／7200／4800／2400 bps 自動切替（フォールバック機能）
写真（ハーフトーン）	64階調
走査線密度	主走査：8ドット／mm 副走査：7.7本／mm（小さい） 3.85本／mm（ふつう）
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
データ圧縮方式	モディファイドハフマン（MH）・独自
見てから印刷	解像度：横×縦（ドット数） 320×160
留守番電話	応答メッセージ：デジタル録音方式 オリジナルメッセージ（約20秒、2件） 固定内蔵メッセージ（2件） 留守番録音　：デジタル録音方式 合計録音時間：最大約12分

■ 停電時通話

電源	専用ニッケル水素電池 （DC2.4 V）（630 mAh）
使用時間	連続通話時間：約1時間※3 待受時間 ：約24時間（停電時動作を「親機のみ」に設定しているとき）※3 約5時間（停電時動作を「親機・子機」に設定しているとき）※3
充電時間	約10時間※4

■ 対応カード（SDメモリーカード）

対応カード種類	SDメモリーカード※5　：8 MB～2 GB SDHCメモリーカード※6：4 GB～32 GB SDXCメモリーカード※7：48 GB～64 GB
フォーマット	SDメモリーカード：FAT16／FAT12 SDHCメモリーカード：FAT32 SDXCメモリーカード：exFAT
記録方式	画像情報：JPEG方式、TIFF方式 音声情報：WAVE（μ-Law）方式
最大記録容量	受信ファクスなどの画像情報 （64 GB SDXCメモリーカード時） ：約50,000枚※8、1,000件 通話録音などの音声情報 （64 GB SDXCメモリーカード時） ：約2,000時間、1,000件 電話帳 ：10ファイル、1,500件

■ 本体メモリー容量のめやす

音声	用件録音・通話録音・伝言メッセージの合計 最大約12分、最大件数50件
	迷惑防止の録音（録音されるたびに上書き） 最大約10分、件数1件
画像	メモリー受信 最大約50枚※8

● 写真や文字の多い原稿は保存できる枚数が少なくなります。
例）A4サイズの新聞を画質「ふつう字」で受信：最大約8枚

● SDカード容量について（55ページ）

コードレス子機

電源	専用ニッケル水素電池 (DC2.4 V)(630 mAh)
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	約173×49×25 mm
質量	約140 g(電池パック含む)
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用時間	連続通話時間:約10時間※3 待受時間　　:約150時間※3
充電時間	約10時間※9
使用可能距離	約100 m／見通し距離

子機用充電器

電源	AC100 V(50 Hz／60 Hz)
消費電力	待機時:約0.2 W(子機を子機用充電器から外しているとき) 充電時:約0.7 W
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	約47 × 73 × 90 mm
質量	約155 g

※1　直流抵抗値が300 Ωを超えておりますので、電話をかけることができない場合は、販売店にご相談ください。
※2　電送時間:A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85本／mm)で高速モード(9600 bps)で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容・相手機種・回線状態により異なります。
※3　充電完了した状態で、使用環境温度が20 ℃のとき。
※4　使用環境温度が20 ℃のとき。
※5　miniSDカード、microSDカードも使えます。(専用アダプターが必要)
※6　miniSDHCカード、microSDHCカードも使えます。(専用アダプターが必要)
※7　microSDXCカードも使えます。(専用アダプターが必要)
※8　A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85本／mm)で受信したときの枚数です。
※9　使用環境温度が20 ℃、電源電圧がAC100 Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

- 認証番号は、商品に記載しております。
- 外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

商標について

- フリガナの読み上げには、株式会社 アクエストの音声合成ライブラリ「AquesTalk」を使用しています。「AquesTalk」は、株式会社 アクエストの日本国での登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QuickTime は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

別売品／消耗品について

別売品

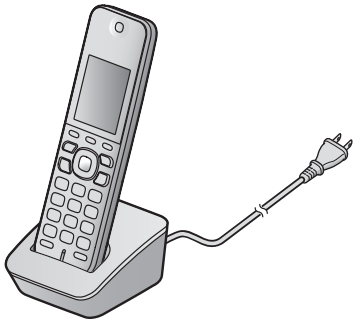
より便利にお使いになるための別売品が用意されています。別売品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■増設用子機

子機は、最大6台まで使うことができます。
増設用の子機には、充電器がセットされています。

1.9Gホームコードレス子機「P2」

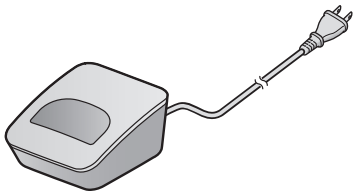
本機に付属の子機と同じものです。



■充電器

付属の充電器以外の場所で子機を充電できるようになります。

1.9Gホームコードレス子機「P2」充電器



■ドアホン／U-ドアホンボックス

ドアホンが2台まで接続できます。玄関や勝手口などで来客との応答ができる各種ドアホンを用意しています。

■中継アンテナ

親機と子機の距離が離れていたり、壁などの障害物で、子機での通話が途切れるときは、中継アンテナをご利用ください。

中継アンテナ3

消耗品

NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

消耗品については、お買い求めになった販売店にお申し付けください。

インクフィルムについては、**NTT東日本 サプライセンタ（0120-86-8289）**または下記のウェブサイトからもご注文いただけます。
http://web116.jp/ced/

NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、九州地区）でご利用のお客様

消耗品については、**NTT西日本 サプライ商品受付センタ（0120-86-8289）**またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。
下記のウェブサイトからもご注文いただけます。
http://flets-w.com/solution/support/

■記録紙

記録品質への悪影響および故障の原因となることがあります。当社指定の記録紙以外はご使用にならないでください。

普通紙A4

［A4サイズ（250枚1組）］

Panasonic製普通紙ファクス用記録紙
［A4サイズ（250枚1組）］もご使用できます。

品番：KX-FAN150A4

■インクフィルム

ファクシミリ用P形A4インクリボン（11）

Panasonic製インクフィルム（15m）もご使用できます。

品番：KX-FAN190（15m）

ファクシミリ用P形A4インクリボン（14）

- ファクシミリ用P形A4インクリボン（11）を2本セットした商品です。

■電池パック

親機や子機の電池パックを交換するときにご利用ください。

電池パック－P2

Panasonic製電池パックもご使用できます。

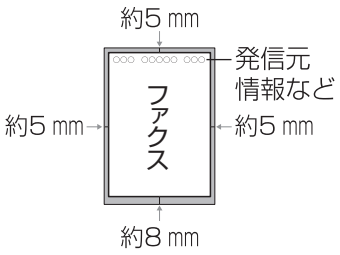
品番：KX-FAN57

ファクスの印刷・原稿・記録紙について

ファクスの印刷について

■ 印刷可能範囲

- 網の部分は印刷されません。



- 発信元情報などを印刷するため、約92 %（縦方向）に縮小されます。原寸で受けたいときは、「エコノミー受信」を「あり（2）」または「なし」にしてください。（69ページ）
- A4サイズより大きなファクスを受信したときは、A4サイズに縮小されます。
- 文字などが薄いときは「受信印字濃度」を調整してください。（69ページ）

原稿について

原稿が2枚以上のときは、同じサイズ・厚さで先端をそろえてください。

■ サイズ

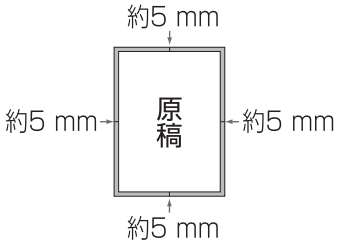
- 最大：幅210 mm×長さ500 mm
- 最小：幅128 mm×長さ128 mm

■ 厚さ

- 1枚のとき　　0.06～0.2 mm
- 2枚以上5枚以下　0.06～0.13 mm

■ 読み取り可能範囲

- 網の部分は読み取れません。



■ 次のような原稿は、別の複写機でコピーしてください。

- 薄い紙（0.06mm未満のもの）
- 厚い紙（0.2mmを超えるもの）
- 布地・金属シート
- のりやセロハンテープで貼り合わせたもの
- 幅128mm×長さ128mmより小さいもの
- 破れ・しわ・カールや折り目のあるもの
- フィルムやトレーシングペーパーのようなもの
- 表または裏がコーティングされているもの
- 感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの
- パンチ穴が開いているもの
- こしが強いもの

■ こんなときは

- クリップやホッチキスは、取り外してください。
- インク・のり・修正液は、完全に乾かしてからファクス・コピーしてください。
- 白や黒い線が入るときは、原稿読取部の汚れをふき取ってください。（96ページ）

■ 次のものはコピー禁止です

- 通貨・証券類・未使用の郵便切手類（切手、はがきなど）・印紙・酒税法で規定の証書類など（法律で禁止されています）
- 著作権の対象となっている書籍類・芸術作品類・地図など（個人的な使用以外は法律で禁止されています）

記録紙について

■ 以下のコピー用紙を使用してください。

- A4サイズ
- 64～75 g/m^2
- 消耗品（92ページ）

■ セットするとき

- 印刷中に追加しないでください。
- 厚さの異なる紙を入れないでください。

■ 次のような記録紙は使わないでください。（紙詰まりの原因）

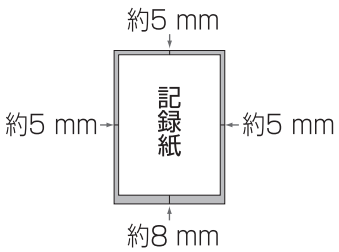
- 破れている
- 折り目、しわがある
- 広告などの裏面
- 丸く反っている
- すでに片面を印刷した紙
- 湿気の多い場所に置いていた紙

■ 本機で印刷済みの記録紙は

- 印刷面を下にして文字を書かないでください。（インクがテーブルや紙に写る原因）
- 他のコピー機やプリンターの用紙として使わないでください。（他機の故障や紙詰まりの原因）

■ 印刷可能範囲

- 網の部分は印刷されません。



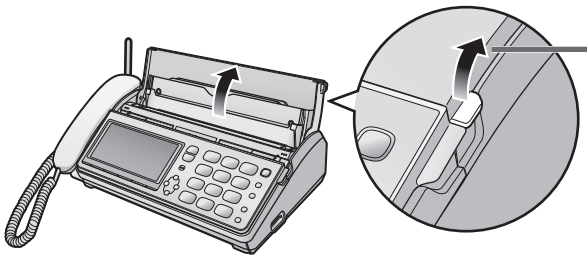
■ こんなときは

- 表面がざらざらしている記録紙は、文字がかすれるので、滑らかな記録紙を使用してください。

記録紙をセットする

印刷・コピーするときに記録紙をセットしてください。

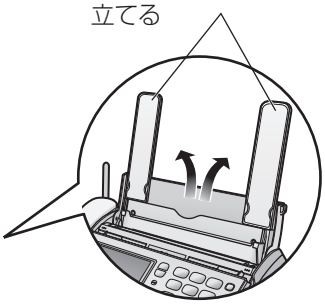
- ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーを閉めておいてください。(ほこりによる記録紙詰まりの原因)
- 印刷・コピーするときは必ず記録紙スタンドを立ててください。(記録紙詰まりの原因)



1 記録紙トレーを開ける

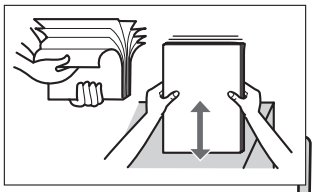
2 記録紙スタンドを立てる

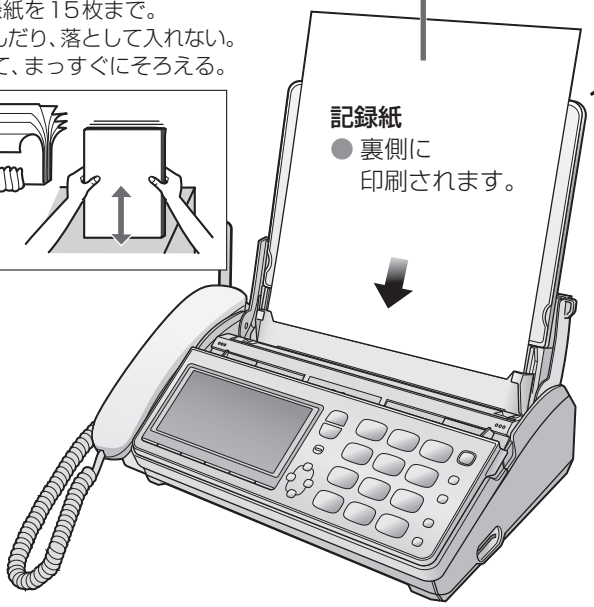
手前側の記録紙スタンドを先に立てる



3 記録紙をゆっくり入れる

- A4記録紙を15枚まで。
- 押し込んだり、落として入れない。
- さばいて、まっすぐにそろえる。

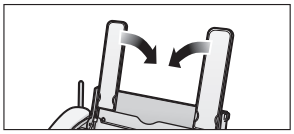




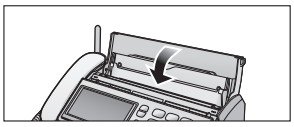
■記録紙トレーを閉めるとき

① 記録紙を取り出し、
記録紙スタンドをたたむ。

- 左右のどちら側からもたためます。



② 記録紙トレーを閉める。

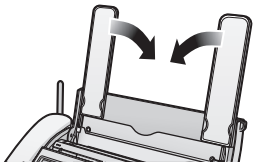


お願い

- 本機は、なるべく風のあたらない場所に設置してください。(風があたって記録紙が手前に倒れたりすることがあります)
- 記録紙を追加するときは、残っている記録紙を一度取り出してから、一緒に入れ直してください。(そのまま追加すると、紙が詰まったり、重なって印刷されたりします)

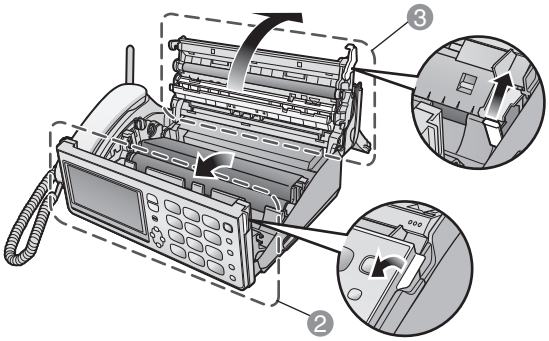
白や黒の線などが入るとき

記録紙や相手の受信用紙に白い線・黒い線・黒い点が入るときは、内部の汚れをふき取ってください。



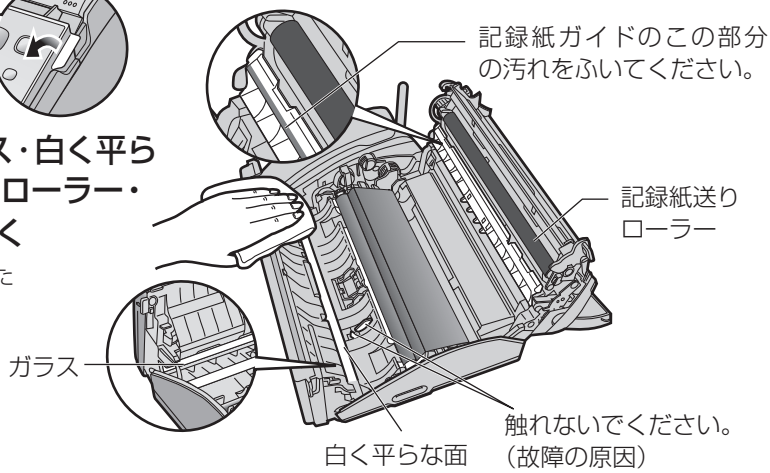
1 電源コードを抜き、残っている記録紙を取り出し、記録紙スタンドをたたむ

- 左右のどちら側からもたためます。



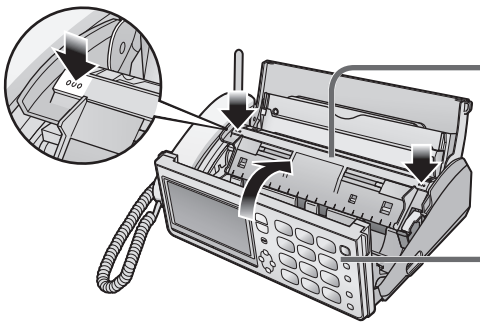
2 操作パネルを開ける

3 緑色のレバーを上げ、バックカバーを開ける



4 原稿読取部（ガラス・白く平らな面）・記録紙送りローラー・記録紙ガイドをふく

- 水を含ませて固く絞った布でふいてください。



5 「カチッ」と音がするまで両端の「○○○」の部分を押してバックカバーを閉める

6 操作パネルを閉めて電源コードを接続する

7 記録紙をもう一度セットし直す（95ページ）

お知らせ

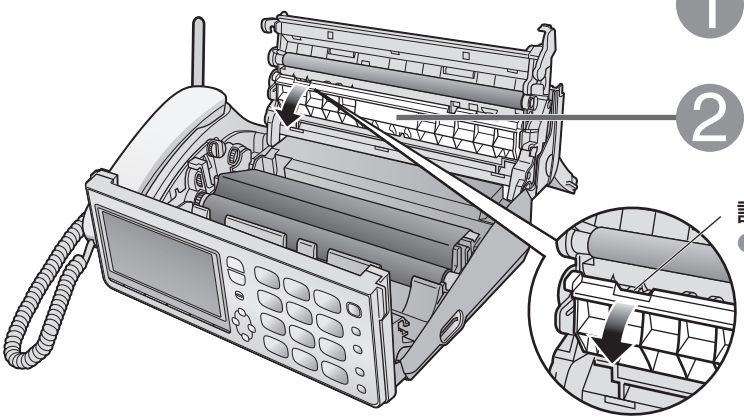
- お手入れ後も記録紙が汚れるときは、通信相手の問題も考えられます。相手の原稿またはファクスの読取部が汚れていないか、確認してもらってください。

お 願 い

- ガラス部分は指で触れないでください。（汚れの原因）
- お手入れ後は、コピーして線が入らないことを確認してください。
- 通信相手に問題がなく、お手入れ後も汚れるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店までご相談ください。

記録紙が詰まったとき

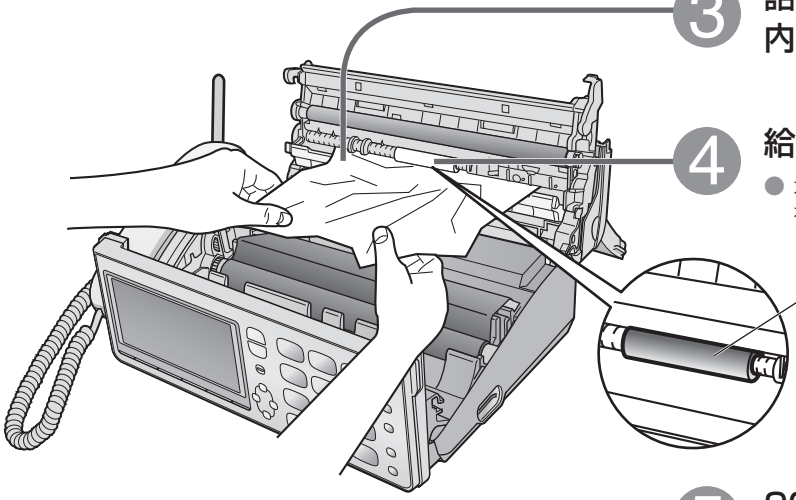
記録紙を取り除いたあと、給紙ローラーの汚れをふき取ってください。



1 96ページの手順1～3を行う

2 記録紙ガイドを開ける

記録紙ガイド
- 指をかけて下方向に開けます。



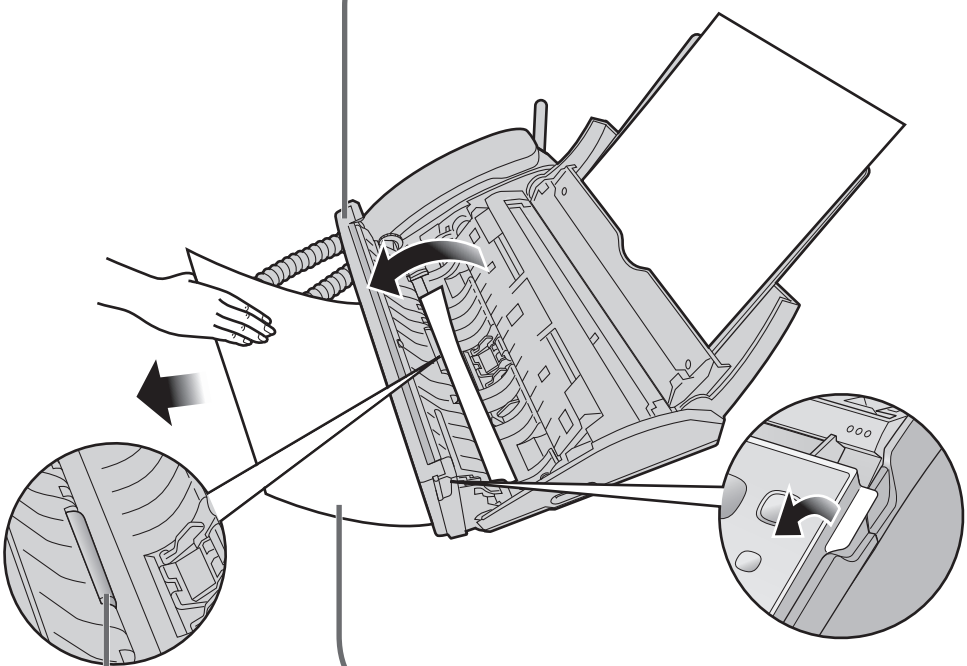
3 詰まった記録紙を内側から取り除く

4 給紙ローラーをふく
- 水を含ませて固く絞った布でふいてください。

給紙ローラー

5 96ページの手順5～7を行う

原稿が詰まったとき



1 操作パネルを開ける

2 詰まった原稿を
取り除く

3 原稿送りローラーをふく

- 水を含ませて固く絞った布でふいてください。

4 操作パネルを閉める

困ったとき

電話

電話をかけられない

- 電話の回線種別を確認し、手動で設定し直してください。(17ページ)
- 電話機コードの接続を確認してください。(16ページ)
- キーロックの設定を解除してください。(64ページ)

受話器から「ツー」音が聞こえない

- 受話器コード(受話器側・親機側)をしっかり奥まで差し込んでみてください。(16ページ)

携帯電話にかけられない

- 「携帯通話設定」を設定している場合、携帯電話にかけられないことがあります。
  → 固定電話事業者の事業者識別番号を正しく登録してください。(25ページ)
  → 固定電話事業者の事業者識別番号を入力するとき、識別番号のあとに**【留守】**(ポーズ)を入れてお試しください。(25ページ)
  → ひかり電話ご利用時は、「携帯通話設定」を解除してください。(25ページ)
  → IP電話回線ご利用時は、IP電話解除番号を正しく登録してください。(26ページ)
  • それでもかけられないときは、固定電話やIP電話の各事業者にお問い合わせください。

184や186を付けてかけたい

- 1 8 4(または1 8 6)→親機は**【留守】**、子機は**【ポーズ】**※を押したあと、電話番号をダイヤルしてください。
  ※**【外線】**を押してからダイヤルするときは**【▶】**

フリーダイヤル、天気予報、184や186を付けてかけられない

- IP電話などで使用しているとき、ポーズ(親機は**【留守】**、子機は**【ポーズ】**※)を入れるとかからないことがあります。そのときは、ポーズを入れないでください。(上記・40・42・60ページ)
  ※**【外線】**を押してからダイヤルするときは**【▶】**
- IP電話などで使用しているとき、当社との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。(17ページ)
  • それでもかけられないときは(18ページ)

着信履歴を確認しても、日時のみが表示され、相手の電話番号が表示されない

- 着信履歴には電話がかかってきた日時のみが記憶されます。(39ページ「不在着信確認」)

読み上げダイヤルが働かない

- 通話録音、前から録音、フル録音(35ページ)、迷惑防止(37ページ)の録音中・保存中は、読み上げダイヤルが働きません。

電話を受けられない

- 構内交換機に接続しているときは、「構内交換機接続」の設定を「あり」にしてください。(73ページ)
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは、親機で下記の操作を行ってください。
  【機能】→#1 3 3→**【▼】【▲】**で「自動」を選ぶ→**【決定】**→**【ストップ】**
- ダイヤルインサービス(PB信号方式)を契約しているときは、モデムダイヤルインサービスに変更してください。(有料)(63ページ)

キャッチホンの操作をすると、元の相手との通話が切れたり、切り替わらないことがある

- お客様がご使用されている電話回線と、かかってくる電話回線の種類によっては、キャッチホンが正常に働かなかったり、キャッチホン操作をすると元の通話の相手との通話が切れたりします。詳しくは、回線の事業者にご相談ください。

親機から「ピーピー」と音がする

- 受話器を上げたままにしていませんか?
  → 受話器を戻してください。

電話を保留したら、電話が切れた

- 電話をまわす操作は、通話時間表示になったあとに行ってください。(電話に出てから10秒以内に操作すると、電話が切れることがあります)

通話

通話中、自分の声が相手に聞こえない

- 受話器や子機の送話口を指や顔などでふさいでいませんか？（13ページ）
- 液晶ディスプレイに「ミュート」が表示されていませんか？（子機のみ）
  → ミュートを解除してください。（35ページ）

相手の声が途切れたり、雑音が入る

〈子機〉

- 親機から離れすぎていませんか？（6ページ）
  → 子機を親機に近づけてください。
- 親機との間に金属やコンクリート壁など、障害物がありませんか？（6ページ）
  → 場所を移動して通話してください。移動できないときは、別売品の中継アンテナの設置をご検討ください。（83ページ）
- 子機のアンテナ部に指を置いたり、手で覆っていませんか？
  → アンテナ部を手で覆わないようにしてください。（13ページ）

〈親機・子機〉

- 「エコーサプレッサー」を「弱い」または「オフ」に切り替えてください。（お買い求め時：標準）
  親機で下記の操作を行ってください。
  【機能】→#031→【▼】【▲】で「弱い」または「オフ」を選ぶ**→【決定】→【ストップ】**

しばらく話していると、だんだん相手の声が聞こえにくくなる

- 耳の位置から受話器や子機の受話口がずれていませんか？
  → 受話口の位置を耳に合わせ直してください。（13ページ）
- 「エコーサプレッサー」を「弱い」または「オフ」に切り替えてください。（お買い求め時：標準）
  親機で下記の操作を行ってください。
  【機能】→#031→【▼】【▲】で「弱い」または「オフ」を選ぶ**→【決定】→【ストップ】**

自分の声が反響する、エコーがする

- 「TA／スプリッタ接続」を「あり（2）」に設定してください。（73ページ）
  すでに「TA／スプリッタ接続」が「あり（2）」の場合は、「エコーサプレッサー」を「強い」に設定してください。
  親機で下記の操作を行ってください。
  【機能】→#031→【▼】【▲】で「強い」を選ぶ**→【決定】→【ストップ】**
- 受話器で通話をしている場合は、受話音量を下げてください。（65ページ）

子機を充電器から取り、しばらくすると「ピピッ」と鳴り始める

- クイック通話に設定されています。
  →【切】を押すか、充電器に置いてください。

受話器で相手の声が大きすぎる

- 受話音量を小さくしてください。（65ページ）
- 「受話器音響保護」を「あり」に設定すると、大きな音が入ったときに適度な音量へ下げることができます。
  親機で下記の操作を行ってください。
  【機能】→#070→【▼】【▲】で「あり」を選ぶ**→【決定】→【ストップ】**

子機の充電

充電器に置いても、「充電中」と表示されない

- 電池パックが新品、または電池の残量が少なくなっていませんか？
  → 数分間、子機を充電器に置いたままにしておくと表示されます。
- 電源コードが電源コンセントから外れていませんか？
  → しっかり取り付けてください。（20ページ）

充電完了まで充電しても、通話数分後に が点滅する

- 電池パックの寿命です。交換してください。（20ページ）

充電時間が長い（約10時間充電しても、「充電完了」と表示されない）

- 途中で子機を使用したりすると、充電時間が長くなります。
- 使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。（91ページ）
- 親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くかかります。
  → 親機の電源コードをつなぎ、「圏外」の表示が消えるまで子機を親機に近づけてから充電してください。（20ページ）

ファクス送受信

ファクスを送信できない

- 相手が非通知電話を拒否に設定していませんか？
  → 電話番号を通知して送信してください。（58ページ）
- 光回線（ひかり電話）やADSLに接続しているときは（18ページ）
- 相手機によっては、「あなたの電話番号」を設定しないと送信できないことがあります。
  →「あなたの電話番号」を設定してください。（66ページ）
- キーロックの設定を解除してください。（64ページ）

ファクスを受信できない

- 記録紙やインクフィルムがなくなっていませんか？
  → 記録紙やインクフィルムを入れてください。（15・95ページ）
- 光回線（ひかり電話）やADSLに接続しているときは（18ページ）
- 電話に出て「ポーポー」音がしたとき、そのまま切っていませんか？
  → 電話を切る前にファクスを受ける操作をしてください。（46ページ）
- 「見てから印刷」に設定されていると印刷されません。
  → 受信した内容を見て、必要であれば印刷してください。（47・48ページ）
  → 常に印刷する場合は「見てから印刷」を解除してください。（45ページ）
- 本体のファクスメモリーがいっぱいになっていませんか？（記録紙とインクフィルムがセットされているときやSDカードに受信するときでも、本体のファクスメモリーがいっぱいのときは、受信できません）
  → 不要なファクスを消去してください。（48ページ）
- 相手の原稿や画質によっては、途中までしか受信できないことがあります。
  → 相手に画質設定を下げて送ってもらってください。

184や186を付けてファクスを送信できない

- ADSLに接続しているときは、当社との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。（17ページ）
  - それでも送信できないときは（18ページ）

ファクスを海外へ送信できない

- 電話回線のノイズが多いなど、送信しにくいことがあります。
  → 送信前に「海外送信」の設定を「1回」にしてください。（69ページ）

Fネットからのファクスを受信できない

- Fネットの契約が16 Hzのときや Fネットに加入していないときは、ナンバー・ディスプレイの「迷惑電話着信拒否」に「161」を登録すると受信できません。（71ページ）

メモリー受信されている内容を消去したい

- 1件ずつまたは、すべて消去できます。（消去した内容は、あとから印刷できません）（48ページ）

B4サイズやA3サイズのファクスを受信するとどうなる？

- およそA4サイズになります。ファクス通信の決まりで、送信側のファクスが縮小して送る仕組みです。（一部のファクスは除きます）（93ページ）

ファクスを送る際、ダイヤルした番号と違う番号が表示される

- 送信先のファクスに登録されている相手の電話番号が表示されています。
  → 正しくダイヤルしていれば問題ありません。

印刷

コピーできない

- 記録紙やインクフィルムがなくなっていませんか？
  → 記録紙やインクフィルムを入れてください。（15・95ページ）
- キーロックの設定を解除してください。（64ページ）

同じ内容が何度も印刷される

- 印刷中に記録紙がなくなると、記録紙を補充しても、再度、最初のページから印刷されます。印刷するときは、記録紙を多めに（15枚）セットしてください。（95ページ）
- 印刷中に記録紙がなくなったときは、「ファクスを表示する」（47ページ）でファクスを表示させてから、「■ 印刷する」（48ページ）で、続きのページを印刷することができます。

記録紙が重なって（ずれて）印刷される

● 記録紙が正しくセットされていますか？
→ 記録紙はさばいてからセットしてください。（なるべく15枚）
記録紙を追加するときなどは、残っている記録紙を一度取り出してから一緒に入れ直してください。（95ページ）

● 親機内部の給紙ローラーが汚れていませんか？
→ 汚れをふき取ってください。（97ページ）

メモリー受信時、記録紙やインクフィルムを入れても印刷しない

● 電源コードを抜き、10秒以上待ってから電源コードを接続し、再度操作してみてください。

受けたファクスが縮小される

● お買い求め時はA4が約92 %（縦方向）に縮小されます。
相手の原稿サイズや送りかた（B5サイズ横向きなど）によっては、さらに縮小されます。（93ページ）

受けたファクスがかすれている

● 相手の原稿の文字などが小さかったり、細かったり、薄いとかすれます。
→ 表面が滑らかな記録紙を使ってみてください。（94ページ）
→「受信印字濃度」を「濃く」に変更してみてください。（69ページ）
→「エコノミー受信」の設定を「あり（2）」または「なし」にしてみてください。（69ページ）
→ 相手に画質設定を変えて送ってもらってください。

受けたファクスやコピーに白や黒い線・黒い点が入ったり、文字がつぶれたりする

● 記録紙送りローラーまたは記録紙ガイドが汚れていませんか？
→ 汚れをふき取ってください。（96ページ）

● ファクス受信中にキャッチホンの信号が入った。
→ 再度送ってもらってください。

相手に送ったファクスに白や黒い線が入ったり、文字がつぶれたりする

● ガラスと白く平らな面が汚れていませんか？
→ 汚れをふき取ってください。（96ページ）

● ファクス送信中にキャッチホンの信号が入った。
→ 送り直してください。

記録紙が詰まる

● 親機内部の給紙ローラーが汚れていませんか？
→ 汚れをふき取ってください。ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーを閉めておいてください。（95・97ページ）

留守番電話

留守番電話の応答メッセージが流れない

● 自作応答メッセージが無音で録音されていませんか？
→ 録音し直す、または固定メッセージに戻してください。（50・69ページ）

【留守】を押しても、留守セット／留守解除／用件再生ができない

● 受話器を上げたまま操作していませんか？
→ 受話器を戻して操作してください。

外出先から留守番電話を操作できない

● 次の内容を確認してください。
- トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機からかけていますか？（53ページ）
- 暗証番号を登録していますか？（69ページ）

留守ランプが点滅している

● 留守セット中で、下記の場合に点滅します。
- 新しい用件が録音されたとき。（49ページ）
- 伝言メッセージが録音されたとき。（54ページ）

→ 用件を再生してください。（50・52ページ）

用件が録音の途中で切れている

● 録音中に6秒以上無音が続く、または相手の声が小さいと録音が切れます。
→ メッセージは続けて話す、または大きめの声で話すよう、相手に伝えてください。

留守セットすると留守番電話に録音できないメッセージが聞こえる

● メモリーがいっぱいになっていませんか？
→ 留守番電話の用件・通話録音・伝言メッセージを再生したあと、不要な用件などを消去してください。（50・52ページ）

録音した日付・時刻が「1月1日（金）0:00」や「1／1　0:00」と表示される

● お買い求め時または停電などで日付・時刻が初期値に戻っています。
→日付・時刻を合わせてください。（66ページ）

SDカード

本体メモリーに保存され、SDカードに保存できない

● 下記の場合は本体メモリーに録音されます。
- SDカードの空き容量がないとき。（54ページ）
- SDカードが装着されていないとき。（55ページ）
- SDカードがフォーマットされていないとき。（56ページ）
- SDカードが書き込み禁止になっていたとき。（55ページ）

マルチメディアカードは使えますか？

● 使えません。

呼出音

呼出音が鳴らない

● 呼出音量が「切」になっていませんか？
→音量を調節してください。（65ページ）
● おやすみモードの設定をしていませんか？
→親機の[✱]を3秒以上押して解除してください。
● 子機の電池が切れていませんか？（子機が鳴らないとき）
→充電してください。（20ページ）
● モデムダイヤルインで呼び出し先の設定をしていますか？
→呼び出し先に設定してください。（73ページ）

呼出音が鳴り出すのが遅い

● 無鳴動受信の設定をしていませんか？（47ページ）
→かかってきたのが電話かファクスかを判断するため、少し遅く鳴り始めます。

在宅時、電話に出るまで呼出音を鳴り続けるようにしたい

● 「在宅呼出回数」の設定を「自動応答しない」にしてください。（67ページ）

無鳴動受信に設定しても呼出音が鳴る

● 次の場合は、無鳴動受信でも呼出音が鳴ります。（47ページ）
- 電話がかかってきたとき。
- 留守セット中。（留守ランプ点灯）
- 本体のファクスメモリーがいっぱいのとき。
- 相手が受話器を取って手動でダイヤルし、ファクスを送信したとき。

● かけてきた相手の回線や接続機器によっても鳴ることがあります。

ドアホンの呼出音が鳴らない

● 「ドアホン設定」が「なし」になっていませんか？
→設定を「自動」にしてください。（72ページ）
● おやすみモードの設定をしていませんか？
→親機の[✱]を3秒以上押して解除してください。
● 6極6芯コードと6極2芯コードが逆になっていませんか？
→配線を確認してください。（77ページ）
● 本機とU-ドアホンボックス、またはワイヤレスアダプター機能付きテレビドアホン本体の電源プラグを差し込み直してください。（77・78ページ）

ナンバー・ディスプレイ

かけてきた相手の電話番号を表示しない

- 当社との契約が済んで、当社側の工事が完了していますか？
  → 当社窓口（116）にお問い合わせください。
- 構内交換機・ホームテレホンに接続していると表示できません。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは、親機で下記の操作を行ってください。
  【機能】→#133→【▼】【▲】で「自動」を選ぶ**→【決定】→【ストップ】**
- キャッチホン・ディスプレイサービスの契約をしているときに、「キャッチホン・ディスプレイ」の設定が「なし」になっていませんか？
  → 設定を「あり」にしてください。（57ページ）
- ISDN回線でご使用の場合、ターミナルアダプターの設定を確認してください。（19ページ）
  - 直らない場合は、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。
- 相手または本機がIP電話サービスに加入しているとき、相手の電話番号が表示されないことがあります。
  → IP電話サービス事業者にお問い合わせください。

「表示できません」（子機は「外線着信中」）と表示される

- 雑音が多いなど、電話回線の状態が悪いときに電話がかかってきています。

着信した日付・時刻が「1月 1日（金） 0：00」や「1／1　0：00」と表示される

- お買い求め時または停電などで日付・時刻が初期値に戻っています。
  → 日付・時刻を合わせてください。（66ページ）

こんなときは

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

- 下記の操作を行ってみてください。（リセット）

  〈親機〉

  1. **【ストップ】**を5秒以上押す
     - 「リセットしますか？」が表示されます。
  2. **【はい】**を押す
     - 「リセットしますか？」が表示されなかったり、手順1～2を行っても動作がおかしいときは、電源プラグを抜き、10秒以上待ってから接続し直してください。

  〈子機〉

  電池パックを外し、10秒以上待ってから電池パックを入れてください。（20ページ）

着信履歴/ファクスを見るランプが点灯している

- 電話に出られなかったとき
  → 着信履歴を見てください。（39・59・61ページ）
- ファクスをメモリー受信したとき
  → メモリー受信したファクスを見てください。（47ページ）

次々に画面が切り替わり、操作案内が流れる

- 電話機コードを接続せずに放置（約20分後）すると、デモモードになります。
  → 電話機コードをつなぐと、デモモードが解除され、電話の回線種別の自動設定が始まります。（16ページ）

親機、子機、充電器が温かい

- 異常ではありません。（夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります）
  → 異常に熱いときは、電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

親機から音が聞こえる

- 異常ではありません。（待機中に小さな音が聞こえることがあります）

親機の液晶ディスプレイが消えている

- 本機を操作しないと、節電のため、約2分後に表示が消えます。（常時表示させることはできません）
  → **【ストップ】**を押すと表示されます。

インクフィルムがなくなったときは

- ファクスを受けても印刷されません。
  → 消耗品のインクフィルムをお買い求めください。（92ページ）
- インクフィルムの交換のしかた（15ページ）

バックカバーが閉まらない

● インクフィルム交換時、使用済みの白色軸が残っていませんか？
→ 使用済みの白色軸を残したまま、新しいインクフィルムを入れると、バックカバーが閉まりません。使用済みの白色軸を取り出してからインクフィルムを取り付けてください。（15ページ）

親機でダイヤルしたときや、文字を入力したときに、番号や文字を読み上げる

● お買い求め時には、親機でダイヤルした番号や、電話帳登録・検索時に入力した文字（ひらがな・半角カタカナ）を読み上げる設定になっています。**（読み上げダイヤル）**
→ 読み上げダイヤルをやめるには
【機能】→#130→【▼】【▲】で「なし」を選ぶ→**【決定】→【ストップ】**

転居などで電話番号が変わったときは？

● 新しい電話番号を登録し直してください。（66ページ）

停電のとき使えますか？

● 簡易停電通話機能を使って、親機の受話器で電話をかけたり、受けたりすることができます。子機を使うときは設定が必要です。（88ページ）

かかってきた電話を直接転送したい

● 当社のボイスワープを利用するとできます。
→ 当社窓口（116）にお問い合わせください。（ただし、電話もファクスも区別なく転送されます）

CSデジタル放送（特定チャンネル）の画像が乱れる

● 本機※の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると、画像が乱れることがあります。
→ CS・BS 対応の受信設備をお使いください。
- 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使用してください。
- 接続ケーブルは、「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使用してください。
- 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ（CS・BS専用ケーブルに対応）を使用してください。

無線LAN経由で、パソコンやスマートフォンなどがインターネットに接続できない。接続が不安定である

● 本機※と無線LANの無線ルーターの設置位置が近いと電波がお互いの機器に影響し、接続できないことがあります。本機と無線ルーターは約3 m以上離して設置することをお勧めします。

※無線通信に 1.9 GHz帯を使用している中継アンテナなどの別売品も含みます。

こんな表示が出たら（親機）

A～Z行

SDカード内のデータが正しくありません

● SDカードに録音された用件（WAVEファイル）のフォーマットが異なるため再生できません。

ア行

相手が　U41 話し中でした ↓ しばらく待ってから送信してください

● 相手が話し中で送信できませんでした。
→ しばらく待ってから送り直してください。（28・44ページ）

相手のファクスが　U42 応答しませんでした ↓ 相手に確認してください

● 相手のファクスが応答しなかったため、送信できませんでした。
→ 相手に確認してください。

インクフィルムの交換が　U23
必要です
↓
販売店にて
お買い求めください

● インクフィルムがなくなっています。
→ 交換してください。(15ページ)
● インクフィルムが正しく入っていません。
→ インクフィルムのたるみを取り、正しく入れてください。(15ページ)

印刷できません！　U31
しばらく
お待ちください

● 本体が余分な熱を持っていて印刷できません。
→ 表示が消えるまでしばらくお待ちください。

カ行

記録紙がありません
紙を入れて　U20
やり直してください

● 記録紙が入っていません。(コピーや印刷は中止されます)
→ 記録紙を入れて操作をやり直してください。(原稿が残っているときは、操作パネルを開けて原稿を取り除いてください)
記録紙をセットしていても表示が出るときは、詰まった記録紙を取り除き、給紙ローラーの汚れをふき取ったあと、正しく入れてください。(97ページ) また、ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーを閉めておいてください。(95ページ)

記録紙づまり　U12
操作パネルとバックカバーを
開けて
↓
記録紙づまり　U12
紙を取り除いて
ください

● 記録紙が詰まっています。
→ 詰まった記録紙を取り除き、給紙ローラーの汚れをふき取ったあと、正しく入れてください。(97ページ) また、ほこりなどが中に入ると、記録紙が詰まる原因になりますので、ふだんは記録紙をセットせずに記録紙トレーを閉めておいてください。(95ページ)

原稿が残っています
[ストップ]を押して　U14
ください

● 原稿挿入口に原稿が残っています。
→ **【ストップ】**を押す。(原稿が排出されます)

原稿づまり　U13
操作パネルを開けて紙を
取り除いてください

● 原稿送りローラーが汚れていませんか？
→ 原稿送りローラーの汚れをふき取ってください。(98ページ)
● 厚い原稿を使っていませんか？
→ 決められた厚さの原稿を使ってください。(93ページ)

原稿づまり　U15
操作パネルを開けて紙を
取り除いてください

● 500 mmより長い原稿を使っていませんか？
→ 長さ500 mm以下の原稿を使ってください。(93ページ)

子機初期化エラー　H82
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● 親機に登録している子機の情報が消えています。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

サ行

充電エラー　H34
(停電用)
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● 停電用電池パックの充電エラーが発生しました。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

情報更新失敗　U92
迷惑ブロックを
解除しました
↓
トビラシステムズ(株)に
お問い合わせ
ください

● 迷惑ブロック情報(迷惑電話番号データ)を更新するサーバーに接続しましたが、更新できなかったため、迷惑ブロックを解除しました。
→ **【迷惑ブロック】→【ストップ】**を押すと表示が消えます。
→ トビラサポートセンターへお問い合わせください。

トビラサポートセンター
TEL. 050-5533-3727
受付時間：平日 10:00～17:00
・ 土日祝およびトビラシステムズ休業日は窓口も休業となります。

情報更新失敗　U94
迷惑ブロックを
解除しました

● 迷惑ブロック情報(迷惑電話番号データ)を更新するサーバーに接続できなかったため、迷惑ブロックが解除されました。
→ **【迷惑ブロック】→【ストップ】**を押すと表示が消えます。
→ フリーダイヤル、ナビダイヤルに電話をかけることができるか確認してください。IP電話などで使用しているときは、当社との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。(17ページ)
・ それでもかけられないときは、(18ページ)

送信　H40
できませんでした
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● 通信エラーで送信できませんでした。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

送信　U40
できませんでした

● 下記の原因で送信できなかったときに表示します。
→ 相手側に確認し、送り直してください。送り直す前に操作パネルを開けて原稿を取り出してください。(28・44ページ)
・ 回線状況が悪い。
・ キャッチホンの信号が入った。
・ 相手側が受信を中断した。
・ 相手側の記録紙がなくなっている。

● 海外に送信できなかったときに表示します。
→ 送信前に「海外送信」を「1回」に設定して送り直してください。送り直す前に操作パネルを開けて原稿を取り出してください。(69ページ)
・ 送信時間が通常の約2倍かかります。
・ 送信後は自動的に解除されます。(「なし」に設定)

タ行

登録できません　U72

● モデムダイヤルインで同じ番号を入力しようとしていませんか？
→ 違う番号を入力してください。(73ページ)

ナ行

ナンバー・ディスプレイに
未加入のため
迷惑ブロックは無効です

● かけてきた相手をナンバー・ディスプレイ機能で表示できないため、迷惑ブロックを利用できない状態です。
→ ナンバー・ディスプレイサービスを契約後(57ページ)、かけてきた相手をナンバー・ディスプレイ機能で表示できるようになると、表示は消えます。
→ 迷惑ブロックを利用しないときは、設定を解除してください。
【機能】→ #1701 →【決定】→【はい】

ハ行

ハードウェアエラー　H33
電話機コードを
外してください
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● ハードウェアエラーのため、電話回線を使用できません。
→ 親機から電話機コードを外して、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

バックカバーを　U10
閉めてください

● バックカバーが、きちんと閉まっていません。
→ きちんと閉めてください。

プリンターエラー　H30
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● プリンターエラーのため、印刷できませんでした。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

プロトコル エラー

● ドアホン、子機、中継アンテナ、窓／ドアセンサーを登録時、指定時間内に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。
→ 最初からやり直してください。

本体メモリーいっぱい　U82
本体メモリーに
録音できません
↓
不要な用件を
消去してください

● 留守番電話の用件・通話録音・伝言メッセージのメモリーがいっぱいになっています。
→ 用件・通話録音・伝言メッセージを再生したあと、不要な用件などを消去してください。（50・52ページ）

マ行

迷惑ブロックエラー　H91
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● 親機に登録している迷惑ブロックの利用に必要な情報が消えています。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

迷惑ブロックサービスが　U91
強制停止されました
↓
サービスの再開は
トビラシステムズ（株）に
連絡が必要です

● トビラシステムズ株式会社が迷惑ブロックを働かないようにしました。
→ 迷惑ブロックを利用しないときは、設定を解除してください。（表示が消えます）
【機能】→#1710→【決定】→【はい】
→ 迷惑ブロックを利用するには、トビラサポートセンターへお問い合わせください。

トビラサポートセンター
TEL. 050-5533-3727
受付時間：平日 10:00～17:00
- 土日祝およびトビラシステムズ休業日は窓口も休業となります。

迷惑ブロック情報の　U93
更新に失敗しました

● 迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）を更新するサーバーに接続しましたが、更新に失敗しました。
→ トビラサポートセンター（上記）へお問い合わせください。

迷惑ブロック情報の　U95
更新に失敗しました

● 迷惑ブロック情報（迷惑電話番号データ）を更新するサーバーに接続できませんでした。
→ フリーダイヤル、ナビダイヤルに電話をかけることができるか確認してください。IP電話などで使用しているときは、当社との契約に合わせて、手動で電話の回線種別を設定してください。（17ページ）
- それでもかけられないときは、（18ページ）

メモリーがいっぱい　U81
ファクス受信できません
↓
不要なファクスを
消去してください

● 本体のファクスメモリーがいっぱいになっています。
→ 本体のファクスメモリーのファクスを表示または印刷して内容を確認したあと、不要なファクスを消去してください。（47ページ）

モーターエラー　H32
↓
お買い上げ
販売店へご相談
ください

● モーターエラーが発生しました。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

ヤ行

読み取りエラー　H36
↓
お買い上げの
販売店へご相談
ください

● 原稿の読み取りができませんでした。
→ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

ラ行

録音中停電　U83

● 留守番電話の用件録音中などに停電になり、録音が止まりました。迷惑防止の録音を保存中に停電した場合は、保存をやり直してください。
→ **【ストップ】**を押す。（表示が消えます）

こんな表示が出たら（子機）

ア行

親機に接続
できません

● 子機が親機から離れすぎていませんか？（6ページ）
→ 親機に近づけてください。
● 親機の電源コードが外れていませんか？
→ 電源コードを接続してください。（16ページ）

カ行

圏外

● 親機からの電波が届いていません。
→「圏外」が消えるまで親機に近づけてください。（6・13ページ）
● 親機の電源コードが外れていませんか？
→ 電源コードを接続してください。（16ページ）

これは
親機では
ありません

● 子機登録時に、子機の**【内線】**を押していませんか？
→ 親機の**【内線】**を5秒以上押してください。（84ページ）

サ行

サーチ停止中
再開は［サーチ］

● 親機からの電波が届いていない状態（圏外）で約3時間が経過しました。（子機は使えなくなっています）
→ 子機を使えるようにするには、**【サーチ】**を押してください。

使用中
今できません

● 親機で通話または、ファクスを送受信中です。
→ 親機を使い終わってから、子機をお使いください。
● 親機や別の子機、ドアホン親機使用中に、子機で使えない機能の操作を行ったときに表示されます。
→ 親機や別の子機、ドアホン親機での使用が終わってから、やり直してください。

さくいん

数字・アルファベット

184（電話番号非通知）.....58
186（電話番号通知）.....58
「0120・0800」着信.....58・71
ADSLに接続するとき.....18
Fネット.....69
ISDN回線に接続するとき.....19
LCDコントラスト.....73
SDカード.....54
● 入れる・取り出す.....55・56
● 原稿（保存）.....56
● 残量表示.....56
● データ整理.....56
● 電話帳
・保存.....41
・読み込み.....41
● ファクス
・印刷.....48
・消去.....48
・転送.....48
・表示.....47
・保存.....49
● フォーマット.....56
● フォルダー構造.....57
● フル録音.....35
● 保存枚数.....55
● 用件保存.....52
● 録音時間.....55
TA／スプリッタ接続
.....18・19・73

あ

暗証番号.....69
あんしん応答.....37
あんしんセンサー.....85
あんしんセンサー通知.....86
アンテナ.....9
アンテナレベル（子機）.....13
インクフィルム（取り付け／
交換／捨てるとき）.....15
印刷可能範囲.....93・94
液晶ディスプレイ.....9・10・13
エコーサプレッサー.....100
エコノミー受信.....69・93
エニーキーアンサー（子機）.....75
応答メッセージ.....50・70
お知らせセンサー.....85
お手入れ.....89
オフフック応答（子機）.....75
親機への名前登録.....65
おやすみタイマー.....67
おやすみ特定着信.....72
おやすみモード.....64
音質を変える（子機）.....34
音声モニター.....49・70・76
音量を変える.....65

か

カーソル.....30・31
海外送信.....45・69・107
海外へ送る.....45
外出先からドアホンに出る.....79
外出先から留守番電話を
再生する.....53
回線種別.....17
開閉センサー.....80
画質.....28
壁に掛ける（子機）.....89
紙詰まり.....97・98
簡易停電通話.....7・88
キー確認音.....73・75
キーロック.....64
聞き直し.....51・52・53
機能一覧.....67・75
機能登録の内容を印刷.....67
キャッチホン.....34
キャッチホン・ディスプレイ
.....57
給紙ローラー.....97
記録紙.....94
記録紙送りローラー.....96
記録紙ガイド.....97
記録紙スタンド.....9・95
記録紙詰まり.....97
記録紙トレー.....9・28・95
記録紙のセット.....95
クイック通話（子機）.....76
グループの名前を登録.....68・76
グループ読み上げ.....59・70
携帯通話設定.....17・22・24・25
携帯番号帯設定.....27
原稿送りローラー.....98
原稿ガイド.....9・28
原稿挿入口.....9
原稿詰まり.....98
原稿について
（サイズ／厚さなど）.....93
減設（子機）.....85
減設（中継アンテナ）.....84
公衆電話着信.....58・70
構内交換機.....32・33・45・73
子機の増設／減設.....84
子機の名前登録.....75
固定の応答メッセージ.....50
コピー.....49

さ

サーマルヘッド.....15
再生（外出先から）.....53
再生（本機で）.....50・52
再ダイヤル（電話）.....32・33
再ダイヤル（ファクス）.....44
在宅呼出回数.....67
時刻.....17・66
時刻音声案内.....68
自作の応答メッセージ
● 消去.....69
● 録音.....69
自動で受ける（ファクス）.....46
シャープ.....11・13
充電（子機）.....20
出荷時へ戻す.....7・74・76
受話音質（子機）.....34
受話音量.....65
受話口（子機）.....13
仕様.....90
消去（用件）.....51・52・53
消耗品.....92
人感センサー.....85
スピーカー.....9・13
スピーカー音量.....65
スピーカーホン（子機）.....33
スプリッタ.....18
製造番号.....9
設置場所.....6
操作案内
● 自動操作案内.....68
● 親切音声案内.....68
操作パネル.....9
増設（子機）.....84
増設（中継アンテナ）.....84
送話口（子機）.....13

た

ターミナルアダプター.....19
ダイヤル回線.....17・32・33
ダイヤルキー点灯／点滅.....73
短縮ダイヤル
● 消去.....44
● 電話をかける.....32
● 登録.....44
● ファクスを送る.....44
着信拒否
●「0120・0800」着信
.....58・71
● 公衆電話着信.....58・70
● 非通知着信.....58・70
● 表示圏外着信.....58・71

● 未登録番号着信.....58·71
● 迷惑電話着信.....58·71
着信鳴り分け .....58·70·76
着信読み上げ .....59·70·76
着信履歴 .....39·59·61
中継アンテナ 83
追加番号（マイナンバー）.....63
通信レポート印刷.....69
通話拒否 36
通話録音 35
次の用件を聞く.....51·52·53
ディスプレイ .....9·10·13
停電.....7·14·88·105
デモモード 16
転居.....105
伝言メッセージ.....54
転送
● 電話帳 43
● ファクス.....48
● 留守番電話の用件 53
電池カバー .....14·20
電池残量（子機）.....13
電池パック（入れる／交換）
.....14·20
電波.....6·13
電話回線の設定.....17
電話回線用
モジュラージャック 9
電話機コード .....8·16
電話帳
● 印刷 68
● 消去 .....40·43
● 全消去 .....68·76
● 転送 43
● 電話をかける.....32·33
● 登録 .....40·42
● ファクスを送る.....44
● 読み上げ.....39·41·68
電話の回線種別.....17
電話番号を登録する.....66
電話をまわす 36
ドアセンサー 80
ドアホン
● U-ドアホンボックス 77
● 接続 .....77·78
● 接続をやめるとき 78
● 通話 79
● ドアホンワープ
（外出先で出る）.....79
ドアホン名前 72
登録リスト印刷.....67
トールセーバー.....53
トーン.....11·13

な

内線電話 .....32·34
内線番号 .....13·33·34·84
名前を付ける（子機）.....75
ナンバー・ディスプレイ 57
ニッケル水素電池....14·20·21
残して伝言 54

は

バックカバー 9
光回線（ひかり電話）に
接続するとき.....18
非通知着信 .....58·70
日付·時刻 .....17·66
表示圏外着信 .....58·71
ファクス音声案内.....68
ファクス専用 47
不在着信確認 39
付属品.....8
プッシュ回線 17
プッシュホンサービス....32·33
フル録音 35
分割コピー 49
別売品.....92
ボイスチェンジ（子機）.....34
傍受（子機）.....6
ポーズ.....11·13·32·33·99
保守サービスのご案内.....112
保留.....34
保留通知音（子機）.....75

ま

マイナンバー 63
前から録音 35
前の用件を聞く.....51·52·53
待受時間（子機）.....13
窓センサー 80
窓／ドアセンサー通知.....83
マルチファンクションキー
.....10·12
見てから印刷 45
未登録番号着信.....58·71
見ながら通話 47
みまもりセンサー通知....86·87
ミュート（子機）.....35
無鳴動受信 47
迷惑電話着信拒否.....58·71
迷惑ブロック 62
迷惑防止 37
メモリー受信 45
メモリー容量のめやす 90
文字入力 30
文字表示サイズ切替.....58·73
モデムダイヤルイン.....63·73
モニター 32

や

用件再生（外出先から）.....53
用件再生（本機で）.....50·52
用件消去 .....51·52·53
用件全消去 .....51·52·53
用件転送 53
用件の聞き直し.....51·52·53
用件録音時間 .....50·69
呼出音
● 音量 65
● 在宅呼出回数.....67
● 種類（ベル／メロディ）...64
● 留守呼出回数.....67
読み上げ
● グループ読み上げ...59·70
● 着信読み上げ...59·70·76
● 電話帳読み上げ.....39·68
● 読み上げダイヤル 68
読み取り可能範囲.....93

ら

リセット
（動作がおかしいとき）.....104
留守応答メッセージ.....50·70
留守セット 50
留守呼出回数 67
連続通話時間（子機）.....13
録音時間と件数.....50

わ

ワイヤレスアダプター機能
付きテレビドアホン.....78
ワンタッチダイヤル（子機）
● 消去 44
● 電話をかける.....33
● 登録 43

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間(1 年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。ただし、電池パック、インクフィルムを除く。)

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。(修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。)(故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは局番なしの「113」(無料)へご連絡ください。(24 時間)

- 携帯電話・PHS からは「0120 − 444 − 113」(無料)にてお受けしております。
- 17:00 ～翌日 9:00 までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
  ※NTT 西日本エリアにつきましては、平日の 17:00 ～翌日 9:00 ならびに土曜、日曜、祝日、年末年始(12 月 29 日～ 1 月 3 日)の終日は録音受付による応対となります。
  なお、土曜、日曜、祝日、年末年始の 9:00 ～ 17:00 についてはオペレーターが録音内容をご確認させていただいた後、順次呼び返しにて応対させていただきます。
- 故障修理等の対応時間は 9:00 ～ 17:00 となります。
- 修理時に、本商品に登録された電話帳などのデータが消失する場合がありますが、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  登録した電話帳などの重要な情報は、修理を依頼する前にメモして保管してください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの 114 番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

●補修用性能部品の保有期間について

本商品(別売品を含む)の補修用性能部品を、本体の販売終了後、原則 7 年間保有しています。
詳しくは当社ホームページをご確認ください。

MEMO

MEMO

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：　http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使いかたなどでご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス FREE 0120−970413
（03−5667−7100※）
※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00〜17：00

※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

フリーアクセス FREE 0120−248995
（携帯電話・PHSからも利用可能です）

受付時間　9：00〜17：00

※一部時間帯は録音受付による応対となります。

※年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2016 NTTEAST・NTTWEST

本3404-1（2016.11）
ﾎｰﾑﾌｧｸｽ P-723PDW/P-723PDﾄﾘｾﾂ
PNQX8327ZA
P723PD

Printed in Malaysia